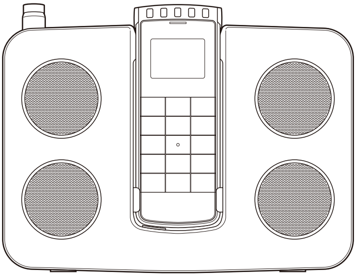
Panasonic



取扱説明書

IC レコーダー

品番　**RR-RS250**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（P134 ～ 139）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/　携帯

※このサービスは WEB 限定のサービスです。

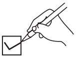
パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
コンシューマープロダクツ事業グループ
〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

© Panasonic Corporation 2011

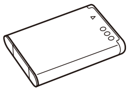
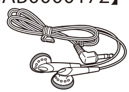
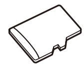
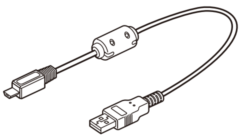
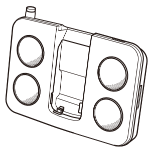
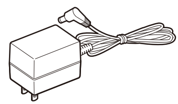
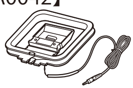
VQT3T22
M0711KZ0

安全上のご注意
準備
ラジオ
タイマー
録音・再生
消去・編集
メニュー・共通設定
パソコン
その他

付属品の確認



- かっこ【　】内は、2011 年 7 月現在の品番です。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については、乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

□ リチウムイオン充電式電池 【VW-VBX070】 	□ ステレオインサイドホン 【L0BAB0000172】 	□ microSDHC カード （4 GB） 
□ USB 接続ケーブル 【K2KYYYY00158】 	□ スピーカークレードル 【RFE0233】 	□ AC アダプター 【RFEA507J】 
□ AM ループアンテナ 【RSA0042】 		

付属品（上記）と別売品（P64、65）は販売店でお買い求めいただけます。パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic
PanaSense http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

本機の楽しみかた

ラジオを聴く

本機は AM/FM チューナーを内蔵しています。また、AM/FM ラジオの内容を録音し、保存しておくことができます。

録音する

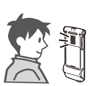
楽器演奏に　自然観察に　授業や講演会で

本機はリニア PCM（以降は PCM と記載）形式の録音に対応しています。PCM 録音ではデータを圧縮しないため、CD 音質にせまる高音質な録音ができます。また、内蔵する高感度ステレオマイクによって、自然で臨場感のある録音ができます。バンド練習や楽器レッスン、野鳥のさえずりなどの録音を気軽に楽しめます。

本機には各種録音設定があり、録音環境に応じてお好みの設定に変更することができます。また、録音したいシーンを選ぶだけで、録音シーンに応じた録音設定を一括で呼び出すシーンセレクト機能を備えています。
また、録音したファイルのファイル名を本機の操作で変更できます。

再生して聴く

- 録音ファイル
- MP3 音楽ファイル
- WMA 音楽ファイル



スピーカーで



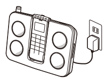
インサイドホンで

タイマーで録音 / 再生する

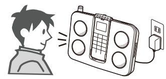
タイマー予約機能を使って、指定した時刻にラジオ録音やマイク録音をすることができます。また、指定した時刻にラジオを鳴らしたり、ファイルを再生したりすることができます。

スピーカークレードルで使う

本機を付属のスピーカークレードルにセットして本機を充電することができます。
また、ラジオ放送やファイル再生時の音声をスピーカークレードルのスピーカーから出力することができます。



充電する



クレードルで聴く

パソコンと接続する

パソコンで
- 録音ファイルを取り込む / 整理（消去）する / 再生して聴く / 充電する

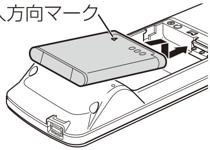
パソコンから
- 録音ファイルや音楽ファイル、データファイルを転送する

まず使ってみよう！

電池やカードを入れる（詳しくは16、20ページ）

電池 を入れる

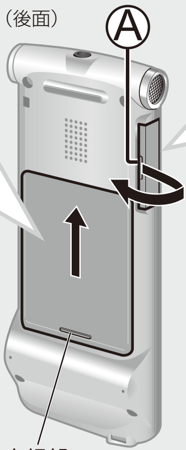
1. 突起部を押しながら、電池ふたを矢印の方向へ開ける
2. 付属のリチウムイオン充電式電池を入れる



挿入方向マーク（▲）の向きに気を付ける

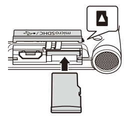
3. 電池ふたを閉める（16ページ）

（後面）



カード を入れる

1. Ⓐ を矢印の方向に引いてふたを開ける
2. 付属のmicroSDHCカードを「カチッ」と音がするまで確実に押し込む



カードの向き（◀）を合わせて入れる（20ページ）

3. ふたを閉める

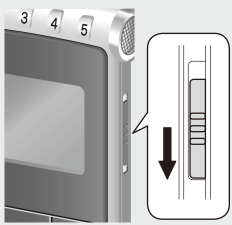
●新しいカードを使用する場合は、必ず本機でフォーマットしてください。（90ページ）

電源を入れる／切る（詳しくは18ページ）

電源を 入れる

電源 / ホールドスイッチを矢印の方向にスライドさせる

- 時計設定画面が表示された場合は、19ページを参照して日時を設定してください。



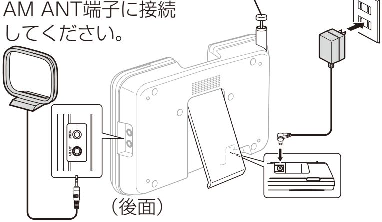
（前面）

電源を 切る

電源 / ホールドスイッチを矢印の方向に約１秒以上スライドさせたままにする

スピーカークレードルを設置して充電する（詳しくは15、17ページ）

●お買い上げ時、付属のリチウムイオン充電式電池は充電されていません。まず充電してください。

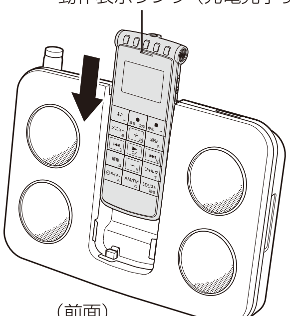


（後面）

1 AMループアンテナやACアダプターを接続する

2 ACアダプターをコンセントにしっかりと差し込む

3 本機の電源を切る



（前面）

4 本機をスピーカークレードルにしっかりと差し込む

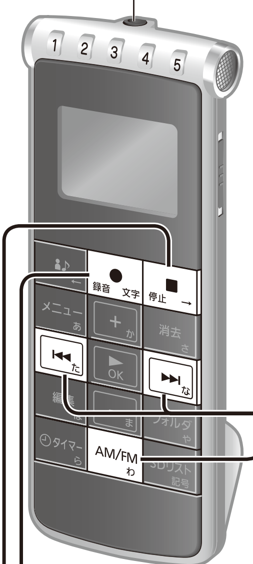
動作表示ランプが点灯し、充電を開始します。

- 充電時間は約2.5時間です。

●スピーカークレードルから音声を出力するには（29ページ）
●LINE IN端子を使うには（30、64ページ）
●スピーカークレードルから取り外すには（30ページ）

ラジオを聴いてみよう／録音してみよう

インサイドホン端子（∩）



聴く（詳しくは33ページ）

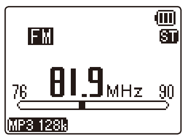
●FM 放送を受信する場合
インサイドホン端子（∩）に、付属のステレオインサイドホンを接続する。
- ステレオインサイドホンがFM アンテナの役目をします。

1 ラジオの種類を選ぶ

AM/FM を押す
- 押すたびに、AM/FMが切り換わります。

2 周波数を選ぶ

⏮ または ⏭ を押す



- 地域を設定して簡単に選局するには（34ページ）
- ＋ / － で聴きやすい音量に調整してください。

録音する（詳しくは38ページ）

1 ラジオ放送の受信中に

● を押す

2 録音を停止するには

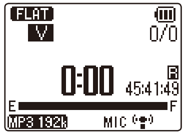
■ を押す

声や音を録音してみよう（詳しくは57ページ）



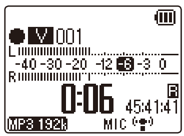
1 ICレコーダーモードになっていないときは

SDリスト 記号 **を押す**



ICレコーダーモードに切り換わります。

2 録音 文字 **を押す**

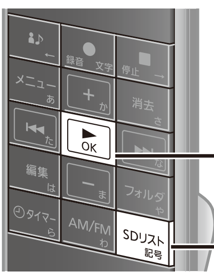


録音が始まります。

3 録音を停止するには

停止 → **を押す**

録音したものを再生してみよう（詳しくは76ページ）



1 ICレコーダーモードになっていないときは

SDリスト 記号 **を押す**

ICレコーダーモードに切り換わります。

2 OK **を押す**

再生が始まります。

- ＋ / － で聴きやすい音量に調整してください。
- 停止するときは 停止 → を押します。

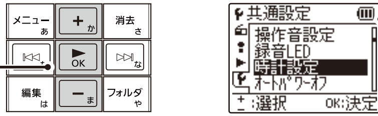
もくじ　「安全上のご注意」を必ずお読みください（P134 〜 139）

本書の見かた

操作手順

3 ［＋］/［−］で、「時計設定」を選び、［▶OK］を押す

操作する ボタン / スイッチ
操作や設定の際に使用するボタンをグレーで表しています。



画面表示 *1
操作や設定の際に表示される画面です。

*1 画面表示は、設定内容により実際と異なる場合があります。

● 本書では、次の記号でお知らせしています。

お知らせ	もう少し詳しい説明や、知っておくと便利な内容
お願い	操作や設定の際にお守りいただきたい内容 ・記載事項を守らないと、正しく操作や設定がされなかったり、本機の故障やデータの損失につながるおそれがあります。
(P○○)	参照、あるいは補足する内容が記載されているページ

● microSD/microSDHC カードの表記について

「microSD カード」や「microSDHC カード」を総称して、本機の画面では「microSD カード」、本書では「SD カード」または「カード」と表記しています。

●困ったときは

操作中に疑問に感じたり、故障かな？と思った時は、「故障かな !?」(P125) を参照してください。

●音声ガイドについて

本機は、各操作を音声でご案内する「音声ガイド機能」(P104) を搭載しています。

・ 音声ガイドでご案内する音声には、画面に表示される文言と一致しないものもあります。

●画面イラストについて

本書では、画面イラストを白黒反転して表記しています。

本書の表記

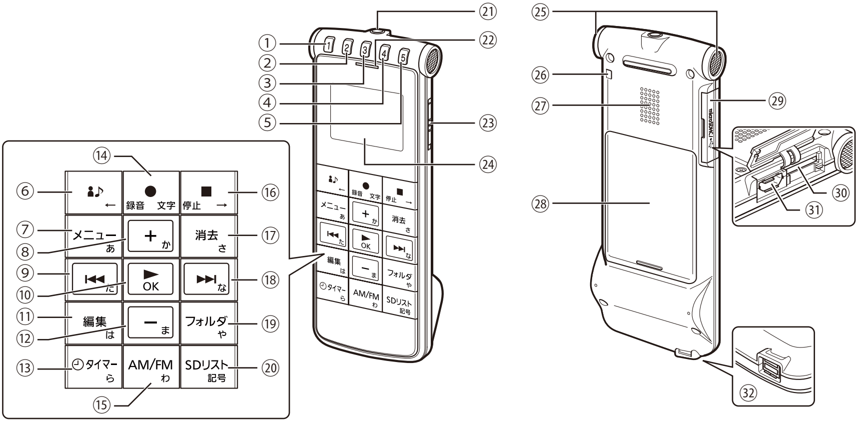


実際の画面



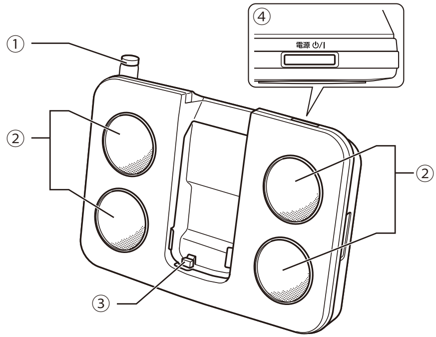
各部のなまえ

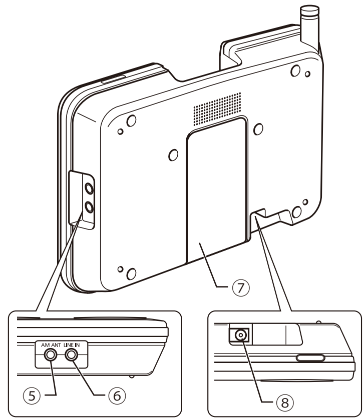
本体



① A-B ↻ /（ダイレクト）1 ボタン
② 少し戻る /（ダイレクト）2 ボタン
③ インデックス /（ダイレクト）3 ボタン
④ 遅聞き /（ダイレクト）4 ボタン
⑤ 早聞き /（ダイレクト）5 ボタン
⑥ 👤♪（シーン）ボタン
⑦ メニューボタン
⑧ ＋（音量）ボタン
⑨ ⏮（早戻し）ボタン
⑩ ▶OK（再生 /OK）ボタン
⑪ 編集ボタン
⑫ ー（音量）ボタン
⑬ ◷タイマーボタン
⑭ ●録音ボタン
⑮ AM/FM ボタン
⑯ ■停止ボタン
⑰ 消去ボタン
⑱ ⏭（早送り）ボタン
⑲ フォルダボタン
⑳ SD リストボタン
㉑ インサイドホン端子（🎧）
㉒ 録音ランプ（動作表示ランプ）
㉓ 電源 / ホールドスイッチ
㉔ LCD 表示部
㉕ 内蔵ステレオマイク
㉖ ストラップ取り付け部
㉗ スピーカー
㉘ 電池ふた
㉙ USB 端子 /SD カード挿入部ふた
㉚ SD カード挿入部
㉛ USB 端子
㉜ スピーカークレードル接続端子

スピーカークレードル



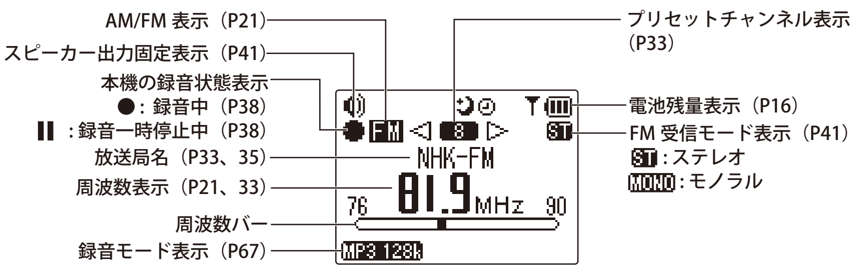


① FM アンテナ
② スピーカー
③ IC レコーダー接続端子
④ 電源 [⏻/I] ボタン
⑤ AM ANT 端子
⑥ LINE IN 端子
⑦ スタンド
⑧ AC アダプター接続端子

画面表示

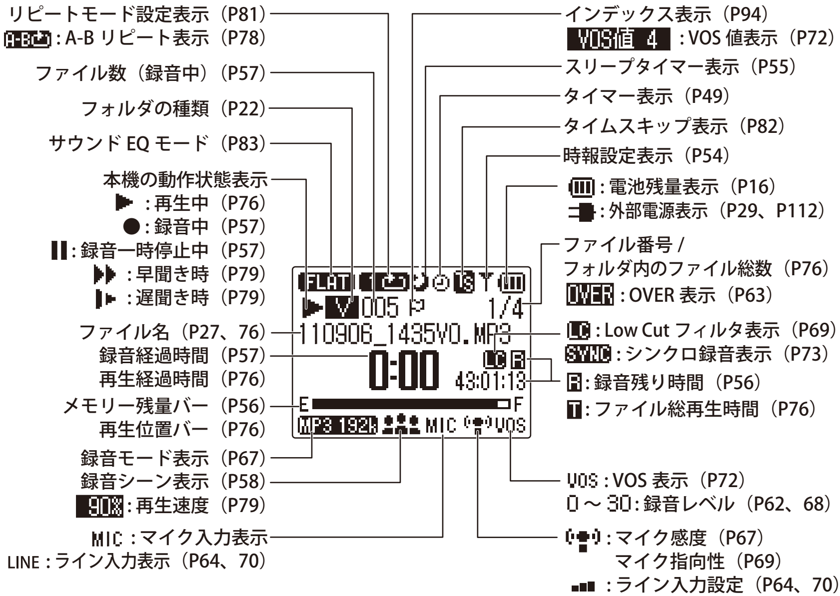
※ 画面説明用です。同時に表示されることのない内容があります。

■ラジオモード（P21）

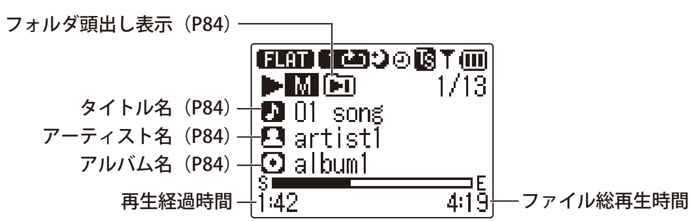


■ IC レコーダーモード（P21）

● AM、FM、V、L、T1 ～ T20 フォルダ（P22、26）を選んでいる場合



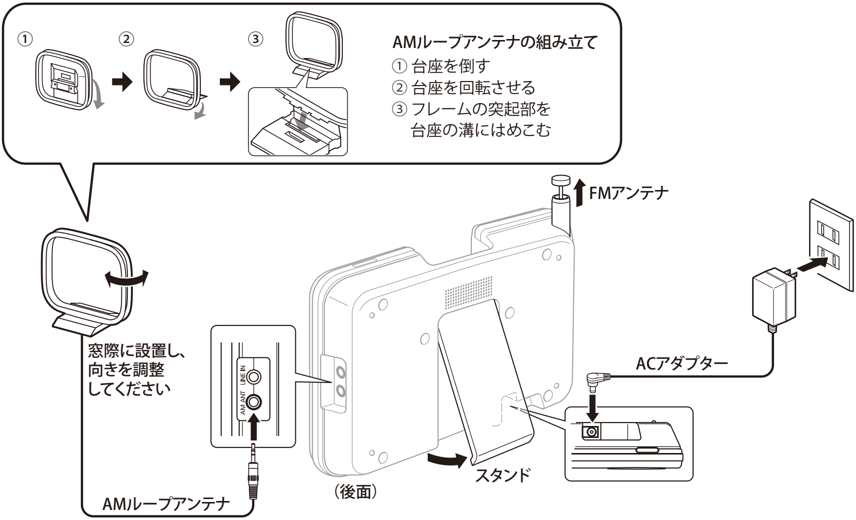
● M フォルダ（P22、28）を選んでいる場合



スピーカークレードルを設置する

スピーカークレードルに AC アダプターを接続し、スピーカークレードルを使用できる状態にします。

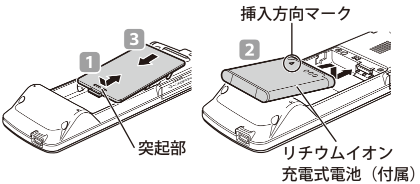
- スピーカークレードルは安定した水平な場所に設置し、AM ループアンテナは窓際などの電波の届きやすい場所に設置してください。
- スピーカークレードルに本機をセットした状態でマイク録音した場合は、スピーカーからモニター音声は聴こえません。
- AC アダプターは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。また、他の機器の AC アダプターを本機に使用しないでください。



お願い

- FM アンテナを使用するときは、アンテナを根元までしっかりと伸ばし、受信感度の良い方向に傾けて調整してください。
- スピーカーは防磁設計ではありません。スピーカーの近くに時計や磁気カード（クレジットカード）を置いたり、スピーカーをテレビ等の近くに置かないでください。
- 大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも音がひずんだときは、スピーカー破損の原因になることがありますので、音量を下げてご使用ください。

電池を入れる



1 突起部を押しながら、電池ふたを矢印の方向にスライドさせて開ける

2 リチウムイオン充電式電池（付属）を入れる

リチウムイオン充電式電池の挿入方向マーク（▲）の向きを確認して、正しく入れてください。

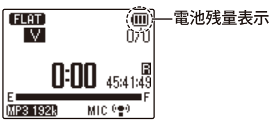
3 電池ふたを矢印の方向にスライドさせて閉じる

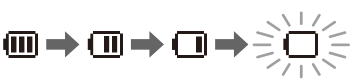
■本機で使用可能な電池について

リチウムイオン充電式電池は、付属または専用の別売品（品番:VW-VBX070）のみご使用できます。

■電池の残量を確認する

電池を使用している場合は、画面で電池残量が確認できます。録音の前には必ず残量をチェックしてください。また、電池持続時間は P131 をご覧ください。

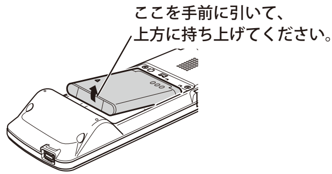




- 電池残量がなくなると が点滅します。お早めに充電してください。
- 電池が切れると、メッセージが表示され、電源が切れます。
- 電池の状態や使用される動作内容によっては、電池切れで電源が切れた場合でも、再び電源を入れるとしばらくお使いいただけることがあります。ただし、電池残量不足のため、動作の途中で急に電源が切れることがあります。
- ファイル消去（P88）、ファイル分割（P95）、インデックス消去（P94）の実行には電池残量が必要です。電池残量表示が （点滅）のときにこれらの操作を実行すると、電池切れで電源が切れます。

■電池を取り外す

リチウムイオン充電式電池を矢印の方向に持ち上げて取り外してください。



- 電池を取り外す場合は電源を切った状態で行ってください。電源を入れたままで電池を取り外すと、データが失われることや本機の故障につながることがあります。

お願い

- 電池を取り外した状態で約 1 分以上放置したり、電池が消耗しきった状態で放置したりすると、時計設定がお買い上げ時の設定に戻ります。その後、電源を入れると時計設定画面が表示されますので、時計設定を行ってください。（P19）

リチウムイオン充電式電池を充電する

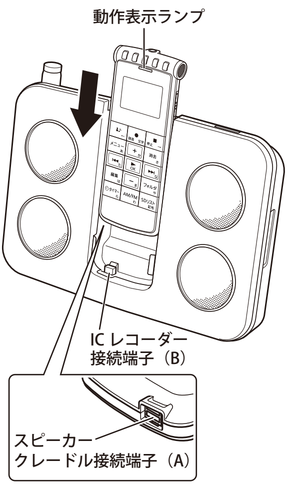
お買い上げ時、付属のリチウムイオン充電式電池は充電されていません。充電してからお使いください。

- スピーカークレードルに AC アダプターを接続しておいてください。（P15）

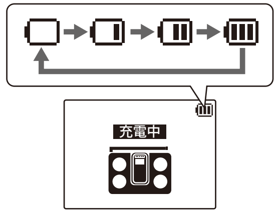
電源を切っておく（P18）

本機をスピーカークレードルに差し込む

- A と B の接続端子が合うように押し込んでください。



- 動作表示ランプが点灯し、充電を開始します。
- 充電中は、電池残量表示が下記のように変化します。

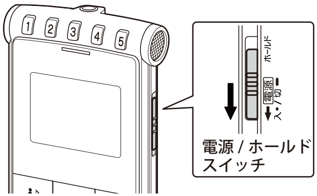


- 充電が完了すると、電池残量表示が の固定表示に変わり、動作表示ランプが消灯します。
- 充電時間は約 2.5 時間です。
- 本機の電源が入っている状態では、充電されません。
- 電池が入っていない場合は、電池残量表示が になり、動作表示ランプが点滅します。
- 充電中に電池や本体が熱くなることがありますが異常ではありません。
- 充電完了（満充電）後、そのまま本機をスピーカークレードルにセットしたままにしておくと、電池残量が減ることがあります。再充電する場合は、いったん本機をスピーカークレードルから取り外し、もう一度スピーカークレードルにセットしてください。
- 満充電しても電池の使用時間が著しく短くなったときが電池の寿命です。新しい専用リチウムイオン充電式電池（品番 : VW-VBX070）をお買い求めください。
- 本機をパソコンに接続して充電することもできます。（P111）

お知らせ

- スピーカークレードルを使って音声を聴く場合は、P29 をご覧ください。

電源を入れる / 切る



■ 電源を入れる

電源 / ホールドスイッチを「入 / 切」側にスライドさせる

・ 本機の電源が入り、「HELLO」と画面に表示されます。
・ お買い上げ後、初めて電源を入れたときは、時計設定を行ってください。（P19）

● レジューム機能について

電源を入れたとき、前回電源を切ったときの状態（動作モードやファイル再生位置）で起動する機能です。

ただし、パソコンに接続した後や、SD カードを抜いたときなどは、レジューム機能は働きません。

■電源を切る

電源 / ホールドスイッチを「入 / 切」側に約 1 秒以上スライドさせたままにする

・「GOOD BYE」が表示された後、本機の電源が切れます。

オートパワーオフ機能

IC レコーダーモード（P21）で録音一時停止や停止状態のまま、一定時間（お買い上げ時は 15 分）経過すると自動的に電源が切れます。（P105）

・ 次の場合は、オートパワーオフ機能は働きません。
  - ラジオモード時
  - 録音中、録音スタンバイ中、録音スタンバイ中のメニュー表示時
  - 再生中
  - タイマー録音中 / 再生中

誤動作を防止する（ホールド機能）

電源 / ホールドスイッチを「ホールド」側にスライドさせる

・「ホールド設定」が表示され、ボタン操作ができなくなります。
・ 本機をかばんやポケットに入れているときは、誤動作防止のためホールド機能のご使用をおすすめします。
・ ホールド機能を解除するときは、電源 / ホールドスイッチを戻します。

日付と時刻を設定する（時計設定）

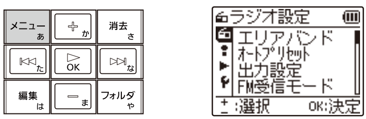
本機は電池を入れ、初めて電源を入れたときから時計動作を開始します。

この状態は、時計合わせが行われていないので日時が正しくありません。時計はファイル名（P27）や録音日時情報の記録に使用しますので、正しい日時に設定しておいてください。

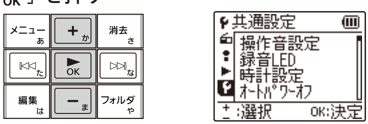
- お買い上げ後、はじめて電源を入れたときは、手順 4 の時計設定画面が表示されますので、手順 4、5 に従って設定してください。

電源を入れておく（P18）

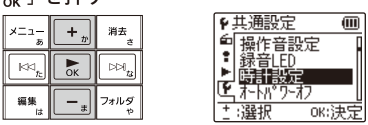
1 停止中に、［メニュー］を押す



2 ［＋］／［－］で、「共通設定」を選び、［▶OK］を押す



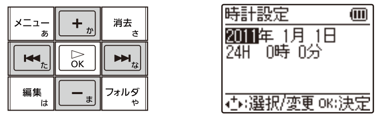
3 ［＋］／［－］で、「時計設定」を選び、［▶OK］を押す



4 日付と時刻を設定する

① ［⏮］/［⏭］で、西暦、月、日、24H/12H（AM/PM）、時、分を選ぶ

② ［＋］／［－］で数値を変更する



【時計設定画面】

5 ［▶OK］を押す

- 時計が設定されます。

6 ［メニュー］を押して、設定を終了する

お知らせ

- 「時刻自動補正（時報設定）」を「ON」に設定しておくと、ラジオの時報を受信することにより、時刻を自動的に補正することができます。（P52）
- 時刻自動補正（P52）を設定していない場合、時計精度は、室温で月差約± 60 秒です。

お願い

- 電池を取り外した状態で約 1 分以上放置したり、電池が消耗しきった状態で放置したりすると、時計設定がお買い上げ時の設定に戻ります。その後、電源を入れると手順4の時計設定画面が表示されますので、時計設定を行ってください。

準備

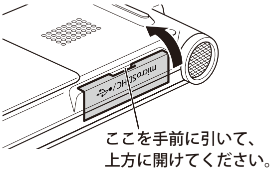
microSD/microSDHC カードを入れる

本機は、録音・再生に microSD/microSDHC カードを使用します。

- microSD/microSDHC カードを、本機の画面では「microSD カード」、本書では「SD カード」、または「カード」と表記します。

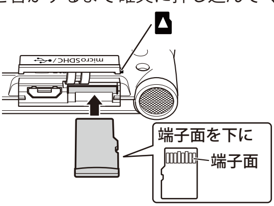
新しい SD カードは、本機でフォーマット（P90）してからお使いください。

1 電源を切って、USB 端子 /SD カード挿入部ふたを開ける

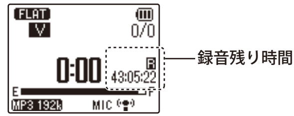


2 SD カードを入れ、USB 端子 /SD カード挿入部ふたを閉じる

- SD カードの向き（▲）を合わせて「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。



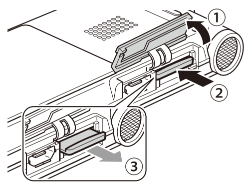
- 本機の電源を入れ、IC レコーダーモード（P21）に切り換えると、録音残り時間が表示されます。（M（MUSIC）フォルダ選択中やラジオモード時は表示されません。）



- 録音残り時間が表示されていない場合は、SD カードが認識されていないことが考えられます。一旦 SD カードを取り出し、もう一度入れ直してください。

■ SD カードを取り出すときは

① 本機の電源を切り（P18）、USB 端子 /SD カード挿入部ふたを開けます。
② SD カードを軽く押してください。
③ SD カードが少し出てくるので、ゆっくりと引き抜いてください。



本機で使用可能な SD カード

本機は、2 GB の microSD カード、および 4 GB ～ 16 GB の microSDHC カードに対応しています。（2011 年 7 月現在）

- SD カードの製造メーカーや種類によっては、本機で正しく動作しないものもあります。
- 当社基準において動作確認済みの SD カードについては、当社サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

動作モードを切り換える

本機は、ラジオを聴くときの「ラジオモード」と、音声を録音したり、本機に転送した音楽などを聴いたりするときの「IC レコーダーモード」を切り換えて使用します。

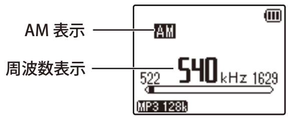
■ラジオモードに切り換える

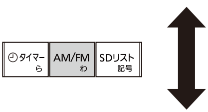
ラジオモードは、ラジオを聴いたり、ラジオを録音したりするときのモードです。

［AM/FM］を押す

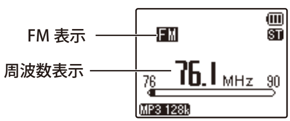
・ 押すたびに AM と FM が切り換わります。

【AM 受信画面】





【FM 受信画面】



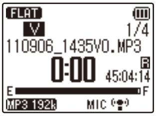
・ ラジオモードに切り換えると、画面に周波数が表示されます。

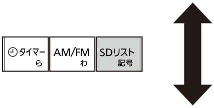
■ IC レコーダーモードに切り換える

IC レコーダーモードは、SD カード内のファイル再生、マイク録音、外部機器からの録音、音楽ファイルをパソコンから本機に転送して、音楽プレーヤーとして使うときのモードです。

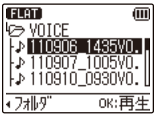
［SD リスト］を押す

【IC レコーダーモード画面】





【リスト画面】



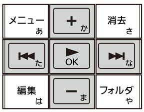
・ IC レコーダーモード時に［SD リスト］を押すと、リスト画面（P23）が表示されます。
もう一度［SD リスト］を押すと IC レコーダーモード画面に戻ります。

準備

電源を入れておく（P18）

1 **IC レコーダーモード（P21）で停止中に、［フォルダ］を押す**

2 **［＋］/［－］、［⏮］/［⏭］で、使用するフォルダを選び、［▶OK］を押す**





・ フォルダ選択を終了し、選んだフォルダに切り換わります。

●フォルダの種類

AM	AM ラジオ録音用フォルダ
FM	FM ラジオ録音用フォルダ
V	マイク録音用フォルダ
L	ライン録音用フォルダ
M	MUSIC（音楽用）フォルダ
🗑	ゴミ箱フォルダ
T1 ～ T20	タイマー録音用フォルダ

・ リスト画面やパソコンでは、AM は「TUNER_AM」、FM は「TUNER_FM」、V は「VOICE」、L は「LINE」、M は「MUSIC」、🗑 は「RECYCLE」と表示されます。（各フォルダの詳細は P26、28）
・ M フォルダを選んだ場合はリスト画面表示（P23）に切り換わります。また、「楽曲リストを更新中です」と表示され、リスト表示に時間がかかる場合があります。

■（ダイレクト）［1］～［5］ボタンを使ってタイマーフォルダをダイレクトに選ぶ

IC レコーダーモードで停止中に、（ダイレクト）［1］～［5］ボタンを押すと、T1 ～ T5 フォルダをダイレクトに選ぶことができます。



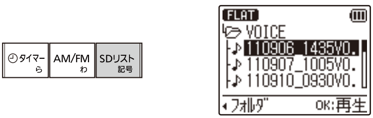
リスト画面で操作する

リスト画面は、SD カード内のフォルダやファイルをツリー型の一覧で表示します。
目的のフォルダやファイルをすばやく簡単に選ぶことができます。

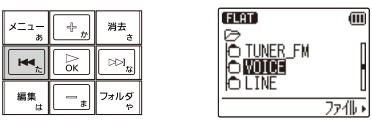
電源を入れておく（P18）

1 IC レコーダーモード（P21）で停止中に、［SD リスト］を押す

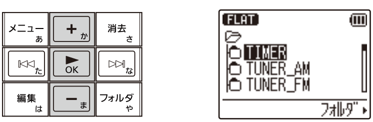
- 現在、選ばれているフォルダ内のファイルがリスト画面表示されます。



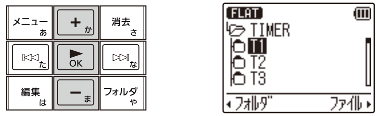
- ファイルを選択する場合は、手順3へ進んでください。
- フォルダを変更する場合は、［⏮］を数回押すと、VOICE（V）や MUSIC（M）、TIMER フォルダなどが表示されますので、その画面からフォルダを選びます。手順2へ進んでください。



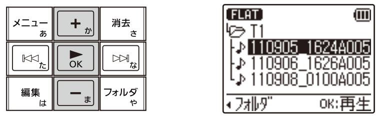
2 ［+］/［−］で目的のフォルダを選び、［▶OK］を押す



- 「TIMER」を選んだ場合は、さらに「T1」～「T20」のいずれかを選んでください。選択方法は手順2と同じです。

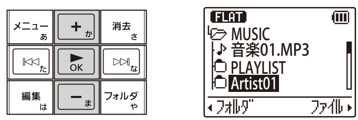


3 ［+］/［−］で目的のファイルを選び、［▶OK］を押す



- 選んだファイルが再生されます。

手順2で「MUSIC」を選んだ場合、PLAYLIST フォルダ、パソコンから転送したフォルダやファイルが表示されます。（PLAYLIST の詳細は P85）
フォルダ（例 : Artist01）の下（第 2 階層）にフォルダを作っている場合は、［+］/［−］で「Artist01」を選んで［▶OK］を押すとその下のフォルダが表示されます。（フォルダ階層の詳細は P28）



- 音楽フォルダや音楽ファイルはパソコンを使って作成し、本機に転送する必要があります。（P118）
- 選んだフォルダにファイルがない場合、「No File」が表示されます。
- リスト画面表示中、［フォルダ］を押すと、フォルダを切り換えることができます。

情報を確認する

本機の状態やファイル情報を確認することができます。

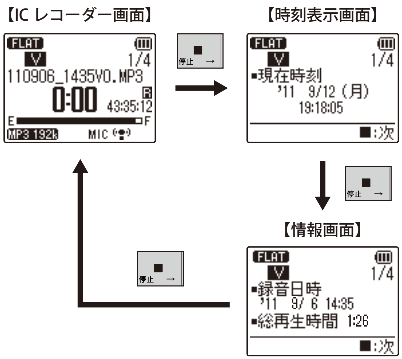
・ ラジオモード（P21）の場合は、情報画面を表示することはできません。

電源を入れておく（P18）

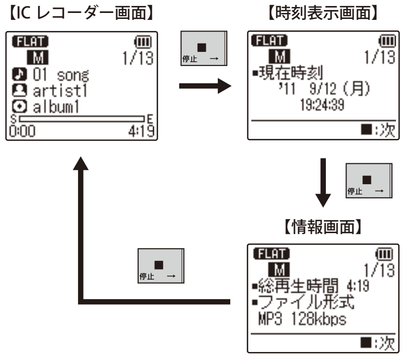
IC レコーダーモード（P21）で停止中に、［■停止］を押す

・ 情報画面が表示されます。
・［■停止］を押すごとに画面が切り換わります。
・ M（MUSIC）フォルダでも同様に操作できます。（表示される内容は異なります。）

● M（MUSIC）フォルダ以外の場合



● M（MUSIC）フォルダの場合



・ 情報画面では以下の内容が確認できます。

現在時刻	現在の日付と時刻
録音日時 *1	選択中のファイルを録音した日付と時刻
総再生時間	選択中のファイルの長さ
ファイル形式 *2	選択中のファイルの形式

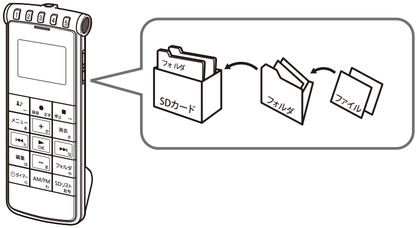
*1 M（MUSIC）フォルダ以外の場合のみ表示されます。

*2 M（MUSIC）フォルダの場合のみ表示されます。

・ 情報のない項目は、「―」で表示されます。

フォルダとファイルの構成

１回の録音データを「ファイル」、そのファイルを入れておく場所を「フォルダ」と呼びます。
本機では複数のフォルダが用意されており、ファイルはフォルダに収納されてSDカードに保存されます。
（AM、FM、V、L、M、T1 ～ T20、🗑）



●ファイル

録音した音声データは、録音開始から停止するまでを１つのまとまりにして保存されます。
この保存データをファイルと呼びます。

●フォルダ

ファイルを入れておく場所です。
本機には、AM ラジオ録音用の AM フォルダ、FM ラジオ録音用の FM フォルダ、マイク録音用の V フォルダ、他機器を接続して録音するための L フォルダ、音楽用の M フォルダ、タイマー録音用の T1 ～ T20 フォルダ、消去したファイルを一時的に保管するゴミ箱（🗑）フォルダがあります。

● SD カード（メモリー）

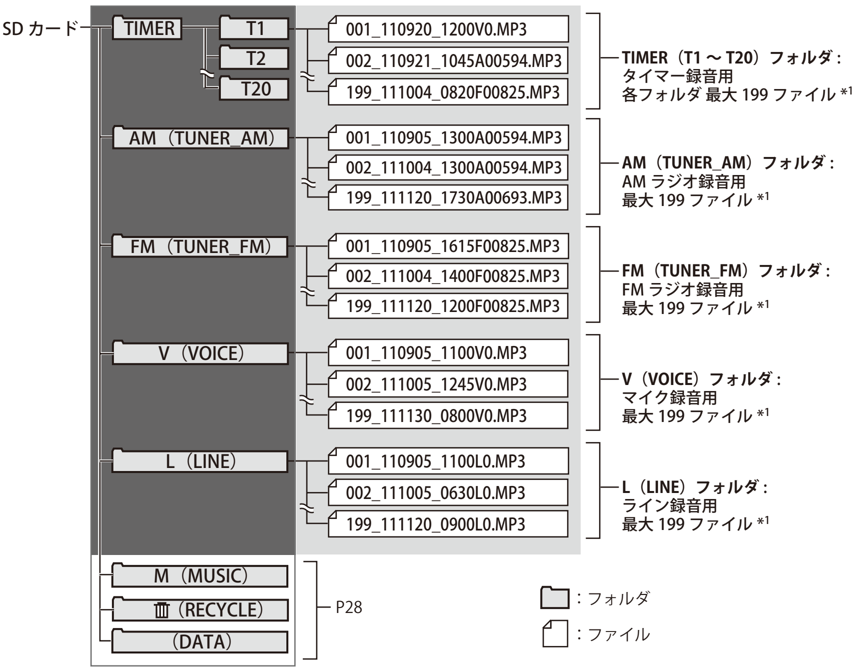
本機では、録音用メモリーとして microSD/microSDHC カードを使用します。
SD カード内の使いかた（どのフォルダを使うか、各フォルダにいくつファイルを入れるか）は、SD カードの最大録音時間、最大ファイル数の範囲で目的に応じてお使いいただけます。

準備

録音用フォルダについて

T1 ～ T20（TIMER）　: タイマー録音したファイルを保存します。
AM（TUNER_AM）　: AM ラジオから録音したファイルを保存します。
FM（TUNER_FM）　: FM ラジオから録音したファイルを保存します。
V（VOICE）　: 本機でマイク録音したファイルを保存します。
L（LINE）　: 外部機器からライン録音したファイルを保存します。

※ リスト画面やパソコンでは、AM は「TUNER_AM」、FM は「TUNER_FM」、V は「VOICE」、L は「LINE」と表示されます。



*1 各フォルダに録音可能なファイル数

■録音ファイルの名前の付きかた

本機で録音したファイルは次の規則で自動的に名前が付きます。

● マイク録音やライン録音したファイル

001_110905_1230V0.MP3

① ② ③ ④ ⑤ ⑦

● ラジオ録音したファイル

001_110905_1530F00819.MP3

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

① ファイル番号 *1（001、002…199 というように、順番に付けられます。）

② 録音した日付（年月日）

③ 録音した時刻（時分）

④ 録音元（A: AM ラジオ、F: FM ラジオ、V: マイク、L: ライン）

⑤ キーワード番号（本機では 0）

⑥ 周波数（ラジオ録音時）（AM: kHz、FM: MHz）

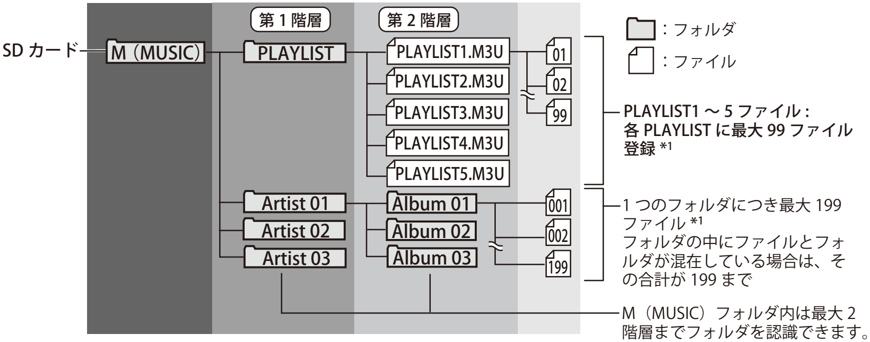
⑦ 拡張子（ファイル形式）（MP3: MP3 録音、WAV: PCM 録音）

*1 ファイル番号（001_）は、パソコンでのみ表示されます。本機では表示されません。

- ファイル名をパソコンで変更すると、M（MUSIC）フォルダ以外では再生できなくなります。
  上記のファイル名規則に従った名前に変更するか、M（MUSIC）フォルダに移動して再生してください。

MUSIC（音楽用）フォルダについて

M（MUSIC）フォルダは、パソコンから MP3、WMA ファイルなどを転送して再生するフォルダです。お手持ちの音楽 CD などをパソコンに取り込み、M（MUSIC）フォルダに転送すると音楽プレーヤーとして使用できます。



*1 各フォルダや PLAYLIST に転送（登録）可能なファイル数

※ リスト画面やパソコンでは M フォルダは、「MUSIC」と表示されます。
※ M（MUSIC）フォルダ内のファイルを全曲リピート（P81）する場合、認識できる最大ファイル数は 3,000 ファイルです。

その他のフォルダについて

■ ゴミ箱（🗑）フォルダ

ゴミ箱機能が「ON」のとき、消去したファイルはゴミ箱（🗑）フォルダに移動します *2。（P91、106）

*2 M（MUSIC）フォルダのファイルは、ゴミ箱機能「ON」、「OFF」にかかわらず、ゴミ箱（🗑）に移動されません。本機から完全に消去されます。

※ リスト画面やパソコンでは、ゴミ箱（🗑）フォルダは「RECYCLE」と表示されます。
※ ゴミ箱（🗑）フォルダに移動可能なファイル数は、最大 199 ファイルです。

■ DATA フォルダ

本機をパソコンに接続したときだけ確認することができます。本機では表示されません。
ワードやエクセルなどのパソコンファイルを入れて、本機を SD カードリーダー / ライター（リムーバブルディスク）として使用するためのフォルダです。（P120）

スピーカークレードルを使う

付属のスピーカークレードルに本機をセットすると、ラジオ放送や音声ファイルの再生をスピーカークレードルのスピーカーから出力することができます。

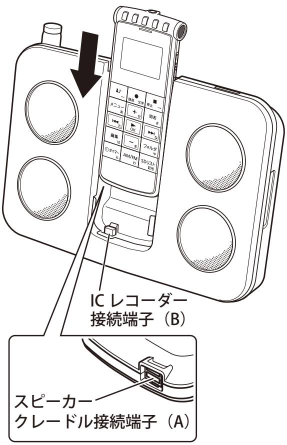
スピーカークレードルにセットする

あらかじめ、スピーカークレードルに AC アダプター、AM ループアンテナを接続しておいてください。（P15）

電源を切っておく（P18）

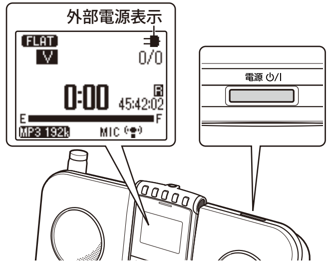
1 本機をスピーカークレードルに差し込む

- A と B の接続端子が合うように押し込んでください。



- 本機にストラップを取り付けている場合は、ストラップを挟み込まないようにしてください。

2 スピーカークレードルの［電源 ⏻/I］を押す



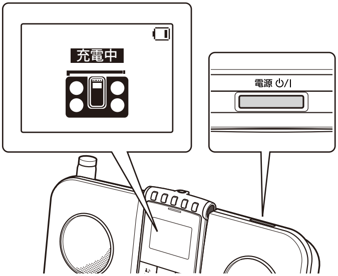
- 本機の電源が入り、「HELLO」と画面に表示されます。
- 電池残量表示が■に切り換わります。
- ラジオの受信やファイルの再生を行うと、スピーカークレードルのスピーカーから音声が出力されます。
- FM ラジオ受信時、アンテナの役目となるステレオインサイドホンの接続は不要です。
- 音量調整のほか各操作は本機で行ってください。
- 本機の電源が入っている状態では、充電されません。（P17）

スピーカークレードルで使用時のお願い

- スピーカークレードルで使用時の連続録音時間は、1 ファイルにつき最大約 24 時間です。ただし、録音中のファイルサイズが 2 GB を超えた場合は、2 GB で一旦録音を停止し、録音ファイルを作成します。その後、引き続き新しいファイルで録音が再開されます。録音停止から録音再開までの約 2 秒間は録音されません。
- スピーカークレードルでご使用の場合でも、本機に電池を入れておいてください。録音データの記録中などに本機が取り外されたり、停電などが起こったりすると、電源がなくなりデータや本機が壊れる可能性があります。

■ 使い終わったら

［電源 ⏻/I］を押して電源を切る

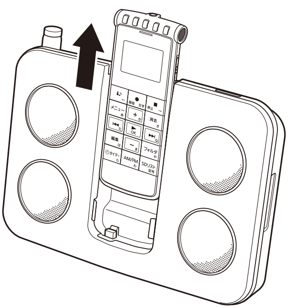


・「GOOD BYE」が表示された後、充電が開始されます。（P17）

■ 本機を取り外す

電源を切っておく

本機を上方向にまっすぐに抜く



お知らせ

・ 使用後は、AC アダプターを電源コンセントから抜いておくことをおすすめします。（接続したままにしていると、スピーカークレードルを接続している場合：約 2 W、AC アダプター単体の場合：約 1.9 W の電力を消費します。）

スピーカークレードルを使って外部機器から録音する

スピーカークレードルの LINE IN 端子に外部機器を接続し、録音することができます。（P64）

・ 録音中の音声は、スピーカークレードルのスピーカーからモニターされます。

外部機器の音声をスピーカークレードルで鳴らす

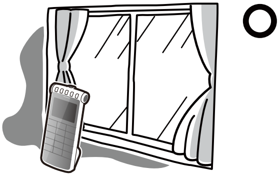
スピーカークレードルの LINE IN 端子に外部機器を接続し（P64）、録音スタンバイ（P62）の状態にすることによって、スピーカークレードルに接続した外部機器の音声を、スピーカークレードルのスピーカーから鳴らすことができます。

スピーカークレードルを本機の電池で使う

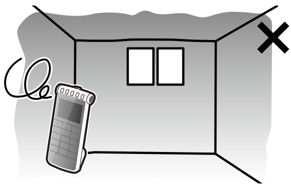
AC アダプターをスピーカークレードルから取り外した状態で本機をセットすると、スピーカークレードルへの電源の供給は本機から行われます。スピーカークレードルを、本機の外部スピーカーとして屋外などで使用するときに便利です。

- スピーカークレードルを本機の電池で使った場合、スピーカーの音声出力が下がります。また、本機の電池を消費します。

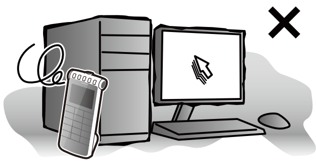
ラジオ放送の受信場所や受信方法について



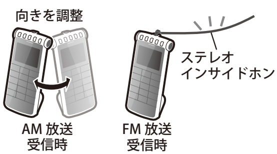
・ 本機でラジオを受信をする場合は、窓際などラジオの電波を受信しやすい場所でご使用ください。



・ 窓から遠い部屋の中や、ビルの中は電波が届きにくいため、受信状態が悪くなる場合があります。その場合は、受信状態が良くなる場所に移動してください。



・ テレビやパソコンなどの近くで使用しているとモニター画面に色ずれが生じたり、ノイズの影響を受けて本機の受信状態が悪くなる場合があります。その場合は、本機を離してご使用ください。



・ AM 放送の受信状態は本機の内蔵アンテナの向きで変わります。本機の向きを調整してください。
室内でのご使用で良好な受信状態にならない場合は、スピーカークレードルでのご使用をおすすめします。
スピーカークレードルでご使用の場合は、AM ループアンテナを窓際に設置し、向きを調整してください。（P15）

・ FM 放送受信時は、ステレオインサイドホンのコードがアンテナの役目となりますので、ステレオインサイドホンを本機のインサイドホン端子（🎧）に接続し、しっかりと伸ばしてご使用ください。（スピーカークレードルでの使用時を除く）
スピーカークレードルでご使用の場合は、FM アンテナを根元までしっかりと伸ばし、受信感度の良い方向に傾けて調整してください。
FM 放送の受信状態が悪い場合、FM 受信モード（P41）を「モノラル」に切り換えると聴き取りやすくなる場合があります。

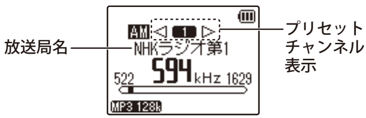
・ 本機は､AM ステレオ放送や FM 文字放送には対応していません。

ラジオ放送を聴く

■ 2 つの選局モード

本機には、ラジオの周波数を合わせて聴くマニュアル選局モードと、登録した放送局を選局するプリセット選局モードの 2 つの選局モードがあります。選局モードごとの画面表示は下記のとおりで、プリセット選局モード画面では「プリセットチャンネル」が表示され、マニュアル選局モード画面ではその箇所に何も表示されません。

●プリセット選局モード画面



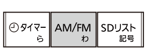
●マニュアル選局モード画面



- 地域（エリアバンド）を設定すると、放送局名も表示されます。（P34）

■ 選局モードの切り換え方法

［AM/FM］を押してラジオモードに切り換えた状態で［▶OK］を押します。ボタンを押すたびにプリセット選局モードとマニュアル選局モードが切り換わります。



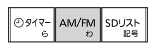


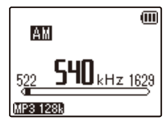
周波数を合わせて聴く（マニュアル選局モード）

電源を入れておく（P18）

1 ［AM/FM］押して、AM 放送または FM 放送を選ぶ

- ボタンを押すたびに、AM と FM が切り換わります。
- FM 放送を受信する場合は、ステレオインサイドホンを接続してください。（スピーカークレードルで使用時を除く）



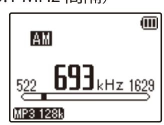


2 選局モードをマニュアル選局モードに切り換える（左記）

3 ［⏮］/［⏭］を押して周波数を合わせる

- ボタンを押すたびに一定の間隔で周波数を可変することができます。
  （AM: 9 kHz 間隔　FM: 0.1 MHz 間隔）





- ［⏮］/［⏭］を約 1 秒押すと画面に「サーチ中 ...」と表示され、自動的に周波数が変わり、放送局を受信すると自動で停止します。
- 電波が弱く受信状態がよくない場合は、自動で停止しない場合があります。
- 周囲に妨害電波などがある場合は、妨害電波を受信して停止することがあります。

お使いになる地域を設定する（エリアバンド）

本機は、お使いになる地域ごとに放送局が登録されています。地域を設定することでその放送局を呼び出し、プリセット選局（P35）することができます。地域設定を行うと選局が簡単になりますので設定しておくことをおすすめします。

電源を入れておく（P18）

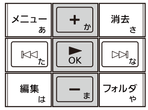
1 停止中に［メニュー］を押す

2 ［+］/［−］で「ラジオ設定」を選び、［▶OK］を押す





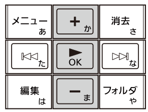
3 ［+］/［−］で「エリアバンド」を選び、［▶OK］を押す

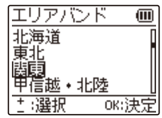




4 ［+］/［−］でお使いになる地域を選び、［▶OK］を押す

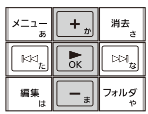
- 選んだ地域の都道府県（都市）の一覧が表示されます。

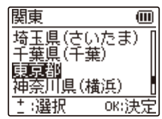




5 ［+］/［−］でお使いになる都道府県（都市）を選び、［▶OK］を押す

- エリアバンドが設定され、ラジオ設定画面に戻ります。





6 ［メニュー］を押して設定を終了する

- 選局方法は P35 をご覧ください。

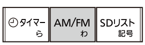
登録された放送局を聴く（プリセット選局モード）

プリセット選局するには、あらかじめ放送局をプリセットチャンネルに登録しておいてください。

- 地域設定（エリアバンド）で放送局を登録する（P34）
- 放送局を個別に登録する（P36）
- 放送局を自動で登録する（オートプリセット）（P40）

1 ［AM/FM］を押して、AM 放送または FM 放送を選ぶ

- ボタンを押すたびに、AM と FM が切り換わります。
- FM 放送を受信する場合は、ステレオインサイドホンを接続してください。（スピーカークレードル使用時を除く）

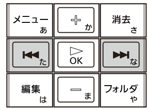




2 選局モードをプリセット選局モードに切り換える（P33）

3 ［⏮］/［⏭］でプリセットチャンネルを切り換える

- ボタンを押すたびに登録されている放送局（最大 20 チャンネル）が切り換わります。



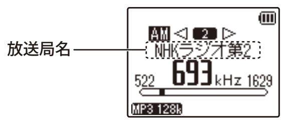


お知らせ

- プリセットチャンネル 1 ～ 5 の放送局は、（ダイレクト）［1］～［5］ボタンを押すとダイレクトに選局できます。



- 地域（エリアバンド）を設定すると画面に放送局名も表示されます。（その後でマニュアル選局（P33）に切り換えても、エリアバンドで登録された放送局の周波数では放送局名が表示されます。）



- オートプリセット（P40）で登録した場合やマニュアル選局で受信した放送局をプリセット登録（P36）した場合、放送局名は表示されません。

放送局をプリセット登録する

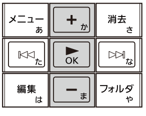
受信中の放送局を、プリセットチャンネルに個別に登録することができます。（最大 20 チャンネル）

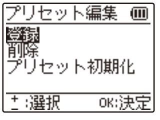
- 本機ではエリアバンドの設定地域（およびユーザー）ごとに、AM、FM それぞれ放送局を 20 局ずつ登録できます。

1 登録したい放送局を選局する（P33、35）

2 ［編集］を押す

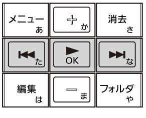
3 ［+］/［−］で「登録」を選び、［▶OK］を押す

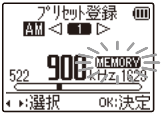




- 「MEMORY」が点滅し、チャンネルが表示されます。

4 ［⏮］/［⏭］で登録するチャンネル（1 〜 20）を選び、［▶OK］を押す





- 登録を途中でやめる場合は、［■停止］を押してください。
- 選んだチャンネルに放送局が登録されます。
- 以前にチャンネルに登録されていた放送局は、上書きされます。

■ダイレクト登録

手順 **1** の後、（ダイレクト）［1］〜［5］ボタンのいずれかを約 2 秒以上押したままにすると、放送局を 1 〜 5 チャンネルに登録することができます。

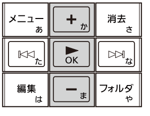


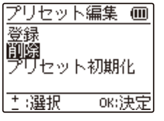
放送局を削除する

1 プリセット選局モードで、削除したい放送局を選局する（P35）

2 ［編集］を押す

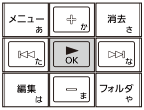
3 ［+］/［−］で「削除」を選び、［▶OK］を押す





- 「DELETE」が点滅し、チャンネルが表示されます。

4 [▶OK] を押す





- 選んだ放送局が削除され、削除した次のチャンネルの放送局を受信します。（次の放送局がない場合は、チャンネル 1 に戻ります。）

プリセットを初期化する

変更や登録の追加、削除などを加えた「エリアバンド」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

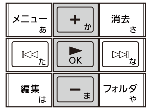
- AM または FM のみを初期化することはできません。プリセット初期化を実行すると、AM、FM ともにプリセットが初期化されます。

1 初期化したいエリアバンドを選ぶ（P34）

2 ［AM/FM］を押して、ラジオモードに切り換える

3 ［編集］を押す

4 ［+］/［−］で「プリセット初期化」を選び、[▶OK] を押す

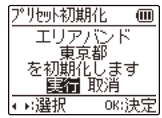




- プリセット初期化画面が表示されます。

5 ［⏮］/［⏭］で「実行」を選び、[▶OK] を押す





- エリアバンドの設定が初期化され、チャンネル 1 の放送局を受信します。

お知らせ

- 「プリセット初期化」は、地域ごとに初期化を行います。
- 「設定初期化」（P107）を行うと、すべての地域を初期化します。

ラジオ放送を録音する

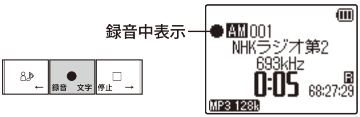
本機で受信したラジオ放送を、SD カードに録音します。

電源を入れておく（P18）

1 録音したい放送局を選局する（P33、35）

2 ［●録音］を押す

- 録音ランプが点灯し、受信中のラジオ放送の録音を開始します。



- 録音中は、画面のバックライトが消灯します。
- 録音中に［●録音］を押すと、録音を一時停止します。もう一度押すと、録音を再開します。
- AM 放送を録音すると AM（TUNER_AM）フォルダに、FM 放送を録音すると FM（TUNER_FM）フォルダに、録音ファイルが保存されます。
- 録音中は放送局の変更はできません。
- 録音中に［インデックス］を押すと、インデックスを付けることができます。（P94）

3 ［■停止］を押す

- 録音ランプが消灯し、録音を終了します。

お願い

- FM 放送録音時にノイズが多いときは、あらかじめ、FM 受信モードを「モノラル」に切り換えてから録音をしてください。（P41）
  受信環境によっては、録音中のラジオ放送にノイズが入る場合があります。また、電波の弱い場所では、ラジオ放送がきれいに聴こえていても、録音するとノイズを拾ってしまうことがあるため、実際に試し録音を行い、もし電波が弱くノイズが入るようであれば、場所を移動するなどして、きれいに録音できる場所で録音してください。（P32）

■ラジオ放送を録音したファイルを再生する

IC レコーダーモード（P21）に切り換え、AM フォルダまたは FM フォルダを選んで再生（P76）してください。

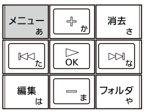
ラジオに関する機能と設定

ラジオ受信時の音声出力の切り換えなど、さまざまな設定をすることができます。

ラジオ設定画面の出しかた

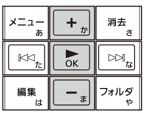
電源を入れておく（P18）

1 ラジオ受信中に［メニュー］を押す



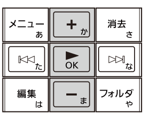


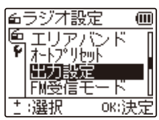
2 ［＋］/［－］で「ラジオ設定」を選び、［▶OK］を押す





3 ［＋］/［－］で変更する機能を選び、［▶OK］を押す





・設定内容、変更方法は項目ごとに異なります。下記ページを参照してください。

機能	参照先
エリアバンド	P34
オートプリセット	P40
出力設定	P40
FM 受信モード	P41
AM 画面表示	P41

お知らせ

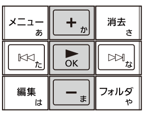
・操作中に［■停止］を押すと、１つ前の画面に戻ります。
・各機能は、IC レコーダーモードのときも設定できます。

放送局を自動で登録する（オートプリセット）

現在の場所で受信できる放送局を選局して自動でプリセットチャンネルに登録します。

1 **ラジオ設定画面で、「オートプリセット」を選ぶ（P39）**

2 **［+］/［−］で「AM」または「FM」を選び、［▶OK］を押す**





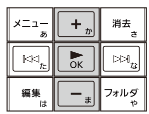
- 「オートプリセット中 ...」と表示され、下限周波数から選局が始まり、受信した放送局が自動的にエリアバンドの「ユーザー」にプリセット登録されます。
- 登録できる放送局は最大 20 局です。上限周波数に達するとオートプリセットを終了し、チャンネル 1 に登録された放送局を受信します。
- 電波が弱い場合は、放送局を登録できない場合があります。
- 周囲に妨害電波がある場合は、受信可能な放送局以外の周波数が登録されることがあります。
- AM 放送では、スピーカークレードルから本機を取り外してオートプリセットを行うことをおすすめします。（妨害電波を受信しやすいため）
- オートプリセット終了後は、エリアバンド（P34）の設定が「ユーザー」に切り換わります。

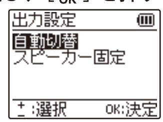
音声の出力先を切り換える（出力設定）

FM 放送受信時はステレオインサイドホンがアンテナの役目をするため、ステレオインサイドホンの接続が必要です。（スピーカークレードルで使用時を除く）
初期設定では、ステレオインサイドホンを接続するとステレオインサイドホンに音声出力が切り換わりますが、出力設定を「スピーカー固定」に設定するとステレオインサイドホン接続時でもスピーカーから音声が出力されます。（このときステレオインサイドホンからは出力されません。）

1 **ラジオ設定画面で、「出力設定」を選ぶ（P39）**

2 **［+］/［−］で「自動切替」または「スピーカー固定」を選び、［▶OK］を押す**





自動切替：
ステレオインサイドホン接続時は、インサイドホン出力に切り換わります。

スピーカー固定：
ステレオインサイドホン接続時でも、スピーカーから音声を出力します。

- 「スピーカー固定」の設定は、ラジオモード時のみ有効です。（IC レコーダーモードで、ステレオインサイドホン接続時は、インサイドホン出力に切り換わります。）

3 **［メニュー］を押して、設定を終了する**

・「スピーカー固定」に設定すると、画面に が表示されます。

スピーカー出力固定表示

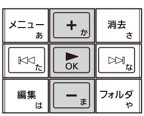


FM のステレオ / モノラルを切り換える（FM 受信モード）

FM 放送受信時、受信状態によって雑音で聴こえにくい場合は、モノラルに切り換えると聴きやすくなる場合があります。

1 **ラジオ設定画面で、「FM 受信モード」を選ぶ（P39）**

2 **［+］/［−］で「ステレオ」または「モノラル」を選び、［▶OK］を押す**





ステレオ : ステレオで受信します。
モノラル : 常にモノラルになります。

3 **［メニュー］を押して、設定を終了する**

・FM 受信モード表示が切り換わります。

FM 受信モード表示

ST :ステレオ
MONO :モノラル



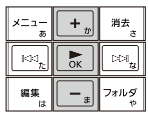
・FM 放送受信中に［♪］を押して、「FM 受信モード」を切り換えることもできます。

AM 受信時の画面表示を切り換える（AM 画面表示）

AM 放送受信中の画面表示を設定します。AM 放送を受信しているときにノイズが入る場合は、画面表示を消すことによってノイズが少なくなることがあります。

1 **ラジオ設定画面で、「AM 画面表示」を選ぶ（P39）**

2 **［+］/［−］で「OFF」または「常に ON」を選び、［▶OK］を押す**





OFF:
何も操作をしていないときは、自動的に画面表示が消え、動作表示ランプが約 3 秒間隔で点滅します。
いずれかのボタンを押すと、約 2 秒間画面が表示されます。

常に ON:
何も操作をしていないときでも、常に画面が表示されます。

3 **［メニュー］を押して、設定を終了する**

タイマー予約機能を使う

タイマー予約機能を使うと、設定した日時にラジオ放送の録音やマイク録音をしたり、ラジオ放送の受信やファイルの再生などを行うことができます。（最大 20 まで予約できます。）

- あらかじめ、時計を正しく設定しておいてください。

タイマー予約を設定する

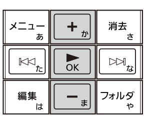
電源を入れておく（P18）

- タイマー予約実行時の音量は、タイマー予約設定時の音量となりますので、あらかじめ適切な音量に設定してから予約設定を行ってください。
- タイマー予約機能を使ってラジオ録音、ラジオ受信を行う場合は、タイマー予約の設定完了（P49）後にラジオモード（P21）で周波数を変更しても、タイマー予約設定した周波数で録音または受信します。

1 停止中に［タイマー］を押す

- 予約設定画面が表示されます。

2 ［+］/［−］でご希望の予約番号（1 ～ 20）を選び、［▶OK］を押す

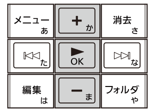


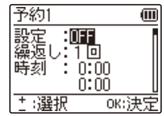
予約番号



【予約設定画面】

3 ［+］/［−］で設定項目を選び、［▶OK］を押す





【予約画面】

4 ［+］/［−］、［⏮］/［⏭］で設定内容を変更し、［▶OK］を押す

- 設定内容、変更方法は各項目で異なります。下記ページを参照してください。

設定項目	参照先
設定	P43
繰返し	P43
時刻	P45
動作	P45
再生元 *1	P46
録音元 *2	P47
音質 *3	P48
録音先 *2	P48
出力 *2	P48

*1「動作」で「再生」を選んだ場合に表示されます。
*2「動作」で「録音」を選んだ場合に表示されます。
*3「動作」で「録音」を選び、「録音元」で「MIC/LINE」を選んだ場合に表示されます。

5 手順3、4を繰り返して設定する

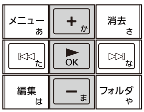
お願い

- **すべての設定を行ったら、最後に必ず「設定完了」の操作を行ってください。**（P49）
「設定完了」の操作を行わず、設定の途中で［■停止］や［タイマー］を押すと、「設定した内容で登録しますか？」の確認画面が表示されます。［⏮］/［⏭］で「はい」、「いいえ」を選び、［▶OK］を押してください。

タイマー予約のON/OFFを設定する（設定）

1 **予約画面で「設定」を選び、［▶OK］を押す（P42）**

2 **［＋］/［－］で「OFF」または「ON」を選び、［▶OK］を押す**





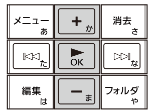
OFF : タイマー予約を実行しません。
ON : タイマー予約を実行します。

- タイマー予約設定が「OFF」になっていると、タイマー録音（再生）は動作しません。タイマー録音（再生）する場合は、「ON」に設定してください。タイマー予約の設定のみ行い、タイマー録音（再生）しない場合は、「OFF」に設定してください。

繰り返し方法を設定する（繰返し）

1 **予約画面で「繰返し」を選び、［▶OK］を押す（P42）**

2 **［＋］/［－］でご希望の繰返し設定を選び、［▶OK］を押す**





1回 :
指定時刻になると一回だけタイマー録音（再生）します。

毎日 :
指定時刻になると毎日タイマー録音（再生）します。

曜日指定 :
指定した曜日の指定時刻にタイマー録音（再生）します。

日付指定 :
指定した日付の指定時刻にタイマー録音（再生）します。

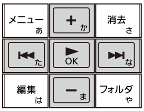
- 「1回」または「毎日」を選んだ場合は、予約画面に戻ります。
- 「曜日指定」を選んだ場合は、曜日指定画面が表示されます。（P44）
- 「日付指定」を選んだ場合は、日付指定画面が表示されます。（P44）

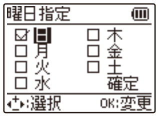
■「曜日指定」を選んだ場合

希望の曜日を設定します。

1 **［＋］/［－］、［⏮］/［⏭］でご希望の曜日を選び、［▶OK］を押す**

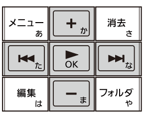
- 曜日の左の□にチェックが入ります。

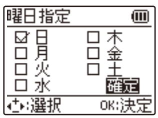




- 曜日は複数指定できます。
- チェックを取り消すときは、もう一度［▶OK］を押します。

2 **［＋］/［－］、［⏮］/［⏭］で「確定」を選び、［▶OK］を押す**





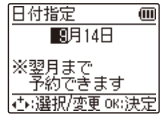
- 必ず「確定」を選んで［▶OK］を押してください。確定しないと曜日指定の設定内容が反映されません。

■「日付指定」を選んだ場合

希望の日付を設定します。

1 **［＋］/［－］、［⏮］/［⏭］で、「月」、「日」を設定する**





- ［⏮］/［⏭］を押すたびに「月」と「日」を移動します。
- ［＋］/［－］を押すたびに数値が変更されます。
- 月は、現在の月および翌月のみ設定できます。

2 **［▶OK］を押して、決定する**

時刻を設定する（時刻）

1 予約画面で「時刻」を選び、[▶OK] を押す （P42）

2 [+] / [−]、[⏮] / [⏭] で開始時刻と終了時刻を設定する





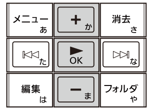
- [⏮] / [⏭] を押すたびに「時」と「分」を移動します。
- [+] / [−] を押すたびに数値が変更されます。
- 開始時刻や終了時刻を設定する場合、AM（午前）と PM（午後）を間違えないようにしてください。
  AM12:00 は午前 0:00、PM12:00 は正午です。夜の 12 時にタイマー録音をする場合、開始時刻は「AM12:00」に設定してください。
- 開始時刻から終了時刻までの設定可能時間は 12 時間です。

3 [▶OK] を押して、決定する

録音 / 再生を設定する（動作）

1 予約画面で「動作」を選び、[▶OK] を押す （P42）

2 [+] / [−] で「再生」または「録音」を選び、[▶OK] を押す





再生:

タイマー予約設定時刻になると、自動的に AM/FM 放送の受信またはファイルの再生を開始します。*1

*1 本機の電源を切った状態でタイマー予約設定時刻になった場合は、少し遅れて AM/FM 放送の受信またはファイルの再生を開始します。

録音:

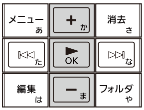
タイマー予約設定時刻になると、自動的に AM/FM 放送の録音またはマイク / ライン録音を開始します。

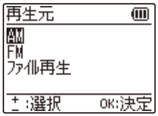
- 再生を選択して、再生元（P46）をファイル再生に設定した場合、タイマー再生時の再生設定（サウンド EQ（P82）など）は、タイマー再生実行時点の設定で再生されます。
  タイマー再生時のリピート（P81）は設定内容にかかわらず 1 曲リピートでの再生になります。（リピート設定、OFF 時を除く）
- 録音を選択して、録音元（P47）を MIC や LINE に設定した場合、タイマー録音時の録音設定（マイク感度（P67）やライン入力設定（P70）など）は、タイマー録音実行時点の設定で録音されます。（録音モード（P67）を除く）

再生元を設定する（再生元）
（「動作」で「再生」を選んだ場合のみ）

1 予約画面で「再生元」を選び、［▶OK］を押す（P42）

2 ［＋］/［－］でご希望の音源を選び、［▶OK］を押す

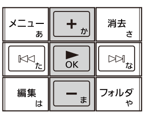


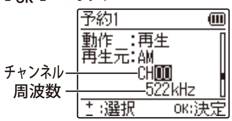


AM: AM 放送を受信します。
FM: FM 放送を受信します。
ファイル再生 : 選んだファイルを再生します。

■「AM」または「FM」を選んだ場合

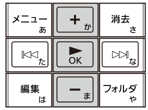
1 ［＋］/［－］でチャンネルまたは周波数を選び、［▶OK］を押す





- チャンネルを選んだ場合は、プリセット設定画面が表示されます。
- 周波数を選んだ場合は、周波数設定画面が表示されます。

2 ［＋］/［－］で受信したい放送局のチャンネル（CH）または周波数（AM: kHz、FM: MHz）を選び、［▶OK］を押す



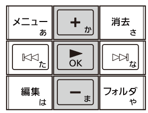


チャンネルを選んだ場合

■「ファイル再生」を選んだ場合

選択中のフォルダのファイルリストが表示されます。

［＋］/［－］で再生したいファイルを選び、［▶OK］を押す



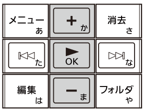


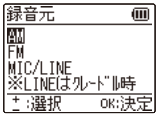
- フォルダを切り換えてファイルを選ぶ場合は、P23 をご覧ください。
- ゴミ箱（🗑）フォルダのファイル、PLAYLIST のファイルは選ぶことができません。
- 設定したファイルを消去した場合、予約実行時、アラーム音が約 30 秒間鳴ります。
- タイマー予約開始から終了までの時間より短い時間のファイルを選んだ場合、タイマー再生で設定した終了時刻より前に再生を停止します。（リピート設定が「OFF」以外に設定されている場合は、選んだファイルが 1 曲リピートで終了時刻まで再生されます。）

録音元を設定する（録音元）
（「動作」で「録音」を選んだ場合のみ）

1 **予約画面で「録音元」を選び、［▶OK］を押す（P42）**

2 **［＋］/［−］でご希望の音源を選び、［▶OK］を押す**



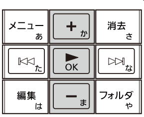


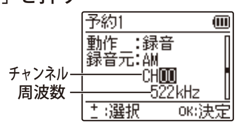
AM: AM 放送を録音します。
FM: FM 放送を録音します。
MIC/LINE: マイク録音（P57）、ライン録音（P64）をします。

- タイマー予約機能を使ってのマイク録音では、セルフタイマー録音（P71）はできません。
- タイマー予約機能を使ってのライン録音では、シンクロ録音（P73）はできません。

■放送局を選ぶ
（「AM」または「FM」を選んだ場合のみ）

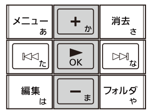
1 **［＋］/［−］でチャンネルまたは周波数を選び、［▶OK］を押す**





- チャンネルを選んだ場合は、プリセット設定画面が表示されます。
- 周波数を選んだ場合は、周波数設定画面が表示されます。

2 **［＋］/［−］で録音したい放送局のチャンネル（CH）または周波数（AM: kHz、FM: MHz）を選び、［▶OK］を押す**





チャンネルを選んだ場合

- AM 放送をタイマー予約する場合は、あらかじめ放送局がよく受信できることを確認し、その状態から本機（あるいはスピーカークレードルのループアンテナ）を動かさないでください。

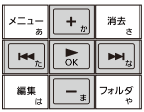
- FM 放送をタイマー予約する場合は、インサイドホン端子（🎧）に付属のステレオインサイドホンを接続したままにしておいてください。ステレオインサイドホンがアンテナの役目をするため、ステレオインサイドホンを接続していない状態では、タイマー予約実行時に FM 放送を受信できません。（ただし、スピーカークレードルを使用する場合は、ステレオインサイドホンを接続する必要はありません。スピーカークレードルの FM アンテナで受信状態を調整してください。）

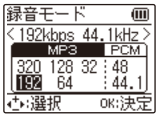
音質を設定する（音質）
（「録音元」で「MIC/LINE」を選んだ場合のみ）

録音モードを設定します。（録音モードの詳細は P67）

1 予約画面で「音質」を選んで、[▶OK] を押す（P42）

2 [+] / [−]、[⏮] / [⏭] でご希望の録音モードを選び、[▶OK] を押す





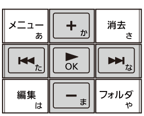
・ ラジオ録音時の録音モードは、128 kbps（MP3）固定です。

録音先を設定する（録音先）
（「動作」で「録音」を選んだ場合のみ）

録音先のフォルダ（T1 ～ T20）を設定します。

1 予約画面で「録音先」を選び、[▶OK] を押す（P42）

2 [+] / [−]、[⏮] / [⏭] でご希望のフォルダを選び、[▶OK] を押す





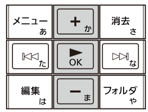
・ T1 →音楽の録音、T2 →英会話の録音など、用途に応じて録音するフォルダを分けると、あとから必要なファイルを探しやすくなります。

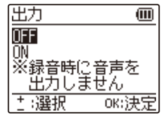
録音中の出力を設定する（出力）
（「動作」で「録音」を選んだ場合のみ）

録音中の音声を出力するかどうかを設定します。

1 予約画面で「出力」を選び、[▶OK] を押す（P42）

2 [+] / [−] で「OFF」または「ON」を選び、[▶OK] を押す

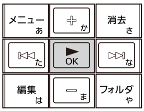


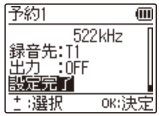


OFF: 録音時に音声を出力しません。（音量 : 0）
ON: 録音時に音声を出力します。

タイマー予約設定を完了する（設定完了）

1 予約画面で「設定完了」を選び、［▶OK］を押す（P42）





・ タイマー予約が設定され、予約設定画面に戻ります。画面の見かたは下記を参照してください。



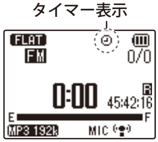


① **予約番号**
② **OFF:** 予約実行しない
　ON: 予約実行する
③ **REC:** タイマー録音
　PLAY: タイマー再生
④ **開始時間**
　時計設定により、AM/PM の場合もあります。

2 ［⏲タイマー］を押して、タイマー設定を終了する

・ タイマー予約設定時は、画面に ⏲ が表示されます。

タイマー表示

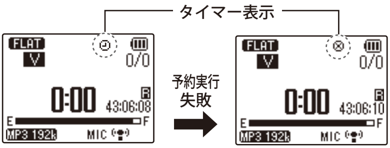


お願い

・ **必ず「設定完了」の操作を行ってください。**
「設定完了」の操作を行わず、設定の途中で［■停止］や［⏲タイマー］を押すと、「設定した内容で登録しますか？」の確認画面が表示される場合があります。［⏮］/［⏭］で「はい」、「いいえ」を選び、［▶OK］を押してください。

■予約実行失敗時の表示と対処方法

タイマー予約が設定されている場合に表示される は、予約の実行に失敗すると または に変わります。



: 正常に予約設定や実行ができているときに表示されます。

: 繰返し:「1回」または「日付指定」で設定した予約の実行に失敗したときに表示されます。予約を再設定すると表示は消えます。

: 繰返し:「毎日」または「曜日指定」で設定した予約の実行に失敗したときに表示されます。設定を「OFF」にすると表示が消えます。また、次回の予約を正常に実行した場合、 に変わります。

予約の実行に失敗した際、予約設定画面に×が表示されます。

- ［ タイマー］を押すと、予約設定画面が表示されます。

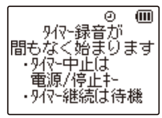




- タイマー再生の実行に失敗した場合は、×は表示されません。

タイマー予約に関するお知らせ

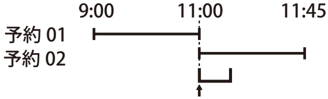
- タイマー予約時刻が来ると、予約を実行します。実行前に電源を切っていた場合は電源が入って予約を実行し、終了時刻に電源が切れます。
- 動作設定が「再生」の場合、少し遅れてラジオの受信またはファイルの再生を開始します。
- 電源が入っているときに予約時刻が来た場合
  - タイマー再生の場合は実行されません。（ICレコーダーモードの停止中を除く）
  - タイマー録音は実行されます。ただし予約時刻に録音中だった場合はその動作を優先し、タイマー録音を実行しません。
- タイマー録音開始時刻の約1分前になると、下記の画面が表示されます。



［■停止］を押すか、電源を切ると、タイマー録音を中止します。

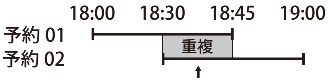
- タイマー録音（再生）中は、停止および電源操作、音量の調整以外の操作はできません。
- 時計設定がお買い上げ時の設定に戻った場合、タイマーの実行設定は自動的に OFF に切り換わります。

- 前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じで、後がタイマー録音の場合、録音の先頭数秒間は録音されません。（録音されない秒数は使用状況によって変わります。（約 1 ～ 5 秒））



終了時刻と開始時刻が同じ場合、後の予約の先頭約 1 ～ 5 秒が録音されません。

- 予約設定を完了する際、他の予約の設定時刻と重複している場合は、「設定時間が重なっています＊＊＊」などが表示され、重複先の予約番号をお知らせします。時間が重複しないように設定してください。



開始時刻と終了時刻が重複している場合、設定が完了できません。

- 時報設定した時刻の前後 3 分間は、タイマー予約設定できません。予約設定しようとすると「時報設定と設定時間が重なっています」と表示されます。（時報設定 : ON の場合）

時刻自動補正（時報設定）を設定する

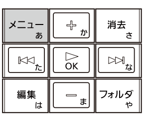
ラジオの時報を受信することにより、現在時刻を自動的に補正することができます。

- 時刻自動補正設定した時刻に本機の電源が入っていると、補正を行いません。
- 時刻自動補正機能で補正できる範囲は、時報の約－2分～約＋2分です。あらかじめ時計設定で誤差が2分以内になるように設定してください。
- 時報設定する前に、設定する周波数の放送が正しく聴こえることをご確認ください。ノイズが入ると、正しく時刻自動補正ができないことがあります。
- ラジオの受信状態が悪い場合は、誤動作防止のため、時刻自動補正機能を「OFF」に設定してください。
- FM放送の受信状態が悪くノイズが入る場合は、「FM受信モード」（P41）を「モノラル」に設定するとノイズが低減する場合があります。
- 毎時、時報が放送されるわけではありません。また、放送局によっては時報のお知らせがない場合があります。

時刻自動補正を設定する

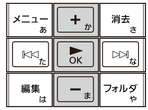
電源を入れておく（P18）

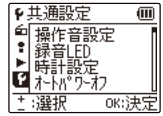
1 停止中に、［メニュー］を押す



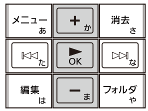


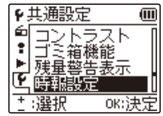
2 ［＋］/［－］で、「共通設定」を選び、［OK］を押す



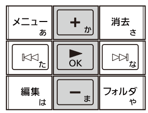


3 ［＋］/［－］で、「時報設定」を選び、［OK］を押す





4 ［＋］/［－］で設定項目を選び、［OK］を押す





【時報設定画面】

5 ［＋］/［－］、［⏮］/［⏭］で設定内容を変更し、［OK］を押す

- 設定内容、変更方法は各項目で異なります。下記ページを参照してください。

設定項目	参照先
設定	P53
受信先	P53
受信時間	P54

6 手順4、5を繰り返して設定する

お願い

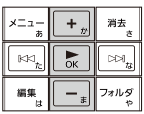
- **すべての設定を行ったら、最後に必ず「設定完了」の操作を行ってください。**（P54）
  「設定完了」の操作を行わず、設定の途中で［■停止］や［メニュー］を押すと、「設定した内容で登録しますか？」の確認画面が表示される場合があります。［⏮］/［⏭］で「はい」、「いいえ」を選び、［▶OK］を押してください。

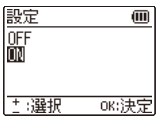
時報設定の ON/OFF を設定する（設定）

時刻自動補正の ON/OFF を設定します。

1 **時報設定画面で「設定」を選び、［▶OK］を押す（P52）**

2 **［+］/［−］で「ON」または「OFF」を選び、［▶OK］を押す**





OFF : 時刻自動補正を実行しません。
ON : 時刻自動補正を実行します。

- 時刻自動補正が「OFF」になっていると、時刻自動補正は動作しません。時刻自動補正をする場合は、「ON」に設定してください。時刻自動補正の設定のみ行い、時刻自動補正しない場合は、「OFF」に設定してください。

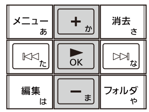
受信先を設定する（受信先）

■ AM/FM を設定する

時報を受信する受信先を AM/FM から選びます。

1 **時報設定画面で「受信先」を選び、［▶OK］を押す（P52）**

2 **［+］/［−］で「AM」または「FM」を選び、［▶OK］を押す**





■受信先（放送局）の設定

時報を受信する放送局を選びます。

1 **［+］/［−］でチャンネルまたは周波数を選び、［▶OK］を押す**

2 **［+］/［−］で受信したい放送局がプリセットされているチャンネル（CH）または周波数（AM: kHz、FM: MHz）を選び、［▶OK］を押す**





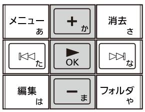
チャンネルを選んだ場合

受信時間を設定する（受信時間）

時報を受信する時間を設定します。

1 **時報設定画面で「受信時間」を選び、[▶OK] を押す（P52）**

2 **[＋] / [−] で受信する時間を選び、[▶OK] を押す**



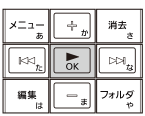


- AM12 時は午前 0 時、PM12 時 は正午です

時報設定を完了する（設定完了）

1 **時報設定画面で「設定完了」を選び、[▶OK] を押す（P52）**

- 時報設定が設定され、共通設定画面に戻ります。





お願い

- **必ず「設定完了」の操作を行ってください。**「設定完了」の操作を行わず、設定の途中で［■停止］や［メニュー］を押すと､「設定した内容で登録しますか？」の確認画面が表示される場合があります。［|◀◀］/［▶▶|］で「はい」､「いいえ」を選び、[▶OK] を押してください。

2 **［メニュー］を押して、時報設定を終了する**

- 時報設定を ON に設定すると、画面に T が表示されます。

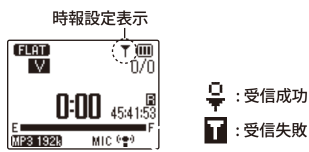
3 **本機の電源を切る**

- 設定時刻に本機の電源が入っていると、自動補正機能は働きません。

- 設定した時刻の約 3 分前になると、ラジオの時報を受信し､現在時刻が自動的に補正されます。そのとき、画面表示や音声出力はされません。
- 本機をスピーカークレードルにセットしている場合は、設定した時刻の約 3 分前になると下記の画面が表示されます。



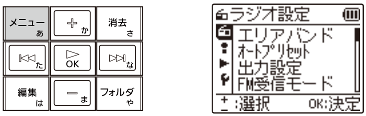
- 時報受信の成功 / 失敗により表示が変わります。



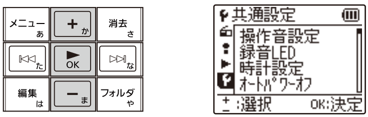
スリープタイマーを設定する

スリープタイマーを設定すると、設定した時間が経過した後、自動的に電源を切ることができます。

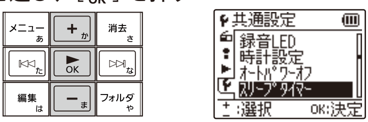
1 停止中に、[メニュー] を押す



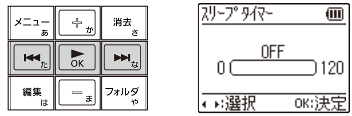
2 [+] / [−] で、「共通設定」を選び、[▶OK] を押す



3 [+] / [−] で、「スリープタイマー」を選び、[▶OK] を押す



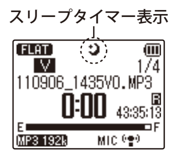
4 [⏮] / [⏭] を押してスリープタイマーが作動するまでの時間を設定し、[▶OK] を押す



- 10 分～ 120 分の間で 10 分単位で設定できます。
  0 分に設定するとスリープタイマーが OFF に設定されます。

5 [メニュー] を押して、設定を終了する

- 一度スリープタイマー設定した後に、再度スリープタイマー設定メニューに入ると残り時間を確認できます。
- スリープタイマーを設定すると、本機の画面に が表示されます。



- スリープタイマーを設定した時間と、タイマー予約実行時間が重なっている場合は、タイマー予約の実行が優先されます。タイマー予約実行の終了後に電源が切れます。

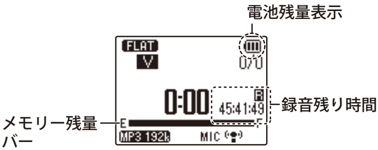
上手に録音するコツ

■ 試し録りをしましょう

周囲の雑音の有無、話をする人の声の大きさなど、録音環境はさまざまです。
大切な録音を失敗しないためにも、録音の前には必ず試し録りをするようにしましょう。

■ 録音残り時間・電池残量の確認

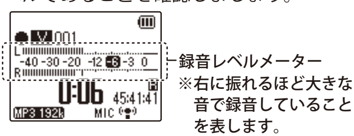
録音残り時間や電池持続時間は、録音モードの設定によって変わります。録音の前には必ず録音残り時間、および電池残量が十分にあることを確認するようにしましょう。



・ 録音残り時間が少なくなるのにともなって、メモリー残量バーの黒色部分が、F から E の方向に少なくなっていきます。

■ 録音レベルメーター表示について

録音レベルメーターは録音時の入力レベルを表します。録音時はレベルメーターを確認し、有効な入力レベルであることを確認しましょう。



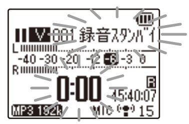
■ ノイズを軽減するには

録りたい音以外にもさまざまな音が録音されてしまう場合があります。

・ 録音中に本機に触れると、その音が録音されます。録音中はできるだけ本機に触れないようにしてください。
・ 本機を机やピアノの上に直接置いて録音すると、振動音が録音される場合があります。柔らかい布などを敷いて録音してください。
・ エアコンやプロジェクター、パソコンのファンノイズを軽減したい場合や、口元録音で息が吹きかかる場合、屋外で風が強い場合は、Low Cut フィルタ（P69）を「ON」に設定してください。

■録音スタンバイ画面について

本機の設定によっては、［●録音］を押したままにすると、録音スタンバイ画面が表示されます。このような場合はもう一度［●録音］を押すと録音が開始されます。（P62）



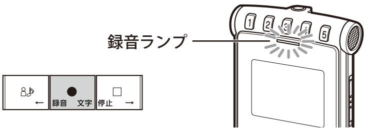
【録音スタンバイ画面】

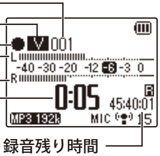
録音の基本操作（マイク録音）

電源を入れておく（P18）

1 IC レコーダーモード（P21）で停止中に、［●録音］を押して、録音を開始する

・ 録音ランプが点灯します。





● 録音モニター

インサイドホン端子（🎧）に付属のステレオインサイドホンを接続して録音すると、録音中の音を聴くことができます。
録音モニターの音量は、［＋］/［－］で調整してください。

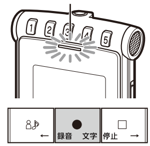
2 ［■停止］を押して、録音を終了する

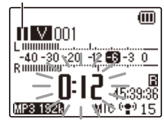
・ 録音ランプが消灯します。

■ 録音を一時停止するには

録音中に［●録音］を押す

・ 録音ランプと録音経過時間が点滅し、録音一時停止中表示（❚❚）に変わります。





・ 一時停止中にもう一度、［●録音］を押すと、録音を再開します。
・ 録音一時停止のまま、オートパワーオフ機能（P105）で設定した時間が経過すると、録音中のファイルを保存した後、電源が切れます。

お知らせ

・ **録音シーンを選ぶだけで、シーンに応じたおまかせ録音ができます。（P58）**
・ 録音中のファイルサイズが 2 GB を超えた場合は、2 GB で一旦録音を停止し、録音ファイルを作成します。その後、引き続き新しいファイルで録音が再開されます。録音停止から録音再開までの約 2 秒間は録音されません。

お願い

・ 録音中は電池や SD カードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
・ SD カードの特性として、録音や消去を繰り返し行うことで処理能力が落ち、音飛びした状態で録音されることがあります。このような場合には必要なファイルのパソコンへのバックアップ（P114）や、音声のダビング（P65）をした後、SD カードをフォーマットしてください。（P90）
・ 録音 LED 設定が「OFF」の場合、録音操作時に録音ランプは点灯（点滅）しません。（P104）

シーンセレクト機能を使う

録りたいシーンを選ぶだけで、録音シーンに応じた当社推奨の録音設定を一括で呼び出します。あらかじめプリセットされている「口述」、「会議・講義」、「音楽」のマイク録音用シーン、「ヘッドホン」、「ポータブル」、「コンポ」のライン録音用シーンから選ぶことができます。

■シーンセレクトの種類

口述	インタビューや会話の録音などに最適な設定
会議・講義	会議など全方向からの音声を録音するのに最適な設定
音楽	楽器演奏や動物の声などを高音質で録音するのに最適な設定
ヘッドホン *1	ヘッドホン出力端子と接続して録音するときの設定
ポータブル *1	ポータブル機器のライン出力端子と接続して録音するときの設定
コンポ *1	コンポ、AV アンプなどのライン出力端子と接続する場合の設定

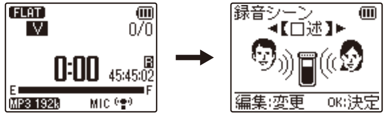
*1 本機をスピーカークレードルにセットしている場合のみ有効です。

- 各シーンの設定内容は、お好みに応じて変更し、登録することができます。設定内容については P59 をご覧ください。
- シーン設定はすべての録音設定を一括で切り換えます。録音設定を個別に切り換えたい場合は、録音設定メニューから設定してください。（P66）
- 録音シーンを設定した後、設定メニューで個別に録音設定を変更した場合、変更した内容以外は、録音シーンの設定が保持されます。

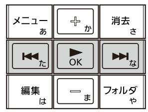
シーンセレクトを設定する

電源を入れておく（P18）

1 IC レコーダーモード（P21）で停止中に［♪］を押す

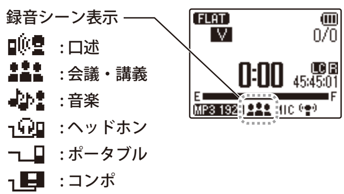


2 [⏮] / [⏭] で録音シーンを選び、[▶OK] を押す





- 選んだ録音シーンが設定され、設定した録音シーン表示が画面に表示されます。
- 録音シーンはお使いの環境に応じたもの（または近いもの）を選んでください。異なるシーンを選んだ場合、正常に録音できない場合があります。



■シーンセレクトの初期設定内容（お買い上げ時）

●マイク録音用の設定

録音シーン		口述	会議・講義	音楽
				
設定項目	参照先			
録音モード	P67	MP3: 64kbps	MP3: 192kbps	PCM: 48kHz
マイク感度	P67	低	高	高
録音レベル調整	P68	自動	自動	手動
指向性切替	P69	ST	ST	ST
Low Cut フィルタ	P69	ON	ON	OFF
録音ピークリミッター	P70	OFF	OFF	OFF
セルフタイマー録音	P71	OFF	OFF	OFF
VOS 設定	P72	OFF	OFF	OFF
ライン入力設定	P70	高	高	高
シンクロ録音	P73	OFF	OFF	OFF

●ライン録音用の設定

録音シーン		ヘッドホン	ポータブル	コンポ
				
設定項目	参照先			
録音モード	P67	MP3: 192kbps	MP3: 192kbps	MP3: 192kbps
マイク感度	P67	高	高	高
録音レベル調整	P68	自動	自動	自動
指向性切替	P69	ST	ST	ST
Low Cut フィルタ	P69	OFF	OFF	OFF
録音ピークリミッター	P70	OFF	OFF	OFF
セルフタイマー録音	P71	OFF	OFF	OFF
VOS 設定	P72	OFF	OFF	OFF
ライン入力設定	P70	高	中	低
シンクロ録音	P73	OFF	OFF	OFF

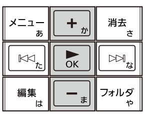
シーンセレクトの設定内容を変更する

録音シーンセレクトの設定内容はお好みに応じて変更し、登録することができます。よく使う設定を登録しておくことにより、次からはすばやく呼び出すことができます。

1 IC レコーダーモード（P21）で停止中に［👤♪］を押し、［⏮］/［⏭］で変更したい録音シーンを選ぶ

2 ［編集］を押す

3 ［+］/［−］で変更したい項目を選び、［▶OK］を押す

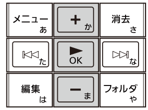




4 設定内容を変更する

- 選んだ項目によって設定方法が異なります。各設定方法については、P59 の表内の参照ページをご覧ください。
- 手順3、4を繰り返して、他の設定内容を変更してください。

5 変更が終了したら、［+］/［−］で「設定完了」を選び、［▶OK］を押す



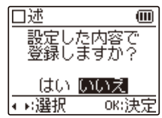


- 変更した設定が録音シーン設定に登録されます。

お願い

- 必ず「設定完了」の操作を行ってください。「設定完了」の操作を行わず、設定の途中で［■停止］や［編集］を押すと、「設定した内容で登録しますか？」の確認画面が表示される場合があります。［⏮］/［⏭］で「はい」、「いいえ」を選び、［▶OK］を押してください。





6 ［👤♪］を押して、録音シーン設定を終了する

シーンセレクトの設定内容を初期化する

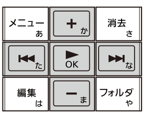
変更した登録内容を初期化する（お買い上げ時の状態に戻す（P59））ことができます。

1 **IC レコーダーモード（P21）で停止中に、[👤♪] を約 2 秒以上押したままにする**

- 設定初期化画面が表示されます。

2 **[+] / [−]、[⏮] / [⏭] で、初期化したい録音シーンを選び、[▶OK] を押す**

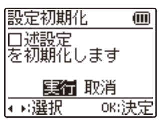
- すべての録音シーンの設定を初期化する場合は、「ALL」を選んでください。





3 **[⏮] / [⏭] で「実行」を選び、[▶OK] を押す**





- 選択した録音シーンの設定が初期化されます。
- 設定初期化（P107）を行った場合もシーンセレクトの設定内容は初期化されます。

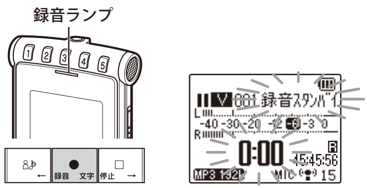
録音レベルを調整する

シーンセレクトで「音楽」を選んだ場合や、録音設定メニューで「録音レベル調整」を「手動」にした場合、録音レベルを調整しながら録音することができます。(P58、68)

電源を入れておく(P18)

1 IC レコーダーモード(P21)で停止中、[●録音]を約 1 秒以上押したままにする

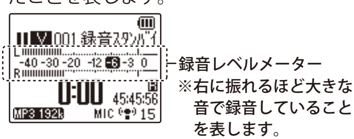
- 録音スタンバイになります。
- 録音ランプは消灯したままです。この状態ではまだ録音は開始されていません。



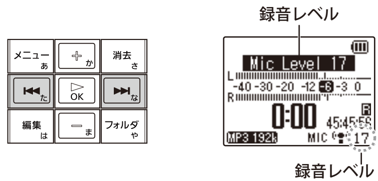
- [■停止]を押すと録音スタンバイを解除します。

2 本機を録音する位置に置き、実際に音を鳴らす

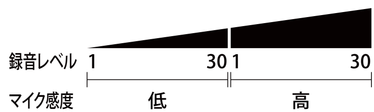
- マイクに音が入ると、その音の大きさに応じて録音レベルメーターが左右に振れます。右に振れるほど、大きな音が入力されたことを表します。



3 [⏮]/[⏭]を押して、録音レベルを調整する

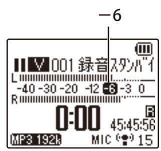


- 録音レベルは、マイク感度「低」、「高」共に 1 ～ 30 まで調整できます。
  録音レベル 0 は、無音で録音されます。



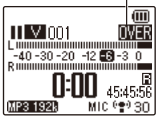
■ 適切な録音レベルにするために

- 目安として、録音する音が最も大きくなった場合に「－ 6」付近を指すぐらいに調整してください。



- 「OVER」が表示される場合は、録音レベルが高すぎるために音がひずんで録音されます。

OVER 表示

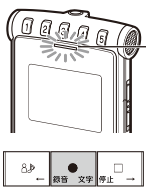


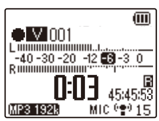
［⏮］を押して録音レベルを下げてください。

- マイク感度「高」で録音レベルを 1 まで下げても「OVER」が表示される場合は、マイク感度を「低」にして調整してください。
- マイク感度「低」で録音レベルを 30 まで上げても十分な録音レベルが得られない場合は、マイク感度を「高」にして調整してください。

4 ［●録音］を押して、録音を開始する

- 録音ランプが点灯します。





5 ［■停止］を押して、録音を終了する

お知らせ

- 録音中も［⏮］/［⏭］で録音レベルの調整ができますが、操作音やノイズなどが録音されることがありますので、あらかじめ録音スタンバイで調整しておくことをおすすめします。
- 録音レベル調整の設定を「手動」で録音する場合は、VOS（音声起動録音）を使用できません。
- 録音レベル調整の設定を「手動」に設定している場合、録音スタンバイ画面で［メニュー］を押すと、以下の設定を変更することができます。
  - マイク感度（P67）
  - Low Cut フィルタ（P69）
  - 録音 EQ（P74）

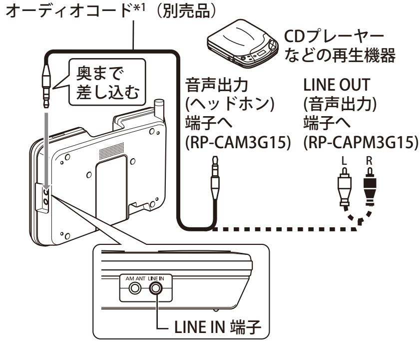
他の機器から本機に録音する

本機をスピーカークレードルにセットした状態で、スピーカークレードルに外部機器を接続すると、外部機器からの音声を本機に録音することができます。

電源を切っておく（P18）

1 **本機をスピーカークレードルにセットし、本機の電源を入れる（P29）**

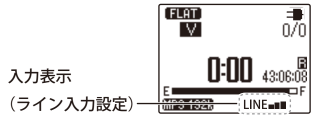
2 **スピーカークレードルの LINE IN 端子と他の機器の音声出力端子（ヘッドホン端子など）を、オーディオコードで接続する**



*1 ・推奨品 : RP-CAM3G15
3.5 mm ステレオミニプラグ
－ 3.5 mm ステレオミニプラグ : 抵抗なし
・推奨品 : RP-CAPM3G15
3.5 mm ステレオミニプラグ
－ピンプラグ× 2 : 抵抗なし

※ 別売品の品番は、2011 年 7 月現在の品番です。

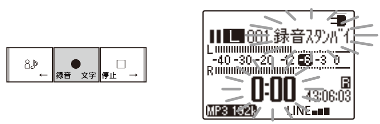
- 接続する機器によって出力端子の形状が異なる場合は、市販の変換アダプターや変換ケーブルなどをご用意ください。
- オーディオコードを接続すると、入力表示が「MIC」から「LINE」に変わります。



3 **接続する機器に合わせて、「ライン入力設定」を設定する（P70）**

4 **本機の［●録音］を約 1 秒以上押したままにする**

- L（LINE）フォルダに切り換わり、録音スタンバイになります。
- この状態ではまだ録音は開始されていません。
- 短く押した場合は、すぐに録音が開始されます。

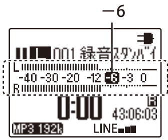


5 **他機器を再生させて、本機の録音レベルメーターで出力レベルの大小を確認する**

- 「OVER」が表示される場合は、再生機器側の音が大きすぎるため音がひずんで録音されます。再生機器側の音量を下げてください。
- 必要に応じてライン入力設定（P70）を変更してください。

- 音量の調整は、録音したい音が最も大きくなった場合でも、「OVER」が表示されない範囲でレベルメーターができるだけ右に振れるよう調整 *2 してください。

  *2 目安として、－ 6 dB 付近をおすすめします。



6 **音量の調整が完了したら、必要に応じて再生側の音源の頭出しを行い、もう一度、本機の［●録音］を押して録音を開始する**

- 本機の［●録音］を押した後に、他の機器の再生を行ってください。

7 **録音を終了するときは、本機と他の機器を停止する**

- 録音ファイルは、L（LINE）フォルダに保存されます。

お知らせ

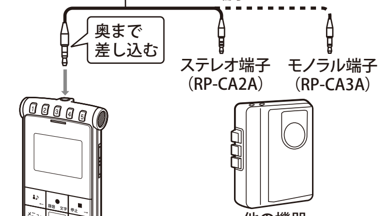
- 約 2 秒以上の無音を感知したときに自動で分割を行う「シンクロ録音」を設定すると、CD 録音のときなどに便利です。（P73）
- ライン録音時の録音スタンバイ画面で［メニュー］を押すと、以下の設定を変更することができます。
  - ライン入力設定（P70）
  - シンクロ録音（P73）

本機から他の機器にダビングする

本機で録音した内容を他の機器に録音（ダビング）することができます。

- 事前に試し録りをし、本機の音量を調整してください。

1 **本機のインサイドホン端子（🎧）と他の機器の音声入力端子を、オーディオコードで接続する**



*1 ・推奨品 : RP-CA2A
3.5 mm ステレオミニプラグ
－ 3.5 mm ステレオミニプラグ : 抵抗入り
・推奨品 : RP-CA3A
3.5 mm ステレオミニプラグ
－ 3.5 mm モノラルミニプラグ : 抵抗入り

2 **録音（ダビング）したいファイルを選ぶ（P76 の 1、2）**

3 **他の機器の録音を開始した後に、本機の［▶OK］を押す**

4 **録音（ダビング）を終了するときは、本機と他の機器を停止する**

※ 別売品の品番は、2011 年 7 月現在の品番です。

録音・再生

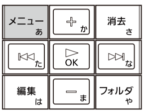
録音に関する機能と設定

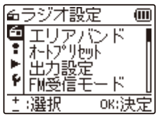
録音する場面や状況に応じて各種のマイク録音設定を個別に行うことで、よりクリアでノイズの少ない録音ができます。

録音設定画面の出しかた

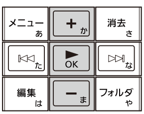
電源を入れておく（P18）

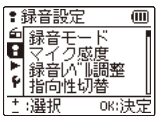
1 IC レコーダーモード（P21）で停止中に、［メニュー］を押す



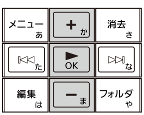


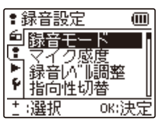
2 ［＋］/［−］で「録音設定」を選び、［OK］を押す





3 ［＋］/［−］で変更する機能を選び、［OK］を押す





- 設定内容、変更方法は項目ごとに異なります。下記ページを参照してください。

機能	参照先
録音モード	P67
マイク感度	P67
録音レベル調整	P68
指向性切替	P69
Low Cut フィルタ	P69
録音ピークリミッター	P70
セルフタイマー録音	P71
VOS 設定（音声起動録音）	P72
ライン入力設定	P70
シンクロ録音	P73

お知らせ

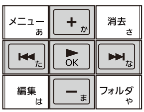
- 操作中に［■停止］を押すと、１つ前の画面に戻ります。
- 録音シーンセレクト機能を使うと、シーンに応じた当社推奨の録音設定を一括で設定することができます。（P58）

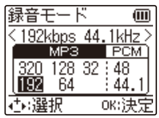
音質を変更する（録音モード）

音質を重視、あるいは録音時間を重視して録音できます。

1 **録音設定画面で、「録音モード」を選ぶ（P66）**

2 **［+］/［−］、［⏮］/［⏭］で、設定したい録音モードを選び、［▶OK］を押す**



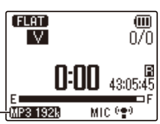


PCM（非圧縮）	48kHz	高音質 ↑
	44.1kHz	
MP3（圧縮）	320kbps	
	192kbps	
	128kbps	
	64kbps	
	32kbps	↓ 長時間

- MP3 32kbps はモノラルです。
- 音質を高めるとデータサイズは大きくなり録音できる時間は短くなります。目的に合った録音モードをお選びください。（P131）

3 **［メニュー］を押して、設定を終了する**

録音モード表示

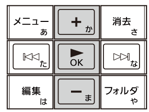


マイク感度を変更する（マイク感度）

用途に合わせて、マイクの感度を選ぶことができます。

1 **録音設定画面で、「マイク感度」を選ぶ（P66）**

2 **［+］/［−］で「感度：高」または「感度：低」を選び、［▶OK］を押す**

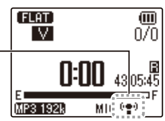




感度：高：会議・講義などの録音
感度：低：口もとや大音量などの録音

3 **［メニュー］を押して、設定を終了する**

マイク感度表示



- マイク感度の設定を切り換えると画面のアイコンが変わります。

マイク感度	STEREO	STEREO WIDE
高		
低		

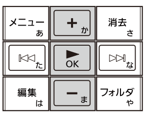
- マイク感度は、録音スタンバイ時（P62）にも設定できます。

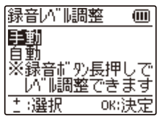
録音レベル調整の設定を変更する（録音レベル調整）

録音レベルを自動で調整するか、手動で調整するかを設定できます。

1 **録音設定画面で、「録音レベル調整」を選ぶ（P66）**

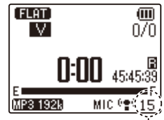
2 **［＋］/［－］で「手動」または「自動」を選び、［▶OK］を押す**





設定	機能	使用場面
手動	音の大小をそのまま録音し、原音に忠実な音声録音を行います。	楽器演奏など
自動	大きい音は少し小さく、小さい音は少し大きく録音します。音割れやひずみを抑え、聴き取りに適した音声録音を行います。	会議、講義、商談、講演、インタビューなど

3 **［メニュー］を押して、設定を終了する**



録音レベル

録音レベル表示なし：自動

録音レベル表示あり：手動

- 「手動」に設定し、［●録音］を約 1 秒以上押したままにすると、録音スタンバイになります。［⏮］/［⏭］を押すと、録音レベルの調整ができます。（P62）

お知らせ

録音スタンバイ画面で［メニュー］を押すと、以下の設定を変更することができます。

- マイク感度（P67）
- Low Cut フィルタ（P69）
- 録音 EQ（P74）

マイクの指向性を切り換える（指向性切替）

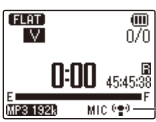
マイクの指向性を録音シーンに合わせて、切り換えて使用することができます。

1 **録音設定画面で、「指向性切替」を選ぶ（P66）**

2 **［⏮］/［⏭］で、「STEREO」または「STEREO WIDE」を選び、［▶OK］を押す**

	STEREO	STEREO WIDE
設定		
ステレオワイド機能	OFF	ON
機能	全方向にバランスよく録音できます。	ステレオ感を強調して録音できます。
使用場面	・口述録音 ・少人数での会議	・対談、インタビュー

- マイク指向性の設定を切り換えると画面のアイコンが変わります。（P67）



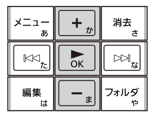
: STEREO
: STEREO WIDE
マイク指向性表示

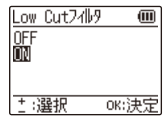
低い周波数の音を減衰する（Low Cut フィルタ）

Low Cut フィルタ設定を ON にすると、録音時に低い周波数の音を減衰します。空調ノイズやプロジェクターのファンノイズなどを低減したい場合に効果的です。

1 **録音設定画面で「Low Cut フィルタ」を選ぶ（P66）**

2 **［+］/［−］で「ON」または「OFF」を選び、［▶OK］を押す**

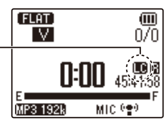




3 **［メニュー］を押して、設定を終了する**

- Low Cut フィルタを「ON」に設定すると、画面に LC が表示されます。

Low Cut フィルタ表示
表示あり：ON
表示なし：OFF



- Low Cut フィルタは、録音スタンバイ時（P62）にも設定できます。

録音・再生

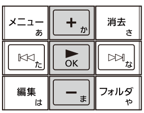
突然の大きな音のひずみを抑える（録音ピークリミッター）

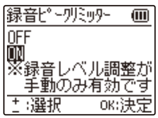
突然の大きな音を自動で調整し、音のひずみを抑えて録音します。

- シーンセレクト設定が「音楽」、または「録音レベル調整」が「手動」の場合のみ有効です。

1 録音設定画面で「録音ピークリミッター」を選ぶ（P66）

2 ［+］/［−］で「ON」または「OFF」を選び、［▶OK］を押す





3 ［メニュー］を押して、設定を終了する

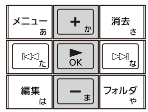
- 大きな音を自動調整して下げる際、ノイズ音が聞こえる場合があります。

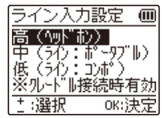
ライン録音の入力レベルを設定する（ライン入力設定）

ライン録音時に接続する機器に合わせて設定します。

1 録音設定画面で「ライン入力設定」を選ぶ（P66）

2 ［+］/［−］で、接続する機器の出力端子を選び、［▶OK］を押す





ライン入力設定	接続先
高（ヘッドホン）	ヘッドホン出力端子と接続する場合
中（ライン：ポータブル）	ポータブル機器のライン出力端子と接続する場合
低（ライン：コンポ）	コンポ、AV アンプなどのライン出力端子と接続する場合

3 ［メニュー］を押して、設定を終了する

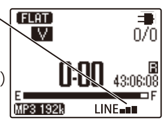
- オーディオコードを接続すると、ライン入力設定が表示されます。

ライン入力設定

LINE▪▪▪：高（ヘッドホン）

LINE▪▪　：中（ライン：ポータブル）

LINE▪　：低（ライン：コンポ）

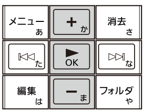


録音開始までの時間を設定する（セルフタイマー録音）

［●録音］を押してから録音が開始されるまでの時間が設定できます。楽器の練習など、録音開始までの時間を必要とする場合に便利です。

1 **録音設定画面で「セルフタイマー録音」を選ぶ（P66）**

2 **［＋］/［－］で、セルフタイマーの設定時間を選び、［▶OK］を押す**



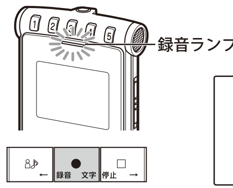


セルフタイマー	機能
OFF	セルフタイマー録音をしません
5 秒	［●録音］を押した 5 秒後に録音開始
10 秒	［●録音］を押した 10 秒後に録音開始
30 秒	［●録音］を押した 30 秒後に録音開始

3 **［メニュー］を押して、設定を終了する**

4 **［●録音］を押す**

- セルフタイマー待機画面が表示され、設定した時間のカウントダウンが始まり、録音ランプが点滅します。





- 手順**2**で設定した時間が経過すると、録音を開始します。
- 録音スタンバイのときは、もう一度［●録音］を押すと、カウントダウンが始まります。
- カウントダウン中に［●録音］を押すと、すぐに録音を開始します。

- 一度セルフタイマー設定を行うと、設定内容は保持されます。
  セルフタイマーを解除するには、「OFF」を選んでください。
- カウントダウン中に［■停止］を押すと、カウントダウンを停止します。

音声を感知して録音する（VOS 設定 : 音声起動録音）

VOS*[1] 設定を ON にすると、音声を感知したときに自動で録音を開始し、音声が一定レベル以下になると自動的に録音を一時停止します。

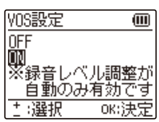
*1 VOS は「Voice Operation System」の略です。

- 「録音レベル調整」が「手動」に設定されている場合、VOS 録音はできません。
- 無音と判断して録音一時停止になると、VOS が点滅します。この録音一時停止中から［●録音］を押すと通常の録音一時停止になり VOS が点灯になります。VOS 点滅中は、オートパワーオフ（P18）は機能しません。
- 小さな音の場合は周囲の環境（雑音や録音する音の大きさなど）によっては、思いどおりに録音されないことがありますので、大切な録音をするときは、この機能を「OFF」に設定してください。
- Low Cut フィルタを「ON」に設定すると低域の音がカットされるため、音を感知しにくくなり、正しく録音されない場合があります。そのような場合は、Low Cut フィルタを「OFF」に設定してください。

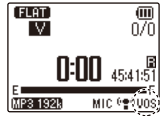
1 録音設定画面で「VOS 設定」を選ぶ（P66）

2 ［+］/［−］で「ON」または「OFF」を選び、［▶OK］を押す





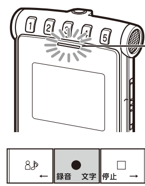
3 ［メニュー］を押して、設定を終了する



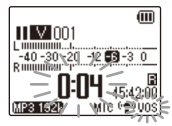
VOS 表示

4 ［●録音］を押す

- 音声を感知したときに自動で録音を開始し、音声を感知できない場合は、一時停止（録音待機）になり、録音ランプ、録音経過時間、VOS 表示が点滅します。

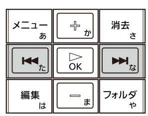


録音ランプ

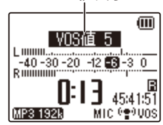


■音声感知レベルの調整

VOS 設定「ON」で録音中に［⏮］/［⏭］を押すと、録音感知レベルを調整できます。（VOS 値表示）



VOS 値表示



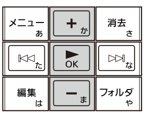
- 1 ～ 5 の 5 段階で調整できます。（お買い上げ時は 3 に設定されています。）
- 数値が高くなるほど小さな音を感知して録音を開始しますが、雑音の多い場所では、録音が一時停止（録音待機）しない場合があります。

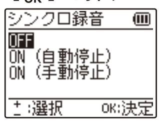
自動でファイルを分割させる（シンクロ録音）

約 2 秒以上の無音部分を感知して、自動的にファイルを分割して録音します。
CD プレーヤーやラジカセなどから音楽をライン録音するときなどに便利です。（P64）

1 **録音設定画面で「シンクロ録音」を選ぶ****（P66）**

2 **[＋]/[−]で「ON（自動停止 / 手動停止）」または「OFF」を選び、[▶OK] を押す**



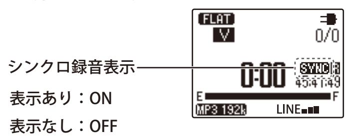


設定	機能
OFF	シンクロ録音しません。
ON（自動停止）	約 2 秒の無音を感知したときに自動で分割します。無音状態が約 2 秒以上続くと一時停止となり、音声を感知すると録音を再開します。無音状態が約 15 秒続くと自動で録音を終了します。
ON（手動停止）	約 2 秒の無音を感知したときに自動で分割します。無音状態が約 2 秒以上続くと一時停止となり、音声を感知すると録音を再開します。[■停止] を押すと録音を終了します。

- 自動停止は CD から録音する場合に効果的です。
- 曲の先頭の無音時間が短い場合（すぐに開始する曲など）は、曲の先頭が切れる場合があります。この場合はシンクロ録音を使わないでください。
- 手動停止は、カセットテープからライン録音するとき、A 面→ B 面の切換時に約 15 秒以上の無音がある場合にも一時停止のまま待機するので、効果的に使うことができます。
- ライブ盤 CD のようにトラック間に約 2 秒以上の無音がない場合や、ノイズ・駆動音の激しいカセットテープからの録音では、無音を検知できないためシンクロ録音機能が働かない場合があります。
- タイマー予約機能を使ってのライン録音ではシンクロ録音はできません。

3 **[メニュー] を押して、設定を終了する**

- 本機をスピーカークレードルにセットし（P29）、スピーカークレードルの LINE IN 端子にオーディオコードを接続すると、画面に SYNC が表示されます。



お知らせ

- ヘッドホン出力でシンクロ録音ができない場合は、ライン入力設定を「中（ライン : ポータブル）」、「低（ライン : コンポ）」に設定して録音してみてください。ただし、録音元（CD プレーヤーなどの再生機器）との兼ね合いによりシンクロ録音ができない場合があります。

録音イコライザーを設定する（録音 EQ）

録音イコライザー（録音 EQ）を使用すると、低音域を強調したり、中音域を強調するなど、お好みの音質で録音できます。

- 録音 EQ はマイク録音（V フォルダへの録音）の場合に設定できます。
- 録音 EQ は録音スタンバイ（P62）時のみ設定できます。

■録音 EQ の種類

録音 EQ モード	特徴
FLAT	音域の強調なし
EXTRA BASS	低音域をより強調
BASS	低音域をやや強調
MIDDLE	中音域を強調
BASS ＆ TREBLE	低音域と高音域をやや強調
TREBLE	高音域をやや強調
EXTRA TREBLE	高音域をより強調
USER	5 バンドの録音レベルを自由に調整し、お好みの音質に設定する（P75）

- お買い上げ時の「USER」の設定は、「FLAT」と同じです。

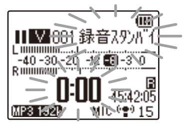
電源を入れておく（P18）

1 **シーンセレクト機能を「音楽」に設定する（P58）、または「録音レベル調整」を「手動」に設定する（P68）**

2 **［●録音］を約 1 秒以上押したままにする**

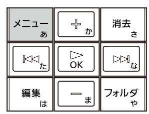
- 録音スタンバイになります。
- この状態ではまだ録音は開始されていません。





3 **［メニュー］を押す**

- 録音スタンバイのマイク録音設定画面が表示されます。



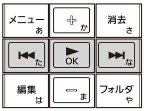


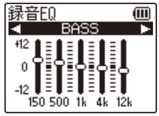
4 **［＋］/［－］で「録音 EQ」を選び、［▶OK］を押す**





5 ［⏮］/［⏭］で、録音したい音質を選び、［▶OK］を押す





6 ［メニュー］を押す

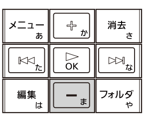
- 録音スタンバイ画面に戻ります。
- 設定画面終了後、録音 EQ モード名は表示されません。
- 必要であれば、録音レベルを調整します。（P62）

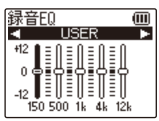
7 ［●録音］を押して、録音を開始する

お好み設定（USER）

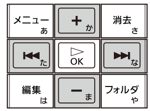
録音イコライザー（録音 EQ）の 5 バンドの各レベルを自由に設定することができます。

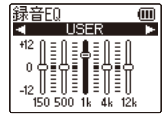
1 上記の手順 5 で［USER］を選び、［−］を押す





2 ［⏮］/［⏭］で、変更したい周波数帯を選び、［+］/［−］でレベルを調整する





- 上記手順を繰り返して、他の周波数帯を調整してください。
- − 12 dB ～ ＋ 12 dB（25 段階）まで、1 dB ごとに調整できます。数値が大きいほど強調されます。
- 設定を中止する場合は、［■停止］を押します。

3 設定が完了したら、［▶OK］を押す

4 ［メニュー］を押す

- 録音スタンバイ画面に戻ります。
- 設定画面終了後、録音 EQ モード名は表示されません。
- 必要であれば、録音レベルを調整します。（P62）

5 ［●録音］を押して、録音を開始する

再生の基本操作

本機で録音したファイルや、パソコンから M（MUSIC）フォルダに転送（P115）した MP3、WMA ファイルを再生することができます。

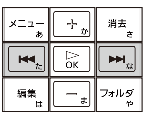
- M（MUSIC）フォルダの場合、可変ビットレート *1 の MP3、WMA ファイルも再生できる場合がありますが、再生経過時間やビットレートの表示が実際と異なったり、A-B リピート（P78）の際にリピート位置が設定位置と異なることがあります。

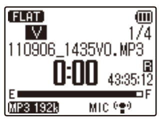
*1 音声圧縮時にビットレートを可変させる方式

電源を入れておく（P18）

1 再生するファイルが保存されているフォルダを選ぶ（P22）

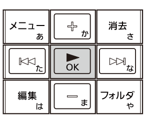
2 [⏮] / [⏭] で再生するファイルを選ぶ

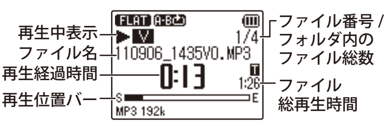




- M（MUSIC）フォルダを選んだ場合は、リスト画面が表示されますので P23 を参考にファイルを選んでください。

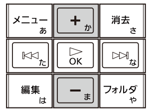
3 [▶OK] を押して、再生を開始する

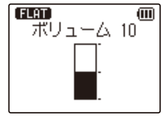




- 再生時間の経過とともに、再生位置バーの黒色部分が、S（開始位置）から E（終了位置）の方向にのびていきます。
- 再生経過時間が 100 時間以上になると、「時間：分：秒」の「時間」部分が点滅します。

4 [＋] / [－] で聴きやすい音量（0 ～ 20）に調整する





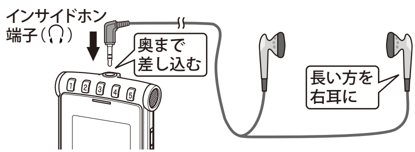
- 突然の大音量で耳を傷めないよう、音量を 17 以上に設定して電源を切った場合、次回電源を入れたときは、自動的に音量が 16 に調整されます。

■再生を終了するとき

[■停止] を押す

■ステレオインサイドホン（付属）を使用する

周囲に音を出したくないときやスピーカーからの音声が聴き取りにくいときに使用してください。また、高音質な音楽を「サウンド EQ」（P82）と合わせてお楽しみいただけます。



- 「サウンド EQ」は、ステレオインサイドホン接続時のみ有効です。
- インサイドホン端子（🎧）の抜き差しは、停止状態で行ってください。

■早戻し、早送りをするには

再生中に、［⏮］/［⏭］を押したままにする

・ ボタンから指を離すと早戻し / 早送りを中止し、指を離した位置から再生します。
・ タイマー再生中は動作しません。

■ファイルスキップするには

再生中、または停止中に［⏮］/［⏭］をポンと押す

・ ファイルの途中で［⏮］をポンと押すと、そのファイルの先頭にとびます。前のファイルに戻る場合は、ファイル先頭で約 1 秒以内に［⏮］を押します。
・ タイマー再生中は動作しません。

■タイムスキップするには

タイムスキップ機能を設定すると、再生中のファイルをあらかじめ設定した時間だけスキップし、再生することができます。（P82）

再生中に［⏮］/［⏭］をポンと押す

押すたびに約 5 秒～ 15 分 *1 スキップします。

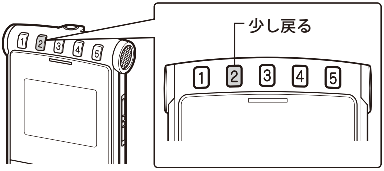
*1 タイムスキップの間隔は 5 秒 /10 秒 /30 秒 /1 分 /5 分 / 10 分 /15 分から選ぶことができます。

・ タイムスキップの間隔より近い位置にファイルの先頭位置やインデックスマークがある場合は、その位置にスキップします。
・ タイマー再生中は動作しません。

■少し戻る再生をするには

再生中に数秒だけ戻って再生できる機能です。語学学習や聴き逃した場合に便利です。（P82）

再生中に［少し戻る］を押す

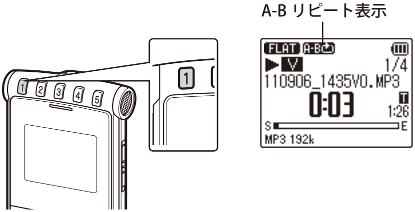


・ 押すたびに、約 3 秒（お買い上げ時）戻って再生します。
・ 少し戻る再生の間隔は 1 秒 /2 秒 /3 秒 /4 秒 / 5 秒から選ぶことができます。
・ タイマー再生中は動作しません。

2 点間をリピート再生する（A-B リピート）

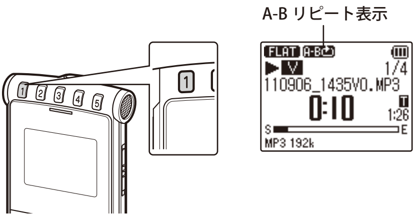
始点（A）と終点（B）を設定すると、その間を繰り返し再生します。

1 **再生中に、リピート再生の開始位置（A）で、［A-B ⟲］を押す**



・ 始点（A）が設定され B（点滅）と A- ⟲ が表示されます。

2 **リピート再生の終了位置（B）で、もう一度［A-B ⟲］を押す**



・ A-B⟲ に変わり、A-B リピート再生が始まります。

■ A-B リピート解除のしかた

下記のいずれかの方法で、解除することができます。

・ もう一度［A-B ⟲］を押す
・ ［■停止］を押す
・ ［|◀◀］/［▶▶|］を押す

■ A-B リピート再生中に操作可能な機能

・ 再生スピードの調整（P79）
・ 少し戻る再生（P77）
・ インデックスを付ける（録音ファイルのみ）（P94）

お知らせ

・ A 点と B 点の間隔が短すぎる（約 2 秒以下）場合、A-B リピートの設定ができません。
・ A 点を設定後、B 点を設定しなかった場合、そのファイルの終端が B 点になります。
・ ファイルをまたいでの A-B リピートはできません。
・ タイマー再生中は A-B リピートは設定できません。
・ M（MUSIC）フォルダで、パソコンから本機に転送した音楽ファイルなどを再生時（P84）、ファイルによっては、再生速度を変更（P79）すると、A-B リピートの際にリピート位置が設定位置と異なることがあります。

再生スピードを調整する

再生スピードを調整して聴くことができます。語学学習や楽器演奏での聴き取りにくい箇所を遅くしたり、長時間の録音内容をすばやく確認するときに便利に使えます。
デジタル変換処理により、音程を変えずに再生します。

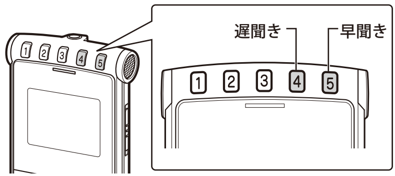
電源を入れておく（P18）

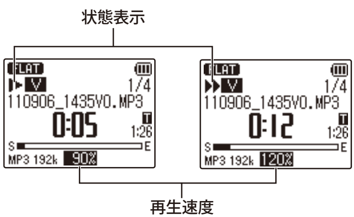
再生中に［早聞き］を押す

・ ボタンを押すたびに再生速度が速くなります。

再生中に［遅聞き］を押す

・ ボタンを押すたびに再生速度が遅くなります。





再生速度：

・ MP3 ファイルは、遅聞き 0.5 倍速（50 %）から早聞き 2 倍速（200 %）まで 21 段階で調整できます。
・ WMA ファイルは、遅聞き 0.5 倍速（50 %）から早聞き 1.2 倍速（120 %）まで 13 段階で調整できます。
・ 1 倍速よりも速い場合は 10 %ずつ、1 倍速よりも遅い場合は 5 %ずつ、再生速度を調整できます。
・ 早聞き、遅聞きで再生中に［OK］を押すと、1 倍速再生に戻ります。

状態表示：

・ 1 倍速時は ▶、1 倍速よりも速い場合は ▶▶、1 倍速よりも遅い場合は ▶ が表示されます。

お知らせ

・ **以下の場合は、再生スピードの調整はできません。**
  - PCM 録音ファイル
  - タイマー再生時

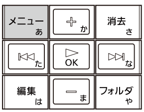
再生に関する機能と設定

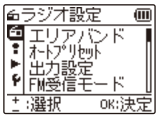
再生するファイルや用途に合わせて、リピート設定や音質などさまざまな設定を行うことができます。

再生設定画面の出しかた

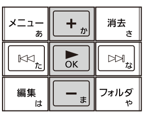
電源を入れておく（P18）

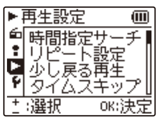
1 IC レコーダーモード（P21）で停止中に［メニュー］を押す



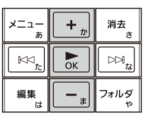


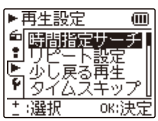
2 ［+］/［−］で、「▶ 再生設定」を選び、［▶OK］を押す





3 ［+］/［−］で、設定する項目を選び、［▶OK］を押す





・ 設定内容、変更方法については各項目で異なります。下記ページを参照してください。

機能	参照先
時間指定サーチ	P81
リピート設定	P81
少し戻る再生	P82
タイムスキップ	P82
サウンド EQ	P82

お知らせ

- 操作中に［■停止］を押すと、1つ前の画面に戻ります。
- 各機能は、再生しながらでも設定できます。ただし、フォルダ頭出しで再生している場合は、設定操作後、フォルダ頭出しが解除されます。（P84）

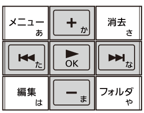
聴きたい位置から再生する（時間指定サーチ）

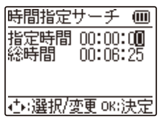
現在、選択しているファイルの再生位置を時間指定し、指定した位置から再生します。

1 再生設定画面で、「時間指定サーチ」を選ぶ（P80）

2 再生開始位置（指定時間）時間を設定し、[▶OK] を押す

① [⏮] / [⏭] で、時、分、秒に移動する
② [+] / [−] で、再生開始時間に変更する





・ 指定した時間をサーチし、再生を開始します。

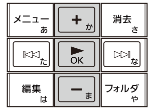
・ 時間指定サーチは、選択中のファイルでのみ行うことができます。

繰り返し再生する（リピート設定）

用途に合わせて、さまざまなリピート再生を選ぶことができます。

1 再生設定画面で、「リピート設定」を選ぶ（P80）

2 [+] / [−] で、リピート再生の種類を選び、[▶OK] を押す



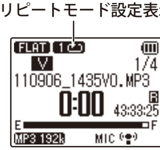


設定項目	機能
OFF	リピート再生しません。
1 曲	1 ファイル繰り返し再生。
フォルダ	選んだフォルダ内のファイルを順番に繰り返し再生。
フォルダ内ランダム	選んだフォルダ内のファイルを順不同で繰り返し再生。
全曲	M（MUSIC）フォルダ内のすべてのファイル *1 を順番に繰り返し再生。M（MUSIC）以外のフォルダは、「フォルダ」リピート同様の動作になります。
全曲ランダム	M（MUSIC）フォルダ内のすべてのファイル *1 を順不同で繰り返し再生。M（MUSIC）以外のフォルダは、「フォルダ内ランダム」リピート同様の動作になります。

*1 認識するファイル数は最大 3,000 ファイルです。（P28）

3 [メニュー] を押して、設定を終了する

リピートモード設定表示



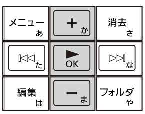
なし : OFF
: 1 曲
: フォルダ
: フォルダ内ランダム
: 全曲
: 全曲ランダム

少し戻って再生する（少し戻る再生）

再生中に数秒だけ戻って再生できる機能です。語学学習や聴き逃した場合に便利です。

1 再生設定画面で、「少し戻る再生」を選ぶ（P80）

2 ［+］/［−］で、戻る時間（1 ～ 5 秒）を選び、［▶OK］を押す





3 ［メニュー］を押して、設定を終了する

■少し戻る再生のしかた

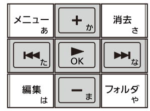
- 少し戻る再生の方法については、P77 をご覧ください。

設定した時間だけスキップする（タイムスキップ）

再生中のスキップ操作（P77）で、あらかじめ設定した時間だけスキップする機能です。すばやく再生位置を移動したい場合に便利です。

1 再生設定画面で、「タイムスキップ」を選ぶ（P80）

2 ［+］/［−］、［⏮］/［⏭］で、スキップする間隔を選び、［▶OK］を押す





3 ［メニュー］を押して、設定を終了する

- タイムスキップを設定すると、画面に Ts が表示されます。（OFF に設定した場合は、表示されません。）



■タイムスキップのしかた

- タイムスキップの方法については、P77 をご覧ください。

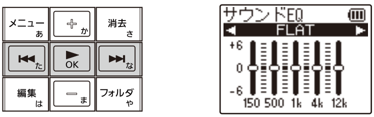
サウンドイコライザー（サウンド EQ）

サウンドイコライザー（サウンド EQ）は、低音域を強調して再生したり、中音域を強調して再生するなど、6 種類の音質と、お好みの音質に設定できる USER（P83）から選ぶことができます。

- サウンド EQ は、ステレオインサイドホンを接続して再生しているときのみ有効です。

1 **再生設定画面で、「サウンド EQ」を選ぶ（P80）**

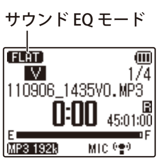
2 **[⏮] / [⏭] で、再生したいサウンド EQ モードを選び、[▶OK] を押す**



サウンド EQ モード	効果
FLAT	原音のまま再生
BASS	低音域を強調
CLEAR	高音域を強調
HEAVY	低音域と高音域をやや強調
SOFT	低音域を強調、高音域を抑制
VOICE	雑音を軽減、聴きやすい音声
USER	お好みの音質に設定できます。（右記）

- お買い上げ時の「USER」の設定は、「FLAT」と同じです。
- USER 以外のサウンド EQ は、設定内容を変更することはできません。

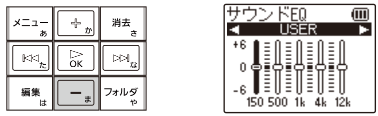
3 **[メニュー] を押して、設定を終了する**



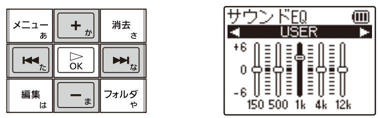
お好み設定（USER）

サウンドイコライザー（サウンド EQ）の 5 バンドの各再生レベルを調整し、お好みの音質に設定できます。

1 **左記の手順2で「USER」を選び、[－] を押す**



2 **[⏮] / [⏭] で調整する周波数帯を選び、[＋] / [－] で調整する**



- － 6 dB ～＋ 6 dB（13 段階）まで、1 dB ごとに調整できます。数値が大きいほど強調されます。
- 手順2を繰り返して、他の周波数帯を調整してください。
- 設定を中止する場合は、[■停止] を押してください。

3 **[▶OK] を押す**

4 **[メニュー] を押して、設定を終了する**

MUSIC（音楽用）フォルダについて

M（MUSIC）フォルダはパソコンから MP3、WMA および本機で録音した WAV ファイルを取り込んで再生するフォルダです。（P28）

■ PLAYLIST フォルダについて

M（MUSIC）フォルダ内の PLAYLIST（プレイリスト）フォルダには、本機で編集できる 5 つのプレイリストファイル（PLAYLIST1 ～ 5.M3U）が用意されています。（P28）

- PLAYLIST フォルダ内にファイルを転送した場合、本機の画面では表示されません。

■ M（MUSIC）フォルダ内のファイルの表示順について

M（MUSIC）フォルダでは、ファイル名の先頭の数字（1 ～ 3 桁の半角数字）の小さい順に自動で並べ替えられます。

001、002、003・・・　01、02、03・・・　1、2、3・・・

- 先頭から 4 桁以上の連続した数字がついているファイルや、先頭に数字のないファイルは、上記規則で並べ替えられたファイルの後にコピーした順に並びます。
- フォルダはコピーした順番で表示されます。

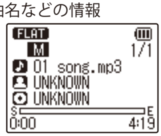
■ M（MUSIC）フォルダの画面

ファイルに楽曲情報（ID3 タグ *1 など）がある場合、タイトル、アーティスト名、アルバム名が表示されます。ただし、本機で読み取れないデータがあると、正しく表示されないことがあります。また、タイトル名がない場合はファイル名が表示されます。アーティスト名、アルバム名がない場合は「UNKNOWN」と表示されます。

*1　MP3 ファイルに格納される曲名などの情報



楽曲情報あり



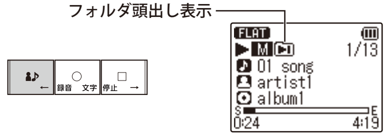
楽曲情報なし

フォルダ頭出し再生をする

フォルダ頭出し設定をすると、M（MUSIC）フォルダ内のフォルダを［⏮］/［⏭］の操作で切り換えて再生できます。

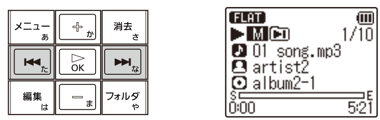
1 M（MUSIC）フォルダのファイルを再生中に、［👤♪］を押す

- フォルダ頭出し表示（[▶]）が表示されます。



2 [▶] 表示中に、［⏮］/［⏭］を押す

- 一つ前のフォルダ、または次のフォルダの 1 曲目を頭出し再生します。



- PLAYLIST 再生中は、フォルダ頭出しはできません。
- フォルダ頭出し表示中にメニュー操作を行うと、フォルダ頭出しが解除されます。

■フォルダ頭出し設定解除のしかた

下記のいずれかの方法で、設定を解除することができます。

- もう一度、［👤♪］を押す
- ［▶OK］を押す
- ［■停止］を押す（再生が終了します。）

プレイリスト機能

M（MUSIC）フォルダ内の曲をプレイリストに登録し、お好みの順番で再生することができます。

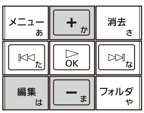
- PLAYLIST フォルダ、および PLAYLIST1 ～ 5.M3U は消去することはできません。
- PLAYLIST1 ～ 5.M3U はパソコンで編集しないでください。
- 1 つの PLAYLIST につき、99 ファイルの登録が可能です。

プレイリストにお気に入りの曲を登録する

1 M（MUSIC）フォルダを選ぶ（P22）

- 選択中のフォルダのファイルリストが表示されます。

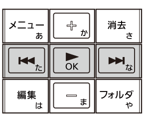
2 ［+］/［−］でプレイリストへ登録したいファイルを選び、［編集］を押す





- フォルダを選ぶ、またはフォルダを切り換えてファイルを選ぶ場合は、P23 をご覧ください。

3 ［⏮］/［⏭］で、登録したいプレイリスト（1 ～ 5）を選び、［▶OK］を押す





- 選んだプレイリストにファイルやフォルダ内の全ファイルが登録されます。

■プレイリストに登録した曲を再生する

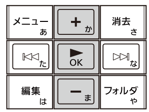
1 M（MUSIC）フォルダを選ぶ（P22）

- ファイルリストが表示されます。

2 ［+］/［−］で PLAYLIST フォルダを選び、［▶OK］を押す

- 選択中のフォルダに PLAYLIST フォルダがない場合は、フォルダを移動してください。（P23）

3 ［+］/［−］で「PLAYLIST1 ～ 5.M3U」を選び、［▶OK］を押す





- 選んだプレイリストに登録されているファイルが表示されます。

4 ［+］/［−］でファイルを選び、［▶OK］を押す

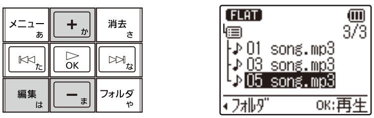
- 選んだファイルが再生されます。

プレイリストの曲順を変更する

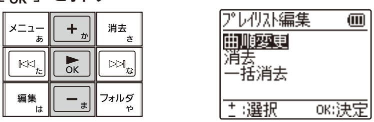
1 **変更したいプレイリスト（PLAYLIST1 ～ 5.M3U）を選び、[▶OK] を押す**

「プレイリストに登録した曲を再生する」（P85）の手順 1～3 を参照してください。

2 **[＋] / [－] で、曲順を変更したいファイルを選び、[編集] を押す**

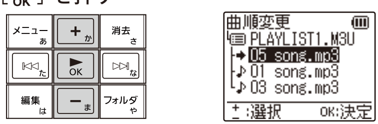


3 **[＋] / [－] で、「曲順変更」を選び、[▶OK] を押す**



- 選んだファイル名の左に「➡」が付きます。

4 **[＋] / [－] で、「➡」が付いているファイルを再生したい曲順の位置に移動し、[▶OK] を押す**



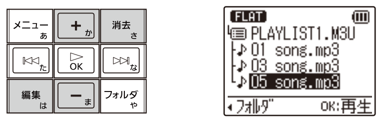
- 曲順が変更されます。

プレイリスト内のファイルを一件消去する

1 **消去したいファイルが入っているプレイリスト（PLAYLIST1 ～ 5.M3U）を選び、[▶OK] を押す**

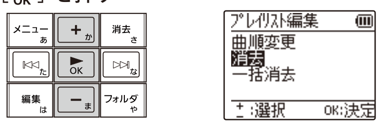
「プレイリストに登録した曲を再生する」（P85）の手順 1～3 を参照してください。

2 **[＋] / [－] で、消去したいファイルを選び、[編集] または [消去] を押す**

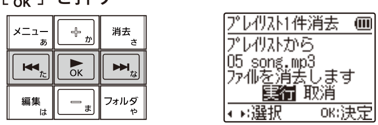


- [消去] を押すと、手順4の画面が表示されます。

3 **[＋] / [－] で、「消去」を選び、[▶OK] を押す**



4 **[⏮] / [⏭] で、「実行」を選び、[▶OK] を押す**

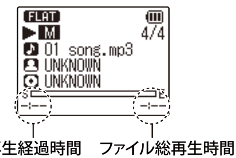


- 選んだファイルがプレイリストから消去されます。

お知らせ

- プレイリストからファイルを消去しても、登録元のファイルは消去されません。
- 登録元のファイルが消去されている場合、再生経過時間とファイル総再生時間の表示が「-:--」となります。そのファイルを再生すると、約 2 秒で次のファイルにスキップされます。

登録元のファイルが消去されている場合



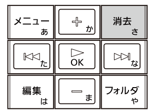
登録元のファイルを消去した場合は、プレイリストに登録したファイルも消去してください。

プレイリスト内のファイルを全件消去する

1 消去したいプレイリスト（PLAYLIST1 ～ 5.M3U）を選ぶ

「プレイリストに登録した曲を再生する」（P85）の手順 1～2 を参照してください。

2 ［消去］を押す





3 ［⏮］/［⏭］で、「実行」を選び、［▶OK］を押す





- プレイリスト内のすべてのファイルが消去されます。

お知らせ

- P86「プレイリスト内のファイルを 1 件消去する」の手順 3 の画面で「一括消去」を選び、［▶OK］を押しても、全件消去することができます。上記、手順 3 の画面が表示されますので、［⏮］/［⏭］で、「実行」を選び、［▶OK］を押してください。プレイリスト内のすべてのファイルが消去され、「No File」と表示されます。

消去する前に

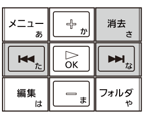
- 誤消去防止のため、必ず内容をお確かめください。
- 操作前に電池残量が十分あることをお確かめください。
- ゴミ箱機能（P106）が「ON」の場合、消去したファイルを元に戻すことができます *[1]。ただし、録音残り時間（SD カードの空き容量）は増えません。録音残り時間を増やすためには、ゴミ箱（🗑）フォルダを空にして、完全に消去してください。

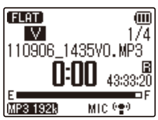
*[1] M（MUSIC）フォルダのファイルは、ゴミ箱機能「ON」、「OFF」にかかわらず、ゴミ箱（🗑）フォルダに移動されません。本機から完全に消去されます。

ファイルを一件消去する

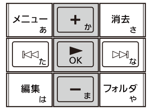
1 消去するファイルが保存されているフォルダを選ぶ（P22）

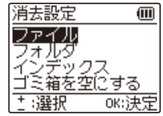
2 [⏮] / [⏭] で、消去するファイルを選び、[消去] を押す





3 [+] / [−] で、「ファイル」を選び、[▶OK] を押す





4 [⏮] / [⏭] で、「実行」を選び、[▶OK] を押す





● ゴミ箱機能が「ON」の場合

「消去実行中」→「消去ファイル以降のファイル名を更新しています」*[2] →「🗑ゴミ箱に移しました」と表示され、ファイルがゴミ箱（🗑）フォルダに移動します。

もう一度［▶OK］を押してください。

● ゴミ箱機能が「OFF」の場合

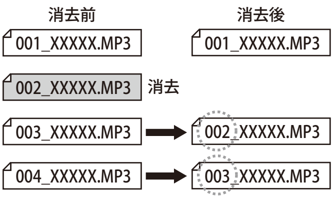
「消去実行中」→「消去ファイル以降のファイル名を更新しています」*[2] と表示され、ファイルが消去されます。

*[2] フォルダ末尾のファイルを消去した場合は表示されません。

■ファイル消去後のファイル番号について

ファイルを消去すると、以降のファイル番号が１つずつ前に詰められます。

例 : 002_XXXXX.MP3 を消去する

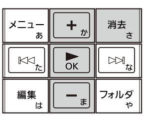


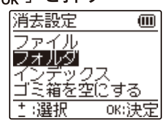
- ファイル名の先頭のファイル番号（001_）は、パソコンでのみ表示されます。本機では表示されません。

フォルダ内のファイルを全件消去する

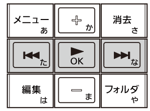
1 消去するフォルダを選ぶ（P22）

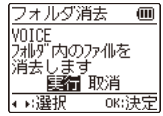
2 ［消去］を押し、［＋］/［－］で、「フォルダ」を選び、［▶OK］を押す





3 ［⏮］/［⏭］で、「実行」を選び、［▶OK］を押す





● ゴミ箱機能が「ON」の場合

「消去実行中」→「🗑ゴミ箱に移しました」と表示され、ファイルがゴミ箱（🗑）フォルダに移動します。

もう一度［▶OK］を押してください。

● ゴミ箱機能が「OFF」の場合

「消去実行中」と表示し、ファイルを消去します。

SD カード内のファイルを全件消去する（フォーマット）

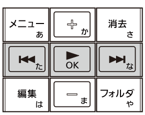
SD カード内のファイルを全件消去します。
（フォーマット）

消去する前に

- フォーマットすると、ゴミ箱機能が「ON」の場合でもすべてのファイルが完全に SD カードから消去されます。消去したファイルは元に戻すことができませんので、必要なデータは、パソコンや外部機器にバックアップを取っておいてください。
- 電池残量が十分あることをお確かめください。

1 共通設定画面で、「フォーマット」を選び、[▶OK] を押す（P103）

2 [⏮] / [⏭] で、「実行」を選び、[▶OK] を押す





- SD カード内のファイルを全件消去すると、「フォーマット完了！」と表示され、共通設定画面に戻ります。

3 [メニュー] を押して、フォーマットを終了する

お願い

- フォーマット実行中は、取り消しはできません。
- フォーマット中に、SD カードや電池を抜かないでください。
- 新しい SD カードを使用する場合は、必ず本機でフォーマットを行ってください。

ゴミ箱機能

お買い上げ時、本機ではゴミ箱機能が「ON」に設定されています。（P106）

● **ゴミ箱機能が「ON」の場合**

本機で消去したファイルはゴミ箱（🗑）フォルダに移動 *1 します。ゴミ箱（🗑）フォルダの中のファイルは元のフォルダに戻すことができるため、誤って消去した場合でも安心です。

*1 M（MUSIC）フォルダのファイルは、ゴミ箱機能「ON」、「OFF」にかかわらず、ゴミ箱（🗑）フォルダに移動されません。本機から完全に消去されます。

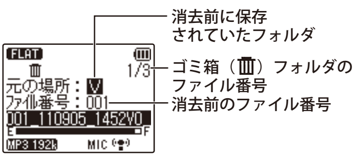
● **ゴミ箱機能が「OFF」の場合**

ファイル消去、フォルダ消去を行った場合、データは本機から完全に消去され、元に戻すことができません。

誤消去防止のため、ゴミ箱機能は「ON」に設定した状態でお使いになることをおすすめします。（P106）

■ゴミ箱に移動したファイルのファイル表示

ゴミ箱（🗑）フォルダを選ぶ（P22）と、ゴミ箱（🗑）フォルダに移動したファイルが表示されます。



■ゴミ箱に移動したファイルのファイル名

ゴミ箱（🗑）フォルダに移動したファイルのファイル名は自動で変更されます。

例 : V（VOICE）フォルダの「001_110905_1452V0.MP3」、FM（TUNER_FM）フォルダの「001_110905_1530F00819.MP3」のファイルをゴミ箱（🗑）フォルダに移動した場合

● **マイク録音やライン録音したファイル**

001_001_110905_1452 V 0_VO_.MP3

001 ①　001 ②　110905 ③　1452 ④　V ⑤　0 ⑥　VO ⑧　.MP3 ⑨

● **ラジオ録音したファイル**

001_001_110905_1530 F 0 0819_FM_.MP3

001 ①　001 ②　110905 ③　1530 ④　F ⑤　0 ⑥　0819 ⑦　FM ⑧　.MP3 ⑨

①ゴミ箱（🗑）フォルダのファイル番号 *2
　001、002、003…というように、ゴミ箱（🗑）フォルダに移動した順番で付けられます。
②消去前のファイル番号
③録音した日付（年月日）
④録音した時刻（時分）
⑤録音元（A、F、V、L）
⑥キーワード番号（本機では 0）
⑦周波数（ラジオ録音時）（AM：kHz、FM：MHz）
⑧保存されていたフォルダ
　（AM、FM、VO、LI、T1 ～ T20）
⑨拡張子（ファイル形式）
　MP3 録音 : MP3
　PCM 録音 : WAV

*2 ゴミ箱（🗑）フォルダのファイル番号（001_）は、パソコンでのみ表示されます。本機では表示されません。

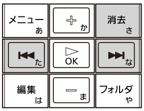
■ゴミ箱に移動したファイルを再生する

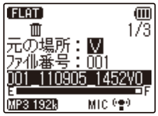
［⏮］/［⏭］でファイルを選んで［▶OK］を押すと、ファイルが再生されます。

ゴミ箱のファイルを元のフォルダに戻す

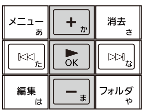
1 ゴミ箱（🗑）フォルダを選ぶ（P22）

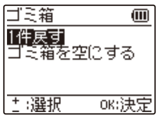
2 ［⏮］/［⏭］で、元のフォルダに戻すファイルを選び、［消去］を押す



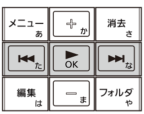


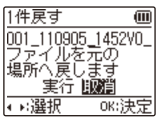
3 ［＋］/［－］で、「1件戻す」を選び、［▶OK］を押す





4 ［⏮］/［⏭］で、「実行」を選び、［▶OK］を押す





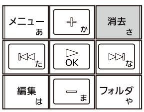
- 選んだファイルが、元のフォルダの末尾に戻ります。
  もう一度、［▶OK］を押してください。
  ゴミ箱（🗑）フォルダの画面に戻ります。

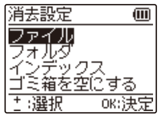
- 「＊がいっぱいです。ファイルを戻せません」と表示された場合は、＊のフォルダのファイル数が制限数 199 に達しています。ファイルを消去し、もう一度最初からやり直してください。

ゴミ箱を空にする

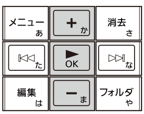
ゴミ箱（🗑）フォルダを空にすると、ゴミ箱（🗑）フォルダ内のファイルは完全に SD カードから消去され、元に戻すことはできません。必要なデータは、ゴミ箱（🗑）フォルダを空にする前にパソコンや外部機器などに保存してください。

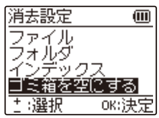
1 IC レコーダーモード（P21）で停止中に［消去］を押す





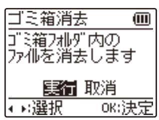
2 ［+］/［−］で、「ゴミ箱を空にする」を選び、［▶OK］を押す





3 ［⏮］/［⏭］で、「実行」を選び、［▶OK］を押す





- 「ゴミ箱を空にしています･･･」と表示され、ゴミ箱（🗑）フォルダが空になります。

ゴミ箱に関するお願い

- ゴミ箱機能が「ON」のときにファイルを消去しても、録音残り時間（SD カードの空き容量）は増えません。録音残り時間を増やすためには、ゴミ箱（🗑）フォルダを空にして、完全に消去してください。（左記）
- ゴミ箱（🗑）フォルダの最大ファイル数は 199 です。ゴミ箱（🗑）フォルダに 199 ファイルある場合、それ以上ファイルを消去できませんので、ゴミ箱（🗑）フォルダを空にしてください。（左記）
- ゴミ箱（🗑）フォルダにファイルが多くたまると、動作の低下をまねくおそれがあります。定期的にゴミ箱（🗑）フォルダを空にすることをおすすめします。
- インデックスの付いたファイルはインデックスファイルも一緒にゴミ箱（🗑）フォルダに移動しますが、ゴミ箱（🗑）フォルダではインデックスは使用できません。
- ゴミ箱機能を「OFF」にしただけでは、ゴミ箱（🗑）フォルダのファイルは消去されません。
- ゴミ箱（🗑）フォルダは、リスト画面では「RECYCLE」と表示されます。
- SD カードの空き容量が少ないと、ファイルをゴミ箱（🗑）フォルダに移動できない場合があります。

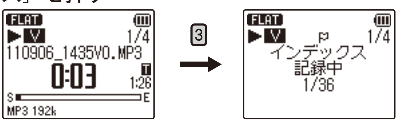
聴きたい位置をマークする（インデックス）

インデックスを付けると、再生時にインデックス位置の頭出しができるため、聴きたい位置をすばやく見つけることができます。

インデックスを付ける

- M（MUSIC）フォルダ、ゴミ箱（🗑）フォルダ内のファイルには、インデックスを付けることができません。また、タイマー予約録音中はインデックスを付けることができません。
- 電池残量表示が □（点滅）のときは、インデックスを付けることができません。また、▯ と □（点滅）の境目では付けることができないことがあります。

録音中、または録音一時停止中、再生中に、インデックスを付けたい位置で［インデックス］を押す



- 1ファイルに最大 36 個付けることができます。
- インデックスを付けたファイルは、画面に ⚑ が表示されます。
- インデックスを付けたファイルをファイル分割すると、インデックスは消去されます。

■インデックス送り / 戻しをするには

インデックスを付けたファイルの再生中に、［▶▶|］をポンと押すと次のインデックスに、［|◀◀］をポンと押すと前のインデックスにスキップします。

- インデックス送り / 戻し操作をすると、「インデックス記録位置＊」と表示されます。
- タイムスキップが設定されている場合、タイムスキップも働きます。（P82）

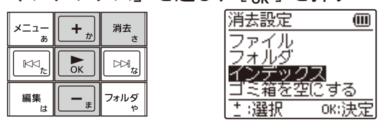
インデックスを消去する

インデックスは個別に消去することはできません。ファイル内のインデックスは、一括で消去されます。

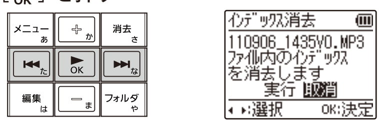
1 インデックスを消去するファイルが入っているフォルダを選ぶ（P22）

2 ［|◀◀］/［▶▶|］で、インデックスを消去するファイルを選ぶ

3 ［消去］を押し、［＋］/［−］で「インデックス」を選び、［▶OK］を押す



4 ［|◀◀］/［▶▶|］で、「実行」を選び、［▶OK］を押す



- 「消去実行中」と表示され、インデックス消去を終了します。

- インデックスを消去しても、音声は消去されません。

ファイルを２つに分割する（ファイル分割）

本機で録音した１つのファイルを２つに分割することで、不要部分をカットしたり、必要部分を抽出することができます。

- インデックスを付けたファイルを分割すると、インデックスは消去されます。
- ファイルを分割するとフォルダ内のファイル番号が１つずつ後ろに送られます。
- ファイル分割した際、指定した場所から前後にずれが生じる場合があります。

以下の場合は、ファイル分割できません。

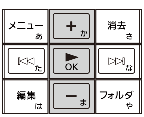
- M（MUSIC）フォルダやゴミ箱（🗑）フォルダ内のファイル
- フォルダ内に 199 ファイル保存されている場合
- 分割するファイルが 2 秒に満たない短いファイル
- SD カードに空き容量がない場合

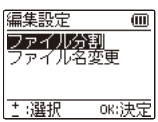
1 分割したいファイルを再生する（P76）

2 分割したい位置で、［■停止］を押す

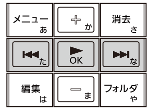
3 ［編集］を押す

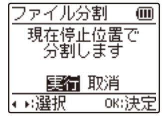
4 ［＋］／［－］で、「ファイル分割」を選び、［▶OK］を押す





5 ［⏮］／［⏭］で、「実行」を選び、［▶OK］を押す





- 「ファイル分割実行中」→「分割ファイル以降のファイル名を変更しています *1」→「ファイル分割完了！」と表示され、ファイルが分割されます。
  - *1 最後のファイルを分割した場合は表示されません。

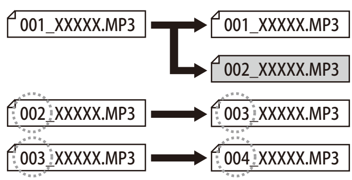
6 ［編集］を押して、ファイル分割を終了する

■ ファイル分割後のファイル番号の付きかた

ファイルを分割すると、以降のファイル番号が１つずつ後ろに送られます。

例 : 001_XXXXX.MP3 を分割する

分割前　　　　分割後



- ファイル名の先頭のファイル番号（001_）は、パソコンでのみ表示されます。本機では表示されません。

消去・編集

本機でファイルの名前を変更する

本機に録音済みのファイルやパソコンから取り込んだファイルの名前を、お好みのファイル名に変更することができます。

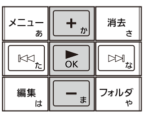
- 入力可能な文字数は英数字で 60 文字、ひらがな、カタカナで 30 文字です。
- ファイルの拡張子およびファイル番号は変更することができません。（P27）

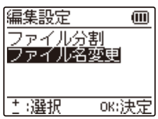
ファイル名変更の手順

電源を入れておく（P18）

1 IC レコーダーモード（P21）で停止中に、［編集］を押す

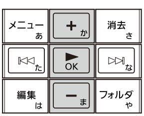
2 ［＋］/［−］で「ファイル名変更」を選び、［▶OK］を押す

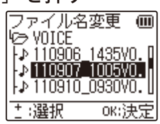




- リスト画面が表示されます。

3 ［＋］/［−］でファイル名を変更したいファイルを選び、［▶OK］を押す

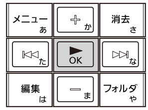


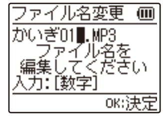


- フォルダを切り換えてファイルを選ぶ場合は、P23 をご覧ください。

4 ファイル名を変更し、［▶OK］を押す

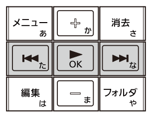
- 文字入力の方法については「文字入力のしかた」（P97）を参照してください。





5 変更したファイル名に間違いがないことを確認し、［⏮］/［⏭］で「実行」を選び［▶OK］を押す

- ファイル名の変更を中止するときは、「取消」を選んで［▶OK］を押してください。手順3の画面に戻ります。





6 ［▶OK］を押す

- ファイル名が変更され、手順3の画面に戻ります。引き続き、他のファイルのファイル名を変更する場合は、手順3から操作を行ってください。

7 ［編集］を押して、ファイル名変更を終了する

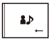
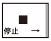
文字入力のしかた

■文字入力時の各ボタンの役割について

文字入力は、本機の操作ボタンを使って行います。

- 60 文字を超えて入力することはできません。（英数字のみ使用時）
- 30 文字を超えて入力することはできません。（ひらがな、カタカナのみ使用時）
- ファイル名が無い場合や、スペースのみのファイル名には変更できません。
- ファイル番号を変更することはできません。（P27）
- 一度変更したファイル名は元に戻すことができません。

ボタン	役割				
	ひらがな	英字	数字	カタカナ	
メニュー あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ	スペース	1	アイウエオ ァィゥェォ	ボタンを押すごとに、入力する文字が切り換わります。
＋ か	かきくけこ	ABC abc	2	カキクケコ	
消去 さ	さしすせそ	DEF def	3	サシスセソ	
⏮ た	たちつてと っ	GHI ghi	4	タチツテト ッ	
⏭ な	なにぬねの	JKL jkl	5	ナニヌネノ	
編集 は	はひふへほ	MNO mno	6	ハヒフヘホ	
－ ま	まみむめも	PQRS pqrs	7	マミムメモ	
フォルダ や	やゆよ ゃゅょ	TUV tuv	8	ヤユヨ ャュョ	
タイマー ら	らりるれろ	WXYZ wxyz	9	ラリルレロ	
AM/FM わ	わをんー	スペース	0	ワヲンー	
SDリスト 記号	゛ ゜	記号（',!;_`$ スペース&()-+=# %@）		゛ ゜	

ボタン	役割
	カーソルを左に移動します。
	入力する文字の種類を切り換えます。 ひらがな→英字→数字→カタカナ→ひらがな…
	カーソルを右に移動します。
	入力した内容を決定します。
	選択した文字を一文字削除します。
	選択した箇所に文字入力スペースを一文字追加します。

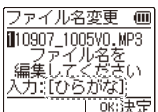
■入力モードを切り換える

入力できる文字の種類は、ひらがな、英字、数字、カタカナです。

［●録音］を押す

- ボタンを押すごとに「ひらがな」→「英字」→「数字」→「カタカナ」→「ひらがな」…の順で切り換わります。
- 入力モードを切り換えると、画面に現在の入力モードが表示されます。





入力モード

■文字を入力する

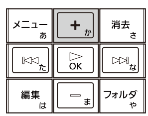
入力したい文字のボタンで入力します。（P97）

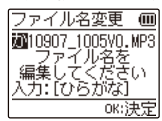
例 : ここでは「かいぎ 01」と入力する方法を説明します。

1 ［●録音］で入力モードを「ひらがな」に切り換える（左記）

2 ［+］で「か」を入力する

- ボタンを押すごとに文字が切り換わります。

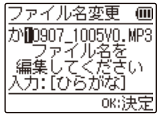




3 ［■停止］でカーソルを移動する

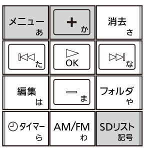
- ボタンを押すごとにカーソルが右に移動します。
- カーソルが行き過ぎたときは、［♪］で左に移動します。

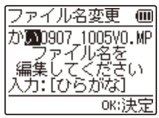




4 ［メニュー］で「い」を入力する

- 続いて､カーソルを移動した後､［＋］で｢き｣を入力し、［SD リスト］で「゛（濁点）」を入力してください。



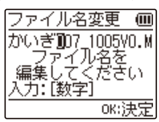


5 ［●録音］で入力モードを「数字」に切り換える（P98）

6 カーソルを移動し、［AM/FM］で「0」を入力する

- 同様の手順で「1」を入力してください。



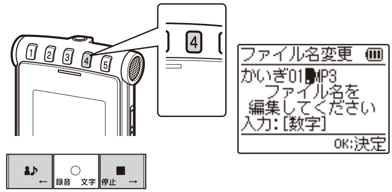


文字入力を完了して、変更したファイル名に更新する場合は、P96 の手順4に進んでください。

■不要な文字を削除する

［♪］または［■停止］で、削除したい文字の位置にカーソルを合わせ、［遅聞き］を押す

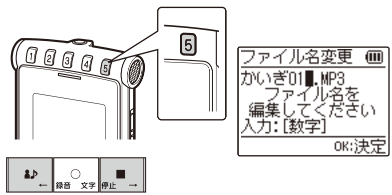
- 選択されている文字が削除されます。
- ファイルの拡張子は削除することができません。



■ 文字を挿入する

［♪］または［■停止］で、文字を挿入したい位置にカーソルを合わせ、［早聞き］を押す

- 選択されている位置にスペースが追加されます。



お知らせ

- 本機でファイル名を変更した場合、ファイル名によってはパソコンで正常に扱えないことがあります。その場合は、再度、本機で他のファイル名に変更してください。

消去・編集

■設定メニュー

IC レコーダーモードで停止中に［メニュー］を押す

メニュー	設定項目	設定内容	参照先
ラジオ設定	エリアバンド	北海道 / 東北 / 関東 / 甲信越・北陸 / 東海 / 近畿 / 中国 / 四国 / 九州・沖縄 / **ユーザー**	P34
	オートプリセット	**AM**/FM	P40
	出力設定	**自動切替** / スピーカー固定	P40
	FM 受信モード	**ステレオ** / モノラル	P41
	AM 画面表示	OFF/ **常に ON**	P41
録音設定	録音モード	PCM: 48kHz/44.1kHz **MP3**: 320kbps/**192kbps**/128kbps/64kbps/32kbps	P67
	マイク感度	**感度 : 高** / 感度 : 低	P67
	録音レベル調整	手動 / **自動**	P68
	指向性切替	**STEREO**/STEREO WIDE	P69
	Low Cut フィルタ	**OFF**/ON	P69
	録音ピークリミッター	**OFF**/ON	P70
	セルフタイマー録音	**OFF**/5 秒 /10 秒 /30 秒	P71
	VOS 設定	**OFF**/ON	P72
	ライン入力設定	**高（ヘッドホン）**/ 中（ライン : ポータブル）/ 低（ライン : コンポ）	P70
	シンクロ録音	**OFF**/ON（自動停止）/ON（手動停止）	P73
再生設定 ※再生中に［メニュー］を押した場合も設定できます。	時間指定サーチ	指定時間 00:00:00　総時間 00:00:00	P81
	リピート設定	**OFF**/1 曲 / フォルダ / フォルダ内ランダム / 全曲 / 全曲ランダム	P81
	少し戻る再生	1 秒 /2 秒 /**3 秒** /4 秒 /5 秒	P82
	タイムスキップ	**OFF**/5 秒 /10 秒 /30 秒 /1 分 /5 分 /10 分 / 15 分	P82
	サウンド EQ	**FLAT**/BASS/CLEAR/HEAVY/SOFT/VOICE/USER	P82

・ 設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

メニュー	設定項目	設定内容	参照先
共通設定	操作音設定	OFF/ON/ **音声ガイド** （音量大 / **音量中** / 音量小）	P104
	録音 LED	OFF/**ON**	P104
	時計設定	年月日 /24H/AM(PM)/ 時分 *1	P19
	オートパワーオフ	OFF（0）～ **15 分**	P105
	スリープタイマー	**OFF**（0）～ 120 分	P55
	バックライト	OFF/**ON**（**30 秒**）	P105
	コントラスト	淡 (1) ～（**5**）～濃 (10)	P106
	ゴミ箱機能	OFF/**ON**	P106
	残量警告表示	OFF/**ON**	P107
	時報設定	設定：**OFF**/ON 受信先：**FM**/AM、CH**00**、周波数 **76.0MHz** 受信時間：**0 時**～ 23 時 設定完了	P52
	フォーマット	実行 / **取消**	P90
	設定初期化	実行 / **取消**	P107
	バージョン	ファームウェアのバージョン表示	P107

*1 お買い上げ時は 2011 年 1 月 1 日 24H 0 時 0 分に設定されています。

■録音スタンバイ中メニュー

録音スタンバイ中に［メニュー］を押す

● マイク録音

メニュー	設定項目	設定内容	参照先
録音設定	マイク感度	**感度 : 高** / 感度 : 低	P67
	Low Cut フィルタ	**OFF**/ON	P69
	録音 EQ	**FLAT**/EXTRA BASS/BASS/MIDDLE/ BASS&TREBLE/TREBLE/ EXTRA TREBLE/USER	P74

● ライン録音

メニュー	設定項目	設定内容	参照先
録音設定	ライン入力設定	**高（ヘッドホン）**/ 中（ライン : ポータブル）/ 低（ライン : コンポ）	P70
	シンクロ録音	**OFF**/ON（自動停止）/ON（手動停止）	P73

・ 設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

■消去メニュー

IC レコーダーモードで［消去］を押す

メニュー	設定項目	設定内容	参照先
消去設定	ファイル	実行 / **取消**	P88
	フォルダ	実行 / **取消**	P89
	インデックス	実行 / **取消**	P94
	ゴミ箱を空にする	実行 / **取消**	P93

■編集メニュー

IC レコーダーモードで［編集］を押す

メニュー	設定項目	設定内容	参照先
編集設定	ファイル分割	実行 / **取消**	P95
	ファイル名変更	ー	P96

■プリセット編集メニュー

ラジオモードで［編集］を押す

メニュー	設定項目	設定内容	参照先
プリセット編集	登録	ー	P36
	削除	ー	P36
	プリセット初期化	実行 / **取消**	P37

・ 設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

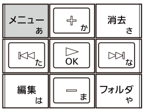
その他の機能と設定（共通設定）

本機に関するさまざまな設定を行います。

共通設定画面の出しかた

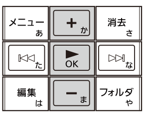
電源を入れておく（P18）

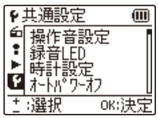
1 停止中に［メニュー］を押す



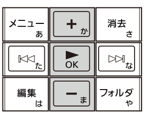


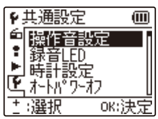
2 ［＋］/［−］で、「共通設定」を選び、［▶OK］を押す





3 ［＋］/［−］で、変更する項目を選び、［▶OK］を押す





・ 設定内容、変更方法は各項目で異なります。下記ページを参照してください。

設定項目	参照先
操作音設定	P104
録音 LED	P104
時計設定	P19
オートパワーオフ	P105
スリープタイマー	P55
バックライト	P105
コントラスト	P106
ゴミ箱機能	P106
残量警告表示	P107
時報設定	P52
フォーマット	P90
設定初期化	P107
バージョン	P107

お知らせ

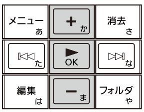
・ 操作中に［■停止］を押すと、１つ前の画面に戻ります。

音声ガイドやボタン操作音を設定する（操作音設定）

音声ガイドやボタンを押したときにピッと音が鳴るように設定します。

1 共通設定画面で「操作音設定」を選ぶ（P103）

2 ［+］/［−］で、設定項目を選び、［▶OK］を押す



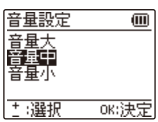


設定項目	機能
OFF	操作音を鳴らさない
ON	ボタン操作時、ピッという音を鳴らす
音声ガイド	ボタン操作時、音声ガイドとピッという音を鳴らす

- 「OFF」を選んだ場合は、手順 4 へ進んでください。

3 ［+］/［−］で、音量を選び、［▶OK］を押す

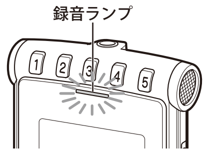




4 ［メニュー］を押して、設定を終了する

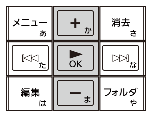
録音ランプを点灯 / 消灯する（録音 LED）

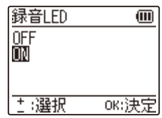
録音中や録音一時停止中、録音スタンバイなどで、録音ランプの点灯または消灯を設定します。



1 共通設定画面で「録音 LED」を選ぶ（P103）

2 ［+］/［−］で、［ON］または［OFF］を選び、［▶OK］を押す





設定項目	機能
OFF	録音ランプ消灯
ON	録音ランプ点灯（点滅）

3 ［メニュー］を押して、設定を終了する

- 録音 LED を「OFF」に設定しても、充電中やファイル消去時などの動作表示ランプは点灯（点滅）します。

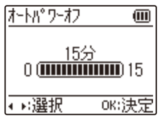
自動で電源を切る時間を設定する（オートパワーオフ）

録音一時停止中や停止状態で、一定時間何の操作もしなかった場合、自動的に電源が切れる機能です。電源を切り忘れても自動で電源が切れるので、余分な電池の消耗を防ぎます。

1 共通設定画面で「オートパワーオフ」を選ぶ（P103）

2 ［⏮］/［⏭］で、電源が切れるまでの時間を設定し、［▶OK］を押す





設定範囲：0（OFF）～ 15 分

- 1 分毎に設定できます。
- 0（OFF）に設定するとオートパワーオフ機能は働きません。

3 ［メニュー］を押して、設定を終了する

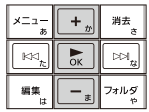
- パソコンに接続している場合は、オートパワーオフ機能は働きません。

画面のバックライトの点灯時間を設定する（バックライト）

ボタンを押したときの画面のバックライトの点灯時間を設定します。

1 共通設定画面で「バックライト」を選ぶ（P103）

2 ［＋］/［－］で、設定項目を選び、［▶OK］を押す





3 ［メニュー］を押して、設定を終了する

お知らせ

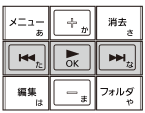
- 電池残量が少ない場合は、バックライトが点灯しないことがあります。
- ホールド機能が設定されている場合は、バックライトを ON（30 秒）に設定している場合でも、2 秒間しかバックライトが点灯しません。
- 以下の場合は、バックライトを ON（30 秒）に設定している場合でも、バックライトが点灯しません。
  - ラジオ録音中（P38）
  - 電池残量表示が ▭（点滅）で録音中

画面の濃淡を調整する（コントラスト）

画面のコントラスト（濃淡）を調整します。

1 **共通設定画面で「コントラスト」を選ぶ（P103）**

2 **［⏮］/［⏭］で、画面の濃淡を選び、［▶OK］を押す**





- 濃淡は 10 段階で設定できます。

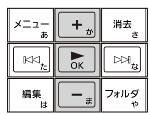
3 **［メニュー］を押して、設定を終了する**

ゴミ箱機能を設定する（ゴミ箱機能）

お買い上げ時は、消去したファイルをゴミ箱（🗑）フォルダに移動するゴミ箱機能（P91）が設定されています。
ゴミ箱（🗑）フォルダに移動されたファイルは、後から元に戻せるので、誤って消去した場合も安心です。
ゴミ箱機能を「OFF」にすると、消去したファイルは完全に消去され、元に戻すことができません。
誤消去防止のため、通常はゴミ箱機能を ON にしておくことをおすすめします。

1 **共通設定画面で「ゴミ箱機能」を選ぶ（P103）**

2 **［+］/［−］で、「ON」または「OFF」を選び、［▶OK］を押す**





設定項目	機能
OFF	消去したファイルを完全に消去
ON	消去したファイルをゴミ箱（🗑）フォルダに移動

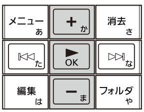
3 **［メニュー］を押して、設定を終了する**

SD カードの残量警告表示を設定する（残量警告表示）

SD カードの容量が約 10 %以下になったときや、TIMER（T1 ～ T20）フォルダのファイル件数が 190 件を超えているときに、警告メッセージを表示することができます。

1 **共通設定画面で「残量警告表示」を選ぶ（P103）**

2 **［＋］/［－］で、「ON」または「OFF」を選び、［▶OK］を押す**





3 **［メニュー］を押して、設定を終了する**

- 残量警告表示を「ON」に設定すると、本機の電源を入れたとき、下記の場合にメッセージが表示されます。（P124）
  - 特定の TIMER（T1 ～ T20）フォルダのファイル数が 190 を超えた場合
  - 複数の TIMER（T1 ～ T20）フォルダのファイル数が 190 を超えた場合
  - SD カードの残量が 10 %以下になった場合
- メッセージが表示された場合は、［▶OK］を押してメッセージを消した後、必要なファイルはパソコンや外部機器にバックアップを取るなどしてから、不要になったファイルを消去してください。（P88）

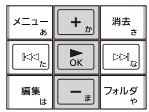
変更したメニューの設定を元に戻す（設定初期化）

メニューの設定を初期化すると、お買い上げ時の設定に戻ります。（時計設定を除く）

- 設定されたタイマー予約や、ラジオの放送局設定も解除されますのでお気をつけください。

1 **共通設定画面で「設定初期化」を選ぶ（P103）**

2 **［＋］/［－］で、［実行］を選び、［▶OK］を押す**





- 設定初期化が実行されます。

3 **［メニュー］を押して、設定を終了する**

バージョンを確認する（バージョン）

本機のファームウェアのバージョンを確認することができます。

1 **共通設定画面で「バージョン」を選ぶ（P103）**

- 現在のバージョンが表示されます。

2 **［メニュー］を押して、設定を終了する**

動作環境

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機、Macintosh
対応 OS	・ Windows® XP Home Edition/ Professional および SP2、3*[1] ・ Windows Vista® Home Basic/ Home Premium/Business/ Ultimate および SP1、2*[1] ・ Windows® 7 Starter/ Home Premium/Professional/ Ultimate および SP1*[1] ・ Mac OS X 10.2.8 - 10.6
インターフェース	USB 端子（USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合の動作は保証していません。）

2011 年 7 月現在

*[1] プリインストールされた各日本語版

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- Macintosh は、OS の標準ドライバーで動作します。
- NEC　PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
- 対応 OS 以外での動作は保証していません。
- OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
- お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
- Windows Media® Player をご使用の際には、お客様ご使用のパソコンが Windows Media® Player の動作環境を満たしている必要があります。Windows Media® Player に関する詳細は Microsoft 社にお問い合わせください。

パソコンの環境によっては本機で録音した音声データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音声データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

■ Widnows Media Player について

お使いの OS に対応した最新版の Widows Media Player をお使いください。（Macintosh を除く）

Windows 7	Windows Media Player 12
Windows Vista / XP	Windows Media Player 11

最新版の Windows Media Player は以下 URL より入手できます。
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/

■ 本書のパソコン画面について

本書で使用する画面は、Windows XP/Windows Media Player 11 となります。

パソコンに接続して使用する場合のお願い

- SD カードの初期化（フォーマット）は本機で行ってください。（P90）
  パソコンで初期化すると以降の録音が正しく動作しない場合があります。
- 本機で録音したファイルの名前をパソコンで変更すると、元のフォルダで再生できなくなります。ファイル名規則に従ったファイル名に戻すか、M（MUSIC）フォルダに移して再生してください。（P27、115）
- 本機の初期フォルダである、「TUNER_AM」、「TUNER_FM」、「VOICE」、「LINE」、「MUSIC」、「TIMER（T1 ～ T20）」、「RECYCLE」、「DATA」フォルダの名前を変えないでください。（P26）本機が正常に動作しなくなる場合があります。
- 本機からパソコンにファイルを転送したり、パソコンから本機にファイルを転送する場合、パソコンの画面上で転送中の表示が消えても、本機の画面で転送中と表示されている場合はデータを転送中ですので、USB 接続を取り外さないでください。また、本機をパソコンから取り外す場合は、必ず P110 に記載の方法で操作してください。
- 本機で録音したファイルは、当社製 TRC、ADPCM 形式の IC レコーダーで再生することはできません。また、本機で録音した MP3 ファイルは、TRC、ADPCM 形式の IC レコーダーに付属のパソコンソフト（Voice Editing）で読み込むことはできません。
- 本機で録音した内容は、専用ソフトを使わずにパソコンへ転送できます。本機には、パソコンソフト（Voice Editing）は付属していません。

パソコンでできること

●パソコンを使って充電する（P111）
本機をパソコンに接続して、電池を充電することができます。

●録音したファイルをパソコンに保存する（P114）
本機で録音した音声ファイルをパソコンにバックアップできます。

●パソコン側のファイルを本機に転送する（P115）
パソコンにバックアップした音声ファイルをもう一度本機に戻して聴いたり、音楽 CD や語学 CD から取り込んだファイルを本機に転送して聴くことができます。

●音声ファイルを CD-R/RW にコピーする（P116）
本機で録音した音声ファイルを Windows Media Player で CD-R/RW にコピーすることができます。

●音楽 CD や語学 CD を本機に取り込んで聴く（P118）
音楽 CD や語学 CD などから本機で再生可能なファイルを作成し、本機に転送して楽しむことができます。

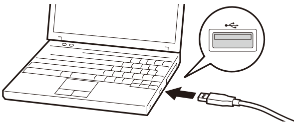
●外部ストレージとして利用する（P120）
本機を SD カードリーダー / ライターとして使うことができます。

パソコンに接続する

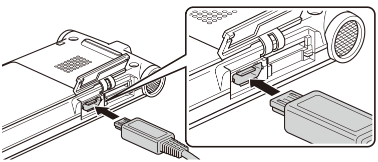
本機の電源を切っておく（P18）

1 付属の USB 接続ケーブルをパソコンに接続する

- パソコンを起動させておきます。
- USB 端子の向きに合わせてまっすぐ挿入します。



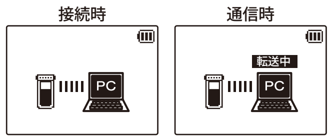
2 USB 接続ケーブルのもう一方を本機の USB 端子に接続する



- 初めて接続した場合、ドライバインストール中のメッセージが表示されますので、表示が消えるまで本機を取り外さないでください。
- パソコン接続時、「自動再生」画面が表示される場合は、「フォルダを開いてファイルを表示する」を選択して「OK」をクリックすると、本機のフォルダを表示することができます。
- USB 接続ケーブルは、必ず付属品の専用ケーブルを使用してください。
- 本機とパソコンを接続していると、パソコンが起動（再起動）しない場合があります。パソコンを起動（再起動）するときは、本機から USB 接続ケーブルを抜いておくことをおすすめします。
- 1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器を接続している場合や、USB ハブ、USB 延長ケーブルを使用する場合は、動作を保証しません。
- 本機とパソコンを接続中にパソコンを起動（再起動）したり、パソコンが省電力モードになると、パソコンが本機を認識しないことがあります。本機を取り外して再接続するか、パソコンを再起動してから本機を接続し直してください。
- パソコンの取り扱い方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

■パソコン接続中の本機の画面表示

- 通信時は、本機をパソコンから抜かないでください。



本機のフォルダ、ファイルを確認する場合は、引き続き P113 をご覧ください。

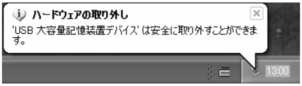
パソコンから取り外す

1 「タスクトレイ」の  をクリックし、「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ（F*[1]）を安全に取り外します」をクリックする



*1 お使いのパソコン環境により、ドライブのアルファベット表記が異なりますが、問題はありません。

2 図の画面が表示されたら本機を取り外す



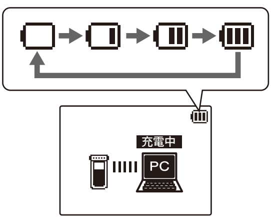
- 「タスクトレイ」に が表示されない場合は、 をクリックしてください。隠れているアイコンが表示されます。それでも表示されない場合は、パソコンの電源を切り、本機を取り外してください。

リチウムイオン充電式電池をパソコンで充電する

本機に入れた付属品のリチウムイオン充電式電池を充電します。充電前に必ずリチウムイオン充電式電池が入っていることを確認してください。

本機をパソコンに接続する（P110）

- パソコンが起動していることをご確認のうえ、接続してください。
- 本機の画面がパソコン接続中の画面であることをご確認ください。
- 動作表示ランプが点灯し、充電が始まります。
- 充電中は、電池残量表示が以下のように切り換わります。



- 途中で充電を止めるときは、本機をパソコンから取り外してください。（P110）
- 動作表示ランプが消灯したら充電完了です。本機を取り外してください。
- 充電時間は約 2.5 時間です。

お知らせ

- 以下の状態のときは充電しない場合があります。
  - パソコンが休止状態になったとき
  - パソコンを再起動したとき
- 電池残量表示に「 」が表示される場合、以下のような理由により充電できません。
  - 本機に電池が入っていない
  - 本機の温度が上がっている
  （パソコンから取り外し、電源を切った状態でしばらく放置してから接続してください。）
- 充電中に電池や本体が熱くなることがありますが異常ではありません。
- 満充電しても電池の使用時間が著しく短くなった時が電池の寿命です。新しい専用リチウムイオン充電式電池（品番 : VW-VBX070）をお買い求めください。
- 充電中は電池ふたを必ず閉めてください。
- データ転送中でも充電できます。

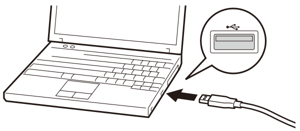
USB 電源で動作させる

パソコンの USB 端子から電源を供給して本機を動作させることができます。

本機の電源を切っておく（P18）

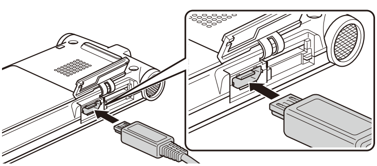
1 付属の USB 接続ケーブルをパソコンの USB 端子に接続する

- パソコンを起動させておきます。
- USB 端子の向きに合わせてまっすぐ挿入します。



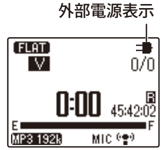
2 ［■停止］を押しながら、USB 接続ケーブルのもう一方を本機の USB 端子に接続する





- 本機の電源が入り、「HELLO」と画面に表示されます。

- 電池残量表示がに切り換わります。



- 電源を切るには、本機の「電源 / ホールドスイッチ」を「入 / 切」側に約 1 秒以上スライドさせたままにします。
- 電源を切った後、充電は開始されません。リチウムイオン充電式電池をパソコンで充電する場合は、本機をいったん取り外した後、［■停止］を押さずにパソコンに接続してください。（P111）
- USB 接続ケーブルは、本機の電源を切った後に取り外してください。
- 再度電源を入れる場合は、手順 1 、2 を行ってください。

USB 電源使用時のお願い

- USB 電源での連続録音時間は、1 ファイルにつき最大約 24 時間です。ただし、録音中のファイルサイズが 2 GB を超えた場合は、2 GB で一旦録音を停止し、録音ファイルを作成します。その後引き続き新しいファイルで録音が再開されます。録音停止から録音再開までの約 2 秒間は、録音されません。
- USB 電源でご使用の場合でも、本機に電池を入れておいてください。録音データの記録中などに本機が取り外されたり、停電などが起こったりすると、電源がなくなりデータや本機が壊れる可能性があります。
- USB 電源で使用する場合は、外部ノイズの影響を受けやすいので、ラジオの受信や録音の際にノイズが入る場合があります。ラジオモードでお使いの場合は、電池またはスピーカークレードルでお使いください。

パソコンで本機のフォルダ / ファイルを確認する

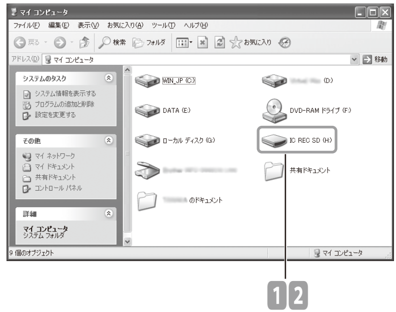
本書では、本機に SD カード（本機でフォーマット済み）が入っている状態で説明しています。

パソコンに接続する（P110）

1 マイコンピュータを開き、「IC REC SD*[1]」が表示されていることを確認する

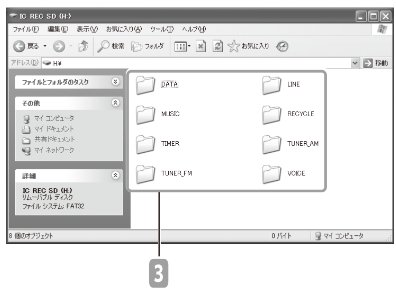
*[1] 本機でフォーマット（初期化）した SD カードが入っている場合です。SD カードが入っていない場合や本機でフォーマットしていない SD カードが入っている場合は、「リムーバブルディスク」と表示されます。

・ 何も表示されない場合は「故障かな !?」（P125）を参照してください。



2 「IC REC SD」を開く

3 本機のフォルダ / ファイルを確認する（P25）



・ パソコンの設定によっては、拡張子「.INX」のファイルが表示されることがあります。このファイルはインデックス情報です。このファイルをパソコンで消去するとインデックス情報は消去されます。

お願い

・ フォルダ（「TUNER_AM」、「TUNER_FM」、「VOICE」、「LINE」、「MUSIC」、「TIMER（T1 ～ T20）」、「RECYCLE」）の名前や各フォルダ内のファイルの名前を変更しないでください。本機で再生できなくなります。

録音したファイルをパソコンに保存する

パソコンに接続する（P110）

1 マイコンピュータから「IC REC SD」ドライブを開く

2 パソコンに保存したい音声ファイルが入っているフォルダを開く

- 以降は「VOICE」フォルダを開いた場合で説明します。

3 コピーの準備をする

① パソコンに保存したい音声ファイルの上で右クリックします。

② 表示されるメニューから「コピー」をクリックします。

- これでコピーの準備ができました。

4 保存先のフォルダを開く

- 音声ファイルを保存したいパソコン側のフォルダを開いてください。
  以降はパソコン側の「マイミュージック」フォルダを開いた場合で説明します。

5 パソコンに保存する

① 上部メニューバーから「編集」をクリックします。

② 表示されるメニューから「貼り付け」をクリックします。

- 保存先のフォルダにも同じ名前のファイルが作成されたら保存完了です。

6 本機をパソコンから取り外す（P110）





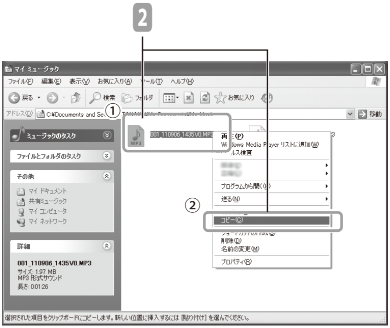
お願い

- 本機の画面で「転送中」表示となっている場合はデータを転送中ですので、絶対に USB 接続ケーブルを取り外さないでください。ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。

パソコンから本機にファイルをコピーする

パソコンに保存した録音ファイルをもう一度本機に戻したり、音楽 CD や語学 CD から取り込んだファイルを本機に転送する方法について説明します。パソコンから本機にファイルをコピーする場合は、本機の MUSIC フォルダに転送してください。

パソコンに接続する（P110）



1 本機にコピーしたいファイルが入っているパソコン側のフォルダを開く

- 以降はパソコン側の「マイミュージック」フォルダを開いた場合で説明します。

2 コピーの準備をする

① 本機にコピーしたい音声ファイルの上で右クリックします。
② 表示されるメニューから「コピー」をクリックします。
- これでコピーの準備ができました。

3 本機の MUSIC フォルダを開く（P113）



4 コピーを開始する

① MUSIC フォルダの上部メニューバーから「編集」をクリックします。
②「貼り付け」をクリックします。

5 本機をパソコンから取り外す（P110）

お願い

- 本機の画面で「転送中」表示となっている場合はデータを転送中ですので、絶対に USB 接続ケーブルを取り外さないでください。ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。
- パソコンに取り込んだファイルを本機の元のフォルダに戻すと本機で再生できます。（ファイル名を変更している場合は再生できません。）ただし、ファイル削除などで本機内のファイル名が変更されている場合、戻そうとするファイルとファイル番号が重複し、本機で再生できない場合があります。一度パソコンに取り込んだファイルを本機に戻して再生する場合は、M（MUSIC）フォルダに転送して再生することをおすすめします。（P28）

録音したファイルを CD-R/RW にコピーする

本機で録音した音声ファイルを Windows Media Player で CD-R/RW にコピーすることができます。以降の手順は、本機で録音した音声ファイルを、「マイ ドキュメント」の「マイ ミュージック」に保存した状態で説明しています。

- **CD-R/RW にコピー中はノイズ混入の原因になりますので、他の操作を行わないでください。**

1 **空の CD-R/RW を CD-R/RW ドライブに挿入し、Windows Media Player を起動する**

- 「スタート」メニューから「すべてのプログラム」－「Windows Media Player」をクリックして、Windows Media Player11 を起動します。

2 **上部タスクバーから「書き込み」タブをクリックする**

- 挿入した CD の情報と、書き込みリストが表示されます。



3 **再度、「書き込み」タブをクリックし、「オーディオ CD」か「データ CD」を選ぶ**

- オーディオ CD:
  CD-DA 形式に変換して CD-R/RW にコピーします。CD-R 対応のオーディオ機器で再生できます。
- データ CD:
  本機で録音した形式のまま CD-R/RW にコピーします。パソコン上で再生できますが、一般のオーディオ機器では再生できません。



お願い

- オーディオ CD を選択して CD-R/RW にコピーする場合、CD の容量によって最大で以下の記録時間となります。（実際はこれより短くなる場合があります。）
  650 MB : 約 74 分
  700 MB : 約 80 分
- コピーしたい音声ファイルが上記時間以上のときは、あらかじめ本機でファイル分割してください。（P95）

4 CD-R/RW にコピーしたいファイルが入っているパソコン側のフォルダを開く

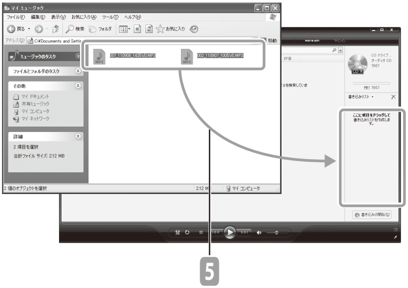
- 以降はパソコン側の「マイミュージック」フォルダを開いた場合で説明します。

5 CD-R/RW にコピーしたいファイルを、書き込みリストにドラッグ＆ドロップして追加する

- ドラッグ＆ドロップとは、パソコン画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態で、マウスの左ボタンをクリックしたまま移動（ドラッグ）させ、別の場所でマウスのボタンを放す（ドロップ）操作のことです。

6「書き込みの開始」をクリックする

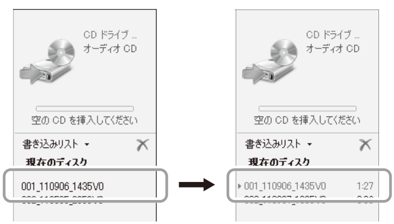
- CD-R/RW への書き込みが開始されます。ノイズ混入の原因となりますので、書き込みが終了するまで他の操作を行わないでください。





お願い

- 手順 5、6 において、書き込みリストに追加したファイルの再生時間が表示されていない場合、書き込みエラーとなります。この場合は一度そのファイルをダブルクリックして再生してください。時間が表示されるようになり、書き込みもできるようになります。



パソコン

音楽を聴くには

音楽 CD や語学 CD、音楽配信サービスから音楽ファイルをパソコンに取り込み、本機に転送して再生することができます。本機で再生可能な音楽ファイルは、MP3[*1]、WMA[*2]、WAV[*3]（本機で PCM 録音したファイルのみ）ファイルです。

*1 MPEG Layer-3 オーディオ の略称で、音声圧縮規格の一種です。
*2 Windows Media Audio の略称で、音声圧縮規格の一種です。
*3 ファイル格納のフォーマットで複数のファイル形式に対応。本機では PCM ファイルを WAV フォーマットで格納しています。

音楽 CD を記録する場合	音楽配信サービスを利用する場合
Windows Media Player を使って CD から音楽ファイルを作成（リッピング）します。（P119）	WMA 形式に対応している音楽配信サイトから音楽ファイルを購入します。 本機は PD-DRM に対応しています。（DRM10 には対応していません。）
↓	↓
エクスプローラーで音楽ファイルをコピーします。（P115）	Windows Media Player を使って音楽ファイルを転送します。

- 音楽配信サイトで購入したり、CD から取り込んだりした DRM 付き WMA ファイルは、ポータブルデバイス（本機）などへの転送が制限されている場合があります。その場合は、Windows Media Player を使って転送してください。
- お客様が取得した MP3、WMA、WAV 形式ファイルは個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で複製や配布をしたり、インターネットへの掲載などに使用することは固く禁じられております。
- 本機およびパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、または音楽ファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。
- WMA9 の Professional、Lossless、Voice および MBR[*4] には対応していません。

*4 MBR（Multiple Bit Rate）は、1 つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式のことです。

音楽ファイルを作成する（CD リッピング）

音楽 CD や語学 CD などから本機で再生可能なファイル（MP3 または WMA）を作成し、パソコンに取り込む方法について説明します。

1 **音楽 CD をパソコンの CD ドライブに挿入し、Windows Media Player を起動する**

- 「スタート」メニューから「すべてのプログラム」－「Windows Media Player」をクリックして、Windows Media Player11 を起動します。

2 **上部タスクバーから「取り込み」タブをクリックする**

- インターネット接続環境にある場合、自動的に CD の曲情報が検索されます。インターネットに接続していない場合や、CD の種類によっては曲情報を表示しない場合もあります。

3 **再度、「取り込み」タブをクリックし、「形式」→「mp3」を選ぶ**

4 **取り込みたい曲にチェックを付ける**

5 **「取り込みの開始」をクリックする**

- CD の取り込みが開始されます。ノイズ混入の原因となりますので、取り込みが終了するまで他の操作を行わないでください。





お知らせ

- 取り込まれたファイルは、Windows Media Player の初期設定では、「マイミュージック」フォルダにアーティストやアルバムごとに保存されます。
- パソコンに取り込んだ音楽ファイルを本機に転送する方法については、「パソコンから本機にファイルをコピーする」（P115）をご覧ください。

外部ストレージとして使う

本機は IC レコーダーとしての使いかたのほかに、SD カードリーダー / ライターとしてご使用いただけます。文書や画像データを SD カードに保存することもできます。

パソコンに接続する（P110）

1 本機にコピーしたいファイルが入っているパソコン側のフォルダを開く

・ 以降はパソコン側の「マイドキュメント」フォルダを開いた場合で説明します。

2 コピーの準備をする

① 本機にコピーしたい音声ファイルの上で右クリックします。

② 表示されるメニューから「コピー」をクリックします。

これでコピーの準備ができました。



3 本機の DATA フォルダを開く（P113）

4 コピーを開始する

① DATA フォルダの上部メニューバーから「編集」をクリックします。

②「貼り付け」をクリックします。



5 本機をパソコンから取り外す（P110）

お願い

・ 本機の初期フォルダである、「TUNER_AM」、「TUNER_FM」、「VOICE」、「LINE」、「MUSIC」、「TIMER（T1 ～ T20）」、「RECYCLE」、「DATA」フォルダの名前を変更しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。

・ 本機の画面で「転送中」表示となっている場合はデータを転送中ですので、絶対に USB 接続ケーブルを取り外さないでください。ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。

こんな表示が出たら

表示	ここを確認ください	参照ページ
・再生するファイルがありません ・ファイルがありません	フォルダ内にファイルがない時に再生や時間指定サーチ、またはファイル消去などをしようとした場合に表示されます。	76 81 88
microSD カードが正しく認識されません再挿入してください	SD カードの認識に失敗した場合や、SD カードが壊れている場合に表示されます。再度挿入してください。	20
microSD カード書込み速度が遅いです	書き込み速度の遅い SD カードや、断片化 *1 により一時的に書き込み速度が遅くなっている SD カードを使用して録音を行った場合に表示されることがあります。録音モードを MP3 に変更すると改善される場合があります。断片化を改善するには、必要なファイルをパソコンや外部機器に保存したうえで、本機で SD カードをフォーマットしてください。 *1 ファイルの書き込みと消去を繰り返し行うと SD カード内でのファイルの配置が不連続になり、連続した空き領域が少なくなることがあります（断片化といいます）。断片化が著しく進むとファイルの書き込み速度が遅くなり、正常に書き込めなくなることがあります。	90
このファイルは可変速再生できません	PCM ファイル再生時に再生スピードの変更をしようとした場合に表示されます。	79
メモリーがいっぱいです	SD カードに空き容量がない状態で録音しようとした場合に表示されます。不要なファイルを消去してください。	88
ファイルがいっぱいです	各フォルダの録音可能なファイル数（199）を超えて録音しようとした場合に表示されます。	26 28
インデックスがいっぱいです	1 ファイルのインデックス記録可能数（36）を超えてインデックスを記録しようとした場合に表示されます。	94
インデックス記録できません	・インデックスを同じ位置に記録しようとした場合に表示されます。 ・電池残量表示が □（点滅）のときにインデックスを記録しようとした場合に表示されます。	94
このフォルダにこれ以上のファイルを作成できません	フォルダ内のファイル数が最大になっているため、ファイル分割できません。不要なファイルを消去してから分割してください。	88 95
ファイル分割に必要な空き容量が足りません	ファイル分割するために必要な SD カードの空き容量がない状態で分割操作をした場合に表示されます。不要なファイルを消去してから分割してください。	88 95
録音時間が短いため分割できません	録音時間が短いファイル（約 2 秒未満）を分割しようとした場合に表示されます。	95

こんな表示が出たら（つづき）

表示	ここを確認ください	参照ページ
現在の停止位置ではファイルを分割できません	ファイル分割できない位置（先頭や末尾付近）で分割操作した場合に表示されます。	95
ゴミ箱がいっぱいです空にしてください	ゴミ箱機能「ON」で、ゴミ箱フォルダ内のファイルが最大数（199）ある状態でファイルやフォルダの消去操作を行い、これ以上ゴミ箱（🗑）フォルダへ移せない場合に表示されます。	88 93
＊が一杯ですファイルを戻せません	ゴミ箱（🗑）フォルダからファイルを戻した際に、戻し先のフォルダに録音可能な最大数のファイルが存在している場合に表示されます。（＊は戻し先のフォルダ名）	92
ファイルをゴミ箱に移せません空にしてください	SD カードの空き容量がないため表示される場合があります。	93
フォーマットできませんでした	SD カードが壊れている場合などにフォーマットを実行した場合に表示されます。	90
プリセットモードでチャンネル選択し削除してください	マニュアル選局モードでプリセット編集（削除）しようとした場合に表示されます。	33 36
このプレイリストにこれ以上ファイルを登録できません	各プレイリストに登録可能なファイル数（99）を超えて登録しようとした場合に表示されます。	85
全てのファイルをプレイリストへ追加できませんでした	複数ファイルをプレイリストへ登録中に登録可能なファイル数（99）を超えたためすべてのファイルが登録できなかった場合に表示されます。	85
ファイルがないためプレイリスト操作できません	選択したプレイリスト（PLAYLIST1 ～ 5.M3U）にファイルが登録されていないため、プレイリストの編集操作ができません。	85
ファイルがありません	選択したプレイリスト（PLAYLIST1 ～ 5.M3U）にファイルが登録されていないため、プレイリストの消去操作ができません。	85
PLAYLIST 以外のプレイリストファイルは編集できません	本機で登録したプレイリスト以外のプレイリストファイル（パソコンなどで作成）を編集しようとした場合に表示されます。	85 86
PLAYLIST1 ～ 5 を選択・決定しないとプレイリスト操作できません	PLAYLIST フォルダおよびプレイリスト (PLAYLIST1 ～ 5.M3U) を選択し、［編集］を押した場合に表示されます。 プレイリスト (PLAYLIST1 ～ 5.M3U) 内の音楽ファイルを選択してください。	86 87
MUSIC フォルダ以外ではプレイリスト操作できません	MUSIC（M）フォルダ以外のフォルダ内のファイルを選択して、プレイリスト（PLAYLIST）に登録しようとした場合に表示されます。	85

表示	ここを確認ください	参照ページ
PLAYLIST 以外のプレイリスト内のファイルは削除できません	本機で登録したプレイリスト以外のプレイリストファイル（パソコンなどで作成）を削除しようとした場合に表示されます。	86 87
選択できません フォルダやファイル名を日本語・英数字に変更してください ファイルを追加できませんでしたフォルダやファイル名を日本語・英数字に変更してください	ファイル名、またはフォルダ名に対応していない文字列（日本語・英語以外の文字など）が含まれているため、プレイリストに追加できません。	85
設定時間が重なっています No ＊＊…	他のタイマー予約と設定時刻が重なっている場合に表示されます（No ＊＊は予約番号）。時刻を変更してタイマー設定を行ってください。	51
時報設定と設定時間が重なっています	時報の設定時間 (前後 3 分間) とタイマー予約の設定時間が重なっている場合に表示されます。	51
設定時間が重なっています No ＊＊… 時報設定	他のタイマー予約設定時間 および時報の設定時間 (前後 3 分間) と重なっている場合に表示されます。	51
タイマー設定と設定時間が重なっています No ＊＊…	タイマー予約の設定時間と時報の設定時間 (前後 3 分間) と重なっている状態で時報設定を完了した場合に表示されます。	54
タイマー録音するためにmicroSD カードを挿入してください	タイマー予約設定完了時に SD カードが挿入されていない場合に表示されます。	20 49
設定できない日時です 確認してください	「日付指定」でのタイマー予約で、現在日時よりも前の日時で設定しようとした場合に表示されます。	44
タイマー動作が実行できませんでした	タイマー予約実行時に、SD カードが挿入されていない場合や録音中の場合など、タイマー予約の実行を失敗した場合に表示されます。	50
範囲外の予約をキャンセルしました No ＊＊…	「日付指定」でのタイマー予約後に時計設定が変更され、予約日時が過ぎてしまった場合に表示されます。	19 44
全曲モードの再生範囲外のファイルです 選択できません (最大3000 曲)	MUSIC ファイルの全曲リピート（ランダム）での再生範囲（最大 3,000 ファイル）以降のファイルを選択しようとした場合に表示されます。	81

こんな表示が出たら（つづき）

表示	ここを確認ください	参照ページ
全曲モードの再生範囲外のファイルです 設定できません (最大3000 曲)	MUSIC ファイルの全曲リピート（ランダム）での再生範囲（最大 3,000 ファイル）以降のファイルを設定しようとした場合に表示されます。	81
これ以上文字を挿入できません	ファイルの名前が全角で 30 文字 / 半角で 60 文字を超えて文字を挿入したときに表示されます。	96
これ以上文字を追加できません	ファイルの名前が残り半角 1 文字の時に全角の文字 (ひらがななど) を入力したときに表示されます。	96
これ以上文字を削除できません	ファイル名をすべて削除したときに表示されます。	96
選択できませんフォルダやファイル名を日本語・英数字に変更してください	使用できない文字を使用している場合に表示されます。	96
ファイル名が長すぎます	ファイルの名前が全角 (漢字やひらがななど) で 32 文字 / 半角で 64 文字を超えるファイルを選択した場合に表示されます。	96
このファイル名には変更できません	ファイル名を削除およびスペースだけのファイル名に変更した場合に表示されます。	96

● 以下の表示は、残量警告表示の設定が「ON」の場合に、本機の電源を入れたときに表示されます。（P107）

表示	ここを確認ください	参照ページ
メモリー残量が少なくなりました不要なファイルを削除してください	SD カードの録音残り時間が 10 %以下になった場合に表示されます。	56 88
1 フォルダの録音可能ファイル数 199 に対し複数のタイマーフォルダで 190 を超えています	複数のタイマーフォルダの各録音ファイル数が 190 を超えた場合に表示されます。（録音可能数は 199 ファイル）	26
1 フォルダの録音可能ファイル数 199 に対し＊＊フォルダが 190 を超えています	＊＊フォルダの録音ファイル数が 190 を超えた場合に表示されます。（録音可能数は 199 ファイル）	26

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因	解決方法	参照ページ
電源が入らない	電池が正しく入っていない	電池が正しく入っているかご確認ください。	16
	電池が消耗している	充電してください。	17 111
ボタン（スイッチ）を押しても動作しない	誤動作防止機能（ホールド機能）が設定されている	誤動作防止機能（ホールド機能）を解除してください。	18
	USB 接続をしたままである	本機をパソコンから取り外してください。	110
SD カードが認識されない	SD カードが正しく挿入されていない	本機の電源を切り、SD カードを入れ直してください。	20
	SD カードをパソコンなど本機以外でフォーマットした	本機でフォーマットし直してください。	90
充電すると「」が表示される	本機の温度が上がっている	本機をスピーカークレードルまたはパソコンから取り外して、しばらく放置してから充電し直してください。	17 110 111
	電池が正しく入っていない	電池が正しく入っているかご確認ください。	16
充電しても電池の使用時間が短い	電池の寿命 （充電回数の目安は約 500 回）	新しい専用リチウムイオン充電式電池に交換してください。	16
日時が正しく表示されない	・電池を抜いた、または電池切れになってから長い間放置した ・時計設定をしていない	時計設定（日時）を設定し直してください。	19
音声が出ない	音量が小さい	音量を調整してください。	76
録音した音声に音とびが発生している	付属の SD カードを使っていない	当社製の microSD/microSDHC カードをお使いになることをおすすめします。	20
	SD カードを本機以外でフォーマットした	本機でフォーマットし直してください。	90
録音した音声にノイズが聴こえる	録音モード設定やマイク感度設定が適切でない（マイク / ライン録音の場合）	録音モードやマイク感度を切り換えて試し録りしながら、最適な録音環境に設定してください。	67
	受信状況が良好でない（ラジオ録音時）	「ステレオ / モノラルの切り換え」（FM の場合）を行ったり、本機の向きを変えたりするなど、ノイズ対策をしてください。	32 41

症状	原因	解決方法	参照ページ
AM（TUNER_AM）、FM（TUNER_FM）、V（VOICE）、L（LINE）、TIMER（T1~T20）、ゴミ箱（🗑）フォルダのファイルが再生できない	ファイル名が規定外に変更されている	AM、FM、V、L、T1~T20、🗑 のファイルは、パソコンでファイル名を変更すると本機で再生できなくなります。M（MUSIC）フォルダに転送すると本機でも再生できます。	27 91 115
	本機で録音した WAV 形式の音声ファイルではない	本機以外で録音した WAV 形式の音声ファイルは本機では再生できません。本機で録音してください。	76 118
	転送先が異なる	パソコンからファイル転送する際、録音用フォルダに入れても、本機で再生できません。M（MUSIC）フォルダに転送してください。	115
録音した音声に音割れ（音のひずみ）が発生している	マイク感度が適切でない	マイク感度設定を「感度 : 低」にしてください。それでも音割れする場合は、Low Cut フィルタ設定を ON、録音レベル調整の設定を手動にし、録音レベルを調整して録音してください。	62 67 69
録音しているのにレベルメーターが動かない 録音したファイルが無音になる	録音レベル調整が「手動」で、録音レベルが「0」になっている	録音レベルを調整する。	62
インサイドホンから音が聞こえない、聞こえにくい、雑音がする	プラグの差し込みが浅い	プラグを奥までしっかりと差し込んでください。	76
	プラグが汚れている	プラグをきれいにふいてください。	76
SD カードを入れているのに ファイルの再生や録音ができない。	「カード情報を更新中です」や「楽曲リストを更新中です」の表示中、または SD カードのフォーマット中に SD カードを抜き差しした	SD カードを入れ直してください。 電源を入れ直してください。	20 18

症状	原因	解決方法	参照ページ
M（MUSIC）フォルダのファイルが正しく再生できない	再生できるファイル形式ではない	正常に再生できる WMA または MP3 ファイルをご使用ください。	118
	本機で録音した WAV 形式の音声ファイルではない	本機以外で録音した WAV 形式の音声ファイルは本機では再生できません。 本機で録音してください。	118
	本機で再生できないファイルになっている	エンコーダー（MP3/WMA）ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。	119
	プレイリスト登録後にファイルが消去された	M（MUSIC）フォルダにそのファイルを転送するか、プレイリストからそのファイルを消去してください。	115 86
	転送方法が異なる	著作権保護されているファイルは、エクスプローラーで転送しても再生できません。Windows Media Player で転送してください。	118
	再生できるファイル数を超えている	１つのフォルダにつき最大 199 ファイル再生できます。サブフォルダがある場合は、サブフォルダの数だけ、再生できるファイル数が減ります。再生できないファイルを別のフォルダに保存してください。	28
ファイルを消去したのに空き容量が増えない	ゴミ箱機能設定が「ON」になっている	ゴミ箱（🗑）フォルダを空にしてください。	93
ファイル分割ができない	SD カードの空き容量が足りない	不要なファイルを消去してください。 また、ゴミ箱（🗑）フォルダを空にして空き容量を確保してください。	88 93
	ファイルの録音時間が短い	ファイル分割は録音時間の長いファイルで行ってください。	95
	フォルダ内の最大ファイル数 199 を超えている	不要なファイルを消去してください。 また、ゴミ箱（🗑）フォルダを空にして空き容量を確保してください。	88 93
ファイル消去ができない	ファイルの属性が読み取り専用に設定されている	本機をパソコンに接続し、ファイルの属性を変更するか、ファイルを消去してください。 SD カードのフォーマットを行ってください。	90 113

症状	原因	解決方法	参照ページ
タイマー予約が正常に動作しない（タイマー録音ができていなかった）	日時が正しく設定されていない	正しい日時で時計設定を行ってください。	19
	録音先のフォルダがいっぱいになっている	不要なファイルを消去してください。	88
	電池の残量がない	充電してください。	17 111
	SD カードの空き容量がない	不要なファイルを消去してください。	88 93
	本機に SD カードが入っていない	本機に SD カードを挿入してください。	20
	パソコンなどに接続している	パソコンから取り外してください。	110
	タイマー再生時刻になっても本機を使用している（停止中を除く）	現操作が優先されます。操作を中止してください。	57 76
	タイマー録音開始時刻に他の録音をしている	現録音が優先されます。録音を停止してください。ただし、録音以外の操作で使用している場合は、タイマー録音が優先されます。	57
ラジオの雑音が多く聴きづらい	近くにノイズ源（テレビやモーター、電気器具など）がある	設置場所を変えてみてください。	32
	周波数がずれている	周波数を調整してください。	33 35
FM 放送が受信できない	付属のステレオインサイドホンが差し込まれていない	インサイドホン端子（🎧）に付属のステレオインサイドホンを差し込んでください。	32
AM ラジオの受信中に、LCD 表示部の画面がすぐに消えてしまう	AM 画面表示設定が「OFF」に設定されている	AM 画面表示設定を「常に ON」に設定してください。	41

症状	原因	解決方法	参照ページ
パソコン接続時に「IC REC SD」が表示されない	パソコンと本機が正しく接続されていない	USB 接続ケーブルが本機側、パソコン側共に最後までしっかりと接続されていることを確認してください。	110
	Window 98、98SE、2000、Me のパソコンに接続している	Window 98、98SE、2000、Me はサポートしていません。	108
	パソコンからの電源供給が不十分である	接続されている他の USB 機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。	110
		パソコンに USB 端子が複数ある場合（前面・背面など）は、別の USB 端子に本機を接続してください。	110
	USB ハブ（USB 端子分配用周辺機器）を経由して接続している	USB ハブを介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してパソコンの USB 端子に直接本機を接続してください。	110
	本機に SD カードが入っていない	本機に SD カードを挿入してください。	20
	ネットワークドライブが割り当てられている	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター（ドライブ名のアルファベット）がぶつかり、「IC REC SD」が見えない場合がありますので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから接続し直してください。	113

■ 本体

電源	充電式電池	DC 3.7 V （リチウムイオン充電式電池 VW-VBX070 使用） USB 充電、スピーカークレードル 充電時間 : 約 2.5 時間

音声	サンプリング周波数 （［ ］内は録音モード）	（マイク / ライン録音） 48 kHz ［PCM-48］ 44.1 kHz ［PCM-44.1］ 44.1 kHz ［MP3-320］ 44.1 kHz ［MP3-192］ 44.1 kHz ［MP3-128］ 22.05 kHz ［MP3-64］ 16 kHz ［MP3-32］ （ラジオ録音） 32/44.1/48 kHz のいずれかを自動選択 ［MP3-128］
	録音方式	リニア PCM（16 bit）/ MP3
	再生可能ビットレート （M（MUSIC）フォルダ）	16 kbps ～ 320 kbps（MP3） 32 kbps ～ 192 kbps（WMA）
	再生可能サンプリング周波数 （M（MUSIC）フォルダ）	8 kHz ～ 48 kHz（MP3） 22.05 kHz ～ 48 kHz（WMA）

音声	周波数特性 （－ 10 dB、録音 / 再生時） （［ ］内は録音モード）	60 Hz ～ 22,000 Hz ［PCM-48］ 60 Hz ～ 21,000 Hz ［PCM-44.1］ 60 Hz ～ 21,000 Hz ［MP3-320］ 60 Hz ～ 20,000 Hz ［MP3-192］ 60 Hz ～ 17,000 Hz ［MP3-128］ 60 Hz ～ 7,500 Hz ［MP3-64］ 60 Hz ～ 6,500 Hz ［MP3-32］
	内蔵マイク S/N 比	45 dB（PCM-44.1） フィルター（JIS A）
	ラジオ受信周波数	FM 76.0 MHz ～ 90.0 MHz （0.1 MHz ステップ） AM 522 kHz ～ 1629 kHz （9 kHz ステップ）

USB 端子		USB2.0（High-Speed） DC 5 V 2.5 W
スピーカークレードル接続端子		DC 4.5 V 2.3 W （専用端子）
音声出力	インサイドホン端子	ø 3.5 mm、16 Ω 、 10 mW ＋ 10 mW（JEITA）
	スピーカー出力	13.5 mm × 9.8 mm、 170 Ω 、50 mW（JEITA）

最大外形寸法	43.75（W）mm × 112.5（H）mm × 16.4（D）mm
本体寸法	42.6（W）mm × 112.3（H）mm × 11.0（D）mm
質量	約 67 g（充電式電池を含む）/ 約 52 g（充電式電池を含まず）
使用温度範囲	0 ℃～ 40 ℃
使用湿度範囲	20 % ～ 80 % RH（結露なきこと）
充電可能温度範囲	5 ℃～ 35 ℃

記録容量（SD カード容量）	4 GB[*1]

*1 SDカードの使用可能領域は表示容量より少なくなります。

■ スピーカークレードル

電源	AC アダプター	DC 5 V（AC 100 V、50/60 Hz）
最大外形寸法	IC レコーダー本体をセット時	180.9（W）mm × 141.0（H）mm × 32.6（D）mm
	スピーカークレードルのみ	180.9（W）mm × 141.0（H）mm × 32.6（D）mm
本体寸法		180.9（W）mm × 127.5（H）mm × 30.9（D）mm
質量		約 343 g
外部アンテナ	AM	ループ（ø 3.5 mm）
スピーカー出力	**ACアダプター駆動時**	ø 36.0 mm、8 Ω、1.0 W ＋ 1.0 W（JEITA）
	充電式電池駆動時 *2	ø 36.0 mm、8 Ω、0.2 W ＋ 0.2 W（JEITA）
音声入力	LINE IN 端子	ø 3.5 mm
消費電力		約 8.0 W

*2 AC アダプターを取り外した状態で IC レコーダー本体をセットし、IC レコーダー本体の充電式電池で使用時（P31）

使用後は、AC アダプターを電源コンセントから抜いておくことをおすすめします。（接続したままにしていると、スピーカークレードルを接続している場合：約 2 W、AC アダプター単体の場合：約 1.9 W の電力を消費します。）

■録音可能時間の目安

（使用条件によっては短くなる場合があります。）

付属の microSDHC カード（4 GB）使用時

録音モード	録音時間	ビットレート
PCM-48 （ステレオ）	約 5 時間 30 分	1,536 kbps
PCM-44.1（ステレオ）	約 6 時間	1,411 kbps
MP3-320（ステレオ）	約 27 時間	320 kbps
MP3-192（ステレオ）	約 45 時間	192 kbps
MP3-128（ステレオ）	約 68 時間	128 kbps
MP3-64 （ステレオ）	約 136 時間 30 分	64 kbps
MP3-32 （モノラル）	約 273 時間	32 kbps

■電池持続時間

（使用条件によっては短くなる場合があります。）

	録音モード	電池持続時間
録音時 *3	PCM-48	約 21 時間 30 分
	PCM-44.1	約 22 時間 30 分
	MP3-320	約 25 時間
	MP3-192	約 25 時間
	MP3-128	約 25 時間
	MP3-64	約 32 時間
	MP3-32	約 35 時間

	録音モード	電池持続時間
再生時 *4	PCM-48	約 14 時間
	PCM-44.1	約 14 時間 30 分
	MP3-320	約 17 時間
	MP3-192	約 17 時間
	MP3-128	約 17 時間
	MP3-64	約 18 時間
	MP3-32	約 18 時間 30 分

AM/FM	電池持続時間
FM ラジオ録音時 *5	約 11 時間
AM ラジオ録音時 *5	約 12 時間 30 分
FM ラジオ受信時 *6	約 8 時間 30 分
AM ラジオ受信時 *6	約 9 時間

*3 録音モニターなし、録音 LED: OFF、録音レベル調整 : 自動
*4 IC レコーダー本体スピーカー再生、音量 : 12、再生速度 : 1 倍速
*5 ステレオインサイドホン接続、録音 LED：OFF、出力設定：自動切換、音量：0
*6 IC レコーダー本体スピーカー出力時

● この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

著作権について

放送や CD、MD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Macintosh および Mac OS は米国 Apple Inc. の商標です。
- 本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの 一定の知的財産権によって保護されています。 本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは一部明記していません。

お手入れ

■ 本機が汚れたら

乾いた柔らかい布でふいてください。AC アダプターをご使用の場合は AC アダプターを抜いてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学ぞうきんは、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

■ 故障を防ぐために

- **ズボンの後ろポケットに入れて座らないでください。**
- **ステレオインサイドホンを本機に巻き付けたまま、かばんの中にいれ、外から大きな力を加えないでください。**
  表示パネルの破損につながります。
- **本機に、雨水や水滴などがかからないようにしてください。**
- **本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。**
  強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。

リチウムイオン充電式電池について

本機で使用するリチウムイオン充電式電池は、温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

- 周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で充電してください。周囲温度が低いまたは高いときは、充電にかかる時間が長くなる場合があります。また充電できない場合もあります。
  充電できないときは、本機の画面右上の電池残量表示が になるとともに、動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します。

リチウムイオン充電式電池を誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認してください。

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

リチウムイオン充電式電池の端子部を汚さないでください。

● 使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

充電式電池使用後は、貴重な資源を守るためにリサイクルへ！
使用済み充電式電池の届け先：
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
・ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

充電式
リチウムイオン
電池使用
Li-ion 00

SD カードについて

■ SD カードの互換性

microSD カードと microSDHC カードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。（microSD カードは microSDHC カード対応機器でも使用できます。）非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。また、microSDHC カードに非対応のパソコンや機器の場合はカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。フォーマットを実行するとデータが消去されます。元に戻すことはできませんのでフォーマットしないでください。

SD カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

- 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、SD カード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、SD カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って SD カード内のデータを完全に消去することをおすすめします。SD カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ **危険**	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

🛇	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

リチウムイオン充電式電池は、付属の USB 接続ケーブルまたは付属のスピーカークレードルを使って本機で充電する

指定外の機器で充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

●リチウムイオン充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。

⚠ 危険

リチウムイオン充電式電池は誤った使いかたをしない
• 指定以外のリチウムイオン充電式電池を使わない
• 火への投入、加熱をしない
• くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない
• ⊕ と ⊖ を金属などで接触させない
• ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない
• 電子レンジやオーブンなどで加熱しない
• 火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない
• 水中への投入をしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

●ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
●不要（寿命）になったリチウムイオン充電式電池については、133 ページをご参照ください。
●万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、AC アダプターを抜き、電池を取り出す
• 煙が出たり、異常なにおいや音がする
• 音声が出ないことがある
• 内部に水や異物が入った
• 本体や AC アダプターが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

●電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

⚠警告

リチウムイオン充電式電池やメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
●万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

アンテナを目や顔に近づけない、人に向けない
アンテナの先端に接触して、けがの原因になることがあります。
万一、アンテナが折れた場合は、使用しないでください。
●アンテナを伸ばして使用するときは、十分に注意してください。

アンテナを伸ばしたまま持ち運ばない
アンテナがものに引っかかったり、当たったりして、けがの原因になることがあります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない
ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
●機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
●特にお子様にはご注意ください。

乗り物を運転中に操作しない
事故の原因になります。

乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所で、ステレオインサイドホンを使わない
事故の原因になります。
踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。

ステレオインサイドホン使用時は、音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

⚠ 警告

分解禁止

分解、改造をしない

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

AC アダプターのコードやプラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

接触禁止

雷が鳴ったら、本機の金属部や電源プラグに触れない

感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

●AC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない
特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温 (約 60℃以上) になります。本機やスピーカークレードル、AC アダプターなどを絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。
●また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない
スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。
●スピーカーは防磁設計ではありません。テレビ等の近くに置かないでください。

ステレオインサイドホンなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する
そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

ステレオインサイドホン接続前に、音量を下げる
音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。
●音量は少しずつ上げてご使用ください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う
本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

長期間使わないときは、電池を取り出す
液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

付属の AC アダプターを使う
付属外の AC アダプターで使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

電源プラグを抜く

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く
通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない
接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

不安定な場所に置かない
高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

重い物を載せたり、乗ったりしない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

スピーカークレードルの放熱を妨げない
内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。
●また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

湯煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない
電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

使いかた・お手入れ・修理などは
■ まず、お買い求め先へ
ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話（　　　）　　－	
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

「こんな表示が出たら」、「故障かな !?」（P121 ～ 129）でご確認のあと、直らないときは、まずコンセントから電源プラグを抜き、本機から電池を取り出して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	IC レコーダー
●品　番	RR-RS250
●故障の状況	できるだけ具体的に

●**保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**

保証期間 : お買い上げ日から本体 1 年間

●**保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間 6 年**

当社は、この IC レコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は……

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター

電 話　365日 受付9時～20時

フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130#」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は……………………

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話

フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

- 有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

愛情点検	長年ご使用のICレコーダーの点検を!
こんな症状はありませんか	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 音声が出ないことがある ● 内部に水や異物が入った ● 本体やACアダプターが破損した ● その他の異常や故障がある
ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き、本機から電池を取り出して、必ず販売店に点検をご相談ください。

各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421

近畿地区	滋賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20番8号
	広島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　0511

さくいん

その他

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- このマークがある場合は -

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
　(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
　(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2.ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3.ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
　(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
　(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
　(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
　(ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
　(ヘ) 本書のご添付がない場合
　(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
　(チ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5.本書は日本国内においてのみ有効です。
6.本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7.お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。
　(ご相談窓口一覧表を同梱の場合)
　お近くのご相談窓口は同梱別紙の一覧表をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

ICレコーダー保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

見本

品　番	RR-RS250	
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間	
※お買い上げ日	年　月　日	
※お客様	ご住所	
	お名前	様
	電　話 （　　　）　ー	
※販売店	住所・販売店名 電話 （　　　）　ー	

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
コンシューマープロダクツ事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号　TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。